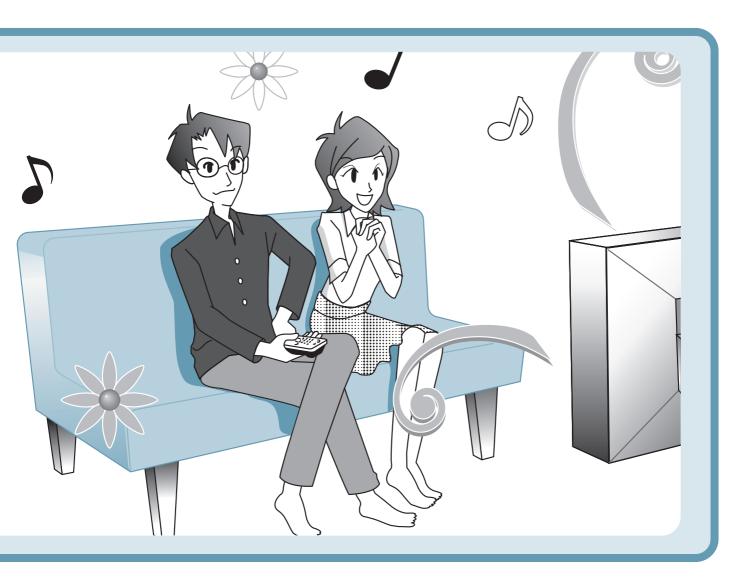
DVD-RW/HDD 5.1ch サラウンドシステム　取扱説明書

HTZ-929DVR

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID･パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

付属品の確認

本体(DVD-RW/HDDチューナー)部に付属

リモコン×1

AMループアンテナ×1
(図は組み立てた状態です)

単3形乾電池(AA/R6P)×2

ビデオコード×1

電源コード×2

FM簡易アンテナ×1

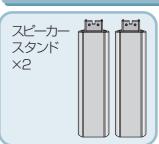
RFアンテナケーブル×1

システムケーブルA×1

システムケーブルB×1

✽その他一緒に入っているもの
・取扱説明書(本書)・保証書・アンケート用紙

スピーカー部に付属

スピーカースタンド×2

スピーカーコード5m×3
フロント(右)用
フロント(左)用
センター用

スピーカーベース×2

滑り止めパッド(大)×4
滑り止めパッド(小)×4

ネジ(長)×4
ネジ(短)×8

✽その他一緒に入っているもの　・スピーカーセットアップガイド

ワイヤレススピーカー部に付属

トランスミッター(送信部)×1

電源コード×1

オーディオコード×1

ACアダプター×1

✽その他一緒に入っているもの　・コーションラベル

この取扱説明書で使われているマーク

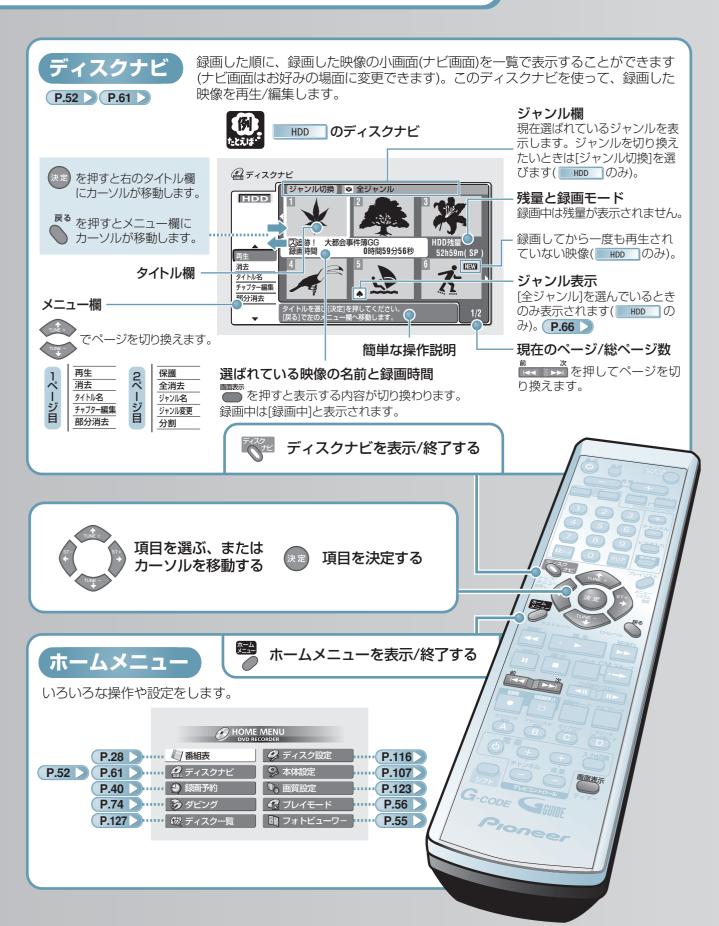
マーク	説明
	メモ 操作するときの注意事項です。
	ワンポイント 操作するときの参考情報です。
	たとえば 例を使って説明しています。
	困ったとき 『故障かな？と思ったら』 P.128 に関連情報があります。

![DVD] は DVD フォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

マーク	ディスク
HDD	ハードディスク
DVD-Video	DVD ビデオ※1
DVD-R	DVD-R※2
DVD-RW	DVD-RW※2
DVD-RW(VR)	VR モードで「録画された」「録画する」DVD-RW
DVD-RW(Video)	ビデオモードで「録画された」「録画する」DVD-RW
Video CD	ビデオCD、ビデオCDフォーマットが記録されているCD-R/RW
CD(R/RW)	音楽用 CD、音楽トラックが記録されている CD-R/RW
WMA/MP3	WMA または MP3 ファイルが記録されている CD-R/RW

※1 ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)はDVDビデオと同じ操作になります。

※2 DVD-R と DVD-RW を総称して DVD と表記している箇所があります。

ディスクナビとホームメニューの使い方

リモコン

電源をオン/オフします。

音量を調節します。

音を一時的に消します。再度押すと消音する前の音量に戻ります。

ワンタッチダビングを始めます。P.76

ファンクションを切り換えます。

：HDDとDVDを切り換えます。

FM/AM：ラジオを聞いたり、FMとAMを切り換えるときに使います。P.94

音声入力 デジタル1/2/アナログ：本機の音声入力端子に接続した外部機器の音を聞くときに使います。押すたびにデジタル1、デジタル2、アナログに切り換わります。P.96-105

ファンクションがHDDまたはDVDのときにチャンネルを切り換えます。

本機のLINE1〜3端子に接続した外部機器の映像/音声を視聴するときに使います。ファンクションがHDDまたはDVDのときに、押すたびにLINE1、LINE2、LINE3に切り換わります。

録画するときに使います。P.26

Gコード

※Gコードは、ジェムスター社の商標登録です。Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

番組表(Gガイド)を表示します。P.28

オリジナルとプレイリストを切り換えます。P.52

サラウンド 音声 A：音声を切り換えます。P.51 P.99
サラウンドモードを切り換えます。P.86

アドバンスド 字幕 B：再生中に字幕を切り換えます。P.51
アドバンスドサラウンドモードを切り換えます。P.87

ダイアログ アングル C：再生中にアングルを切り換えます。P.51
ダイアログ効果を切り換えます。P.93

サウンド プレイモード D：プレイモード画面を表示します。P.56
音質を切り換えます。P.92

番組表が表示されているときの操作についてはP.31をご覧ください。

再生するときに使います。P.50

ナビ画面をお好みの場面に変更します。P.52

ディスク ナビ トップメニュー SR+、プレイリスト メニュー システム設定、ホームメニュー テストトーン、戻る CHレベル、サラウンド 音声 A、アドバンスド 字幕 B、ダイアログ アングル C、サウンド プレイモード D、画面表示 ディマー
の機能を切り換えます。

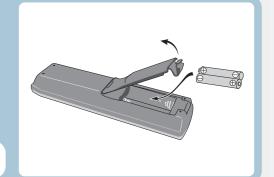
ディスク情報を表示します。P.126
電源オン中に シフト ＋ 画面表示 ディマー を押して、本体表示やHDDインジケーターの明るさを切り換えます(ディマー機能)。

テレビコントロール P.122

お使いのテレビメーカーを本機のリモコンに設定して、お使いのテレビを操作することができます。

リモコンに電池を入れる

- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 消耗した乾電池を入れたまま長期間経過したときや、新しい乾電池に交換するときにテレビコントロールの設定が消えてしまうことがあります。再度メーカーコードを設定してください。P.122
- 不要となった乾電池を破棄する場合は、各自治体の指示(条例)に従って処理をしてください。

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂するなどの危険があります。詳しくは『安全上のご注意』の『電池』をご覧ください。P.7

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、「取扱説明書」(本書)は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

内蔵ハードディスク(HDD)についてのご注意

本機に内蔵されているハードディスク(以下HDD)は非常に精密かつ繊細な機器です。使用状況や動作中の不用意な取り扱いによっては録画内容が破損・消失したり、正常な録画再生動作が行えなくなります。また、修理の際、HDD等の交換により録画内容がすべて消失してしまいますので、あらかじめご了承願います。下記の内容にご注意のうえ、正しくお使いください。

大切な録画について

内蔵HDDが故障すると、HDDの録画内容が損なわれます。

HDDは恒久的な保存場所ではありません。大切な映像・残しておきたい映像は、こまめにDVD-R/RWにダビングして保存してください。

何らかの不具合で損なわれた録画内容の補償、およびそれに附随する損害に対して当社は一切の責任を負いかねます。

設置や使用するときの注意

- 衝撃や振動を与えないでください。特に本機が動作中※はご注意ください。
- 振動する場所や不安定な場所に置かないでください。
- 水平以外の置き方をしないでください。
- 本機の冷却ファンや通風孔をふさがないでください。
- 温度や湿度が高い場所で使用しないでください。また、急激に温度が変化する場所でも使用しないでください。
  急激に温度が変化する場所に設置すると本体内部に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま使用するとHDDに傷が付き、故障の原因となります。
- 電源がオン※のときに電源コードをコンセントから抜いたり、設置している場所のブレーカーを落としたりしないでください。

- 電源がオン※のとき、または電源をオフにした直後は本機を移動しないでください。移動するときは下記の手順で行ってください。
  ① 電源をオフにする。(電源⏻ボタンを押して、本体表示窓の<POWER OFF>表示が消えたことを確認する。)
  ② 2分以上経過してから電源コードをコンセントから抜いて本機を移動する。

※本体表示窓に<EPG>と表示されているときを含む。

停電などが起こったときは

本機の動作中に停電などが起こると、内蔵HDDの録画内容が損なわれることがあります。

ハードディスクについて

- HDDは非常に精密な機器で、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となることがあります。
- 寿命が近くなると、部分的あるいは全体的に"再生映像が一時停止を繰り返す"または"ブロックノイズ(部分的にモザイク状の映像)や映像の乱れが発生する"などといった症状が頻繁に発生するようになります。また、このような前兆なしに寿命となることもあります。
- 寿命になると記録してあった映像すべてが再生できなくなる恐れがあります。寿命で故障となった場合はHDD交換(有償)が必要です。
- 修理の際は記録してあった映像が消えてしまいます。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

感電注意

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常時の処理

プラグを抜け

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

プラグを抜け

- 電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

- 電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

プラグを抜け

- 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。

プラグを抜け

- 機器本体のSTANDBY/ONボタンで電源を切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ(遮断装置)をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

必ず行う

- 本機を設置する場合には、本体(DVD-RW/HDDチューナー)部およびサブウーファー部は壁から5cm以上、ワイヤレススピーカー部は壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本体部、サブウーファー部は天面から5cm以上、背面から5cm以上、側面から5cm以上のすきまをあけてください。また、ワイヤレススピーカー部は天面から10cm以上、背面から10cm以上、側面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

- 着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属したもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

水ぬれ禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場・シャワー室での使用禁止

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

100V以外禁止

- 表示された電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

水ぬれ禁止

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれ手禁止

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

分解禁止

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

接触禁止

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置

必ず行う

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器の近くなど油煙、湿気あるいはホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

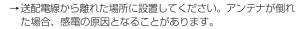
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

→送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

→BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取りつけてください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 表示部が消えていても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ(遮断装置)をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

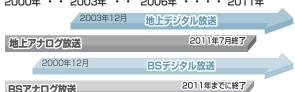
保守・点検

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

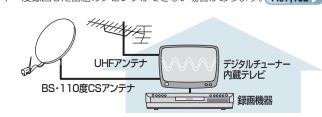
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

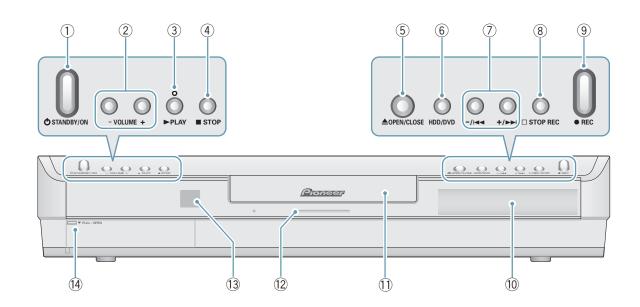
アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが国の方針として決定されています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。P.97,102

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな?と思ったら
その他

各部の名前とはたらき

本体前面部

① ⏻ **STANDBY/ON**
電源をオン/オフします。

② **– VOLUME +**
音量を調節します。

③ ► **PLAY**
再生を始めます。P.50

④ ■ **STOP**
再生を停止します。P.50

⑤ ▲ **OPEN/CLOSE**
ディスクテーブルを開閉します。

⑥ **HDD/DVD**
HDD と DVD を切り換えます。

⑦ **–/|◀◀ +/▶▶|**
チャンネル、再生中のチャプター/トラック、ラジオのステーションなどを切り換えます。

⑧ □ **STOP REC**
録画を停止します。P.26

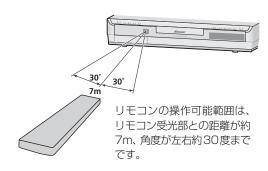
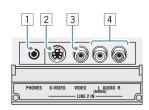
⑨ ● **REC**
録画を始めます。P.26

⑩ **本体表示窓** P.10

⑪ **ディスクテーブル**

⑫ **HDD インジケーター**
HDD が選ばれているとき、青色に点灯します。

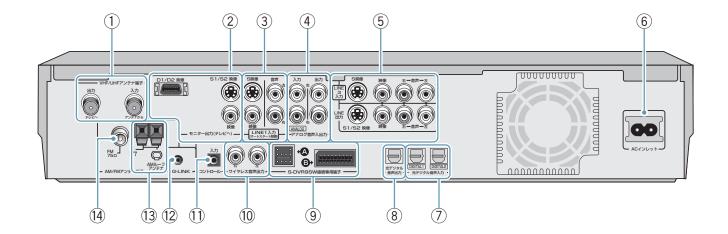
⑬ **リモコン受光部**
ここに向けてリモコンを操作します。

リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7m、角度が左右約30度までです。

⑭ **前面入力端子**
ノブを手前に引いてドアを開けます。

1 **ヘッドホン出力端子**
市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス16Ω～50Ω(推奨32Ω)、直径3.5 φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音は出ません。

2 **LINE 2 IN/S映像端子**

3 **LINE 2 IN/映像端子**

4 **LINE 2 IN/音声左(モノ)・右**

本体背面部

① **VHF/UHF アンテナ端子(入力、出力)**
入力(アンテナから)端子とアンテナ線を接続します。出力(テレビへ)端子とテレビの VHF/UHF アンテナ入力端子を接続します。

② **モニター出力(テレビへ)(映像、S1/S2映像、D1/D2映像)**
テレビなどの映像入力端子と接続します。

③ **LINE1 入力(音声右/左、映像、S 映像)**
地上・BS・110 度 CS デジタルチューナーなどの映像/音声出力端子と接続します。「オートスタート録画」 P.45 機能を使うときは、この端子に接続してください。

④ **アナログ音声入出力(音声入力右/左、音声出力右/左)**
カセットデッキなどのアナログ音声入出力端子と接続します。

⑤ **LINE3入出力(S映像入力、映像入力、音声入力右/左、S1/S2 映像出力、映像出力、音声出力右/左)**
ビデオなどの映像/音声入出力端子と接続します。

⑥ **AC インレット**
電源コードを接続します。

⑦ **光デジタル音声入力(DIGITAL1、DIGITAL2)**
地上・BS・110 度 CS デジタルチューナーなどの光デジタル出力端子と接続します。

⑧ **光デジタル音声出力**
光デジタル入力端子の付いている機器と接続します。

⑨ **S-DVR9SW 接続専用端子(A、B)**
サブウーファーと接続します。

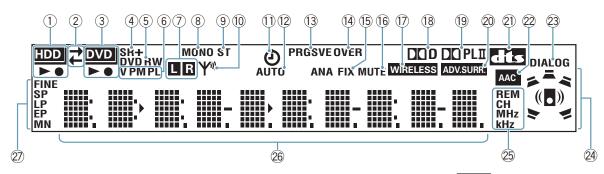
⑩ **ワイヤレス出力(右/左)**
トランスミッター(送信部)と接続します。

⑪ **コントロール入力端子**
SR+に対応したパイオニアプラズマディスプレイと専用の SR+ ケーブルで接続します。 P.102

⑫ **G-LINK 端子**
G ガイドのユーザー調査端子です。任意で同意されたお客様のみ、調査用機器を接続することがあります。通常は何も接続しないでください(Gガイドのユーザー調査については、当社では一切関知しません)。

⑬ **AM アンテナ端子**
AM ループアンテナを接続します。

⑭ **FM アンテナ端子**
FM 簡易アンテナを接続します。

本体表示窓

① HDD ►●
HDD の再生中は►、録画中は●が点灯します。一時停止中は点滅します。

② ➡
HDD から DVD へのダビング中に点灯します。
⬅
DVD から HDD へのダビング中に点灯します。

③ DVD ►●
DVD の再生中は►、録画中は●が点灯します。一時停止中は点滅します。

④ **SR+**
SR+設定がオンのときに点灯します。 P.104

⑤ **DVD RW**
DVD＝ DVD-Video やファイナライズ済の DVD-R DVD-RW がセットされているときに点灯します。
DVD R＝記録できる DVD-R がセットされているときに点灯します。
DVD RW＝記録できる DVD-RW がセットされているときに点灯します。

⑥ **V**
ファイナライズ前の DVD-R DVD-RW(Video) がセットされているときに点灯します。
PM
時刻が午後のときに点灯します。
PL
プレイリストが選ばれているときに点灯します。

⑦ **L R**
二カ国語音声を受信しているときに点灯します。
L＝主音声
R＝副音声
L R ＝主音声＋副音声

⑧ **MONO**
FM放送の受信設定をモノラルにしているときに点灯します。

⑨ **ST**
FM放送をステレオで受信しているときに点灯します。

⑩
FM/AM放送を受信しているときに点灯します。

⑪
録画が予約されているときに点灯します(予約されている録画が実行できるときは点灯、実行できないときは点滅します)。

⑫ **AUTO**
オートスタート録画待機状態またはオートスタート録画中に点灯します。
P.45

⑬ **PRGSVE**
D1/D2映像出力端子からプログレッシブ映像信号が出力されているときに点灯します。

⑭ **OVER**
LINE1～3入力の音声レベルが大きすぎるときに点灯します。大きすぎるときは[入力音声レベル] P.109 を調整してください。

⑮ **ANA FIX**
「アナログアウトモード」が<A.Out Fix>に設定されているときに点灯します。
P.101

⑯ **MUTE**
消音しているときに点滅します。 見開き

⑰ WIRELESS
「ワイヤレスモード」が[W.Surround]に設定されているときに点灯します。
P.88

⑱ **DD**
ドルビーデジタル信号を再生しているときに点灯します。 P.86

⑲ **DD PLⅡ**
ドルビープロロジックまたはドルビープロロジック II で処理されているときに点灯します。 P.86

⑳ ADV.SURR.
「アドバンスドサラウンドモード」を選んでいるときに点灯します。 P.87

㉑ dts
DTS信号を再生しているときに点灯します。 P.86

㉒ AAC
MPEG-2 AAC信号を再生しているときに点灯します。 P.86

㉓ **DIALOG**
「ダイアログ効果」がオンのときに点灯します。 P.93

㉔ 音が出るスピーカーを表示します。ただし、音源によってはすべてのスピーカーから音が出ているとは限りません。

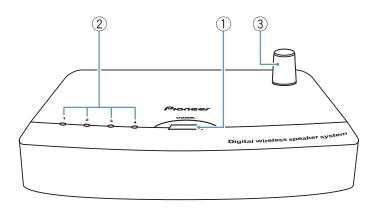
ステレオ(2.1ch)で再生中です。

サラウンド(5.1ch)で再生中です。

㉕ **REM**
㉖に残り時間が表示されているときに点灯します。
CH
㉖にチャンネルが表示されているときに点灯します。
MHz
㉖に受信しているFM放送局の周波数が表示されているときに点灯します。
kHz
㉖に受信しているAM放送局の周波数が表示されているときに点灯します。

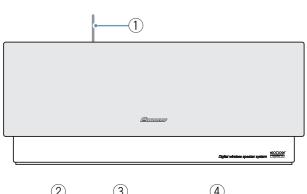
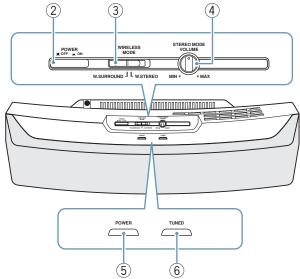
㉖ **カウンター表示**
タイトル/チャプター/フォルダー/トラック/ファイル番号、経過時間、または現在時刻などを表示します。

㉗ **FINE/SP/LP/EP/MN**
現在設定されている録画モードを表示します。[SLP]に設定されているときは点灯しません。

トランスミッター(送信部)

① **CHANNEL**
ワイヤレススピーカーへ送信する音声信号を4つの周波数チャンネルから選びます。ワイヤレススピーカーの受信状態が良くないときは、周波数チャンネルを変えてください。受信状態が良くなることがあります。押すたびに下記のように切り換わります。

→ CH 1 → CH 2 → CH 3 → CH 4 →

② **周波数チャンネルインジケーター(1,2,3,4)**
CHANNELで選んだ周波数チャンネルが点灯します。

③ **アンテナ**
ワイヤレススピーカーへ音声信号を送信します。

ワイヤレススピーカー

① **アンテナ**
トランスミッターからの音声信号を受信します。

② **POWER ∎OFF ▁ON**
電源をオン/オフします。

③ **WIRELESS MODE**
ワイヤレススピーカーの使い方(ワイヤレスモード)を切り換えます。※ P.88,89

④ **STEREO MODE VOLUME**
ステレオスピーカーとしてお使いのとき(WIRELESS MODEが[W.STEREO]のとき)にのみ、ワイヤレススピーカーの音量を調節することができます。

⑤ **POWER インジケーター**
電源がオンのときに点灯します。

⑥ **TUNED インジケーター**
トランスミッターから音声信号を受信しているときに点灯します。

※ 本体のワイヤレスモードが<W.Stereo>になっているときにワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEを[W.SURROUND]に切り換えて音を出すと、最大の音量のまま音量の調節ができない状態になりますので十分ご注意ください。この場合は一度再生を停止するか、ワイヤレススピーカーの電源をオフにしてから、P.88,89の手順に従って正しく設定してください。

本機をお使いにならないときはワイヤレススピーカーの電源をオフにすることをお勧めします(電源がオンのままではワイヤレススピーカーの冷却ファンが回り続けます)。

消去と編集

ダビング

サラウンド

ラジオ

外部機器との接続

応用設定

本機に必要な接続

本機に必要な接続は 1 から 8 までであります。外部機器をお使いになるときは P.96 をご覧ください。

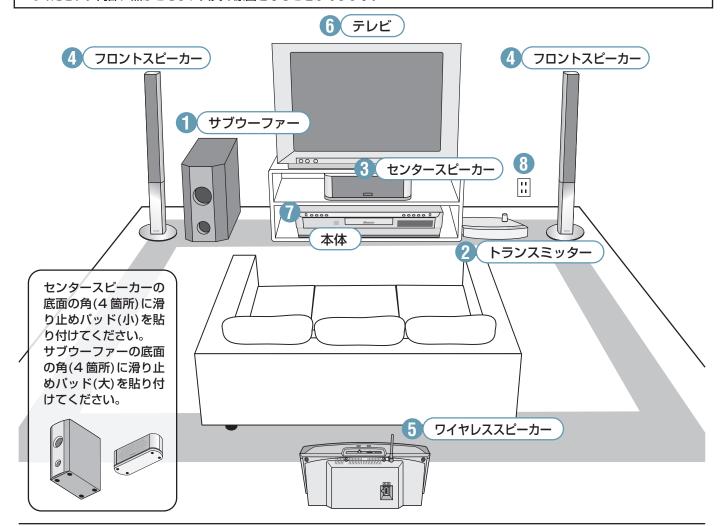
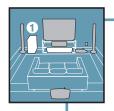
⚠ 警告

機器の接続、変更は、必ず電源を切り、電源コード、ACアダプターをコンセントから抜いた状態で行ってください。

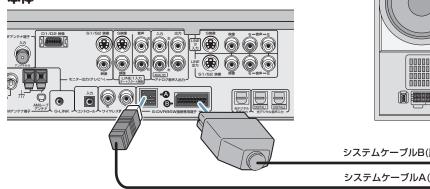
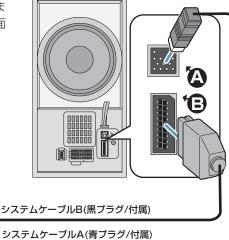
❗ 本機の放熱について

本機を設置する場合には、本体(DVD-RW/HDDチューナー)部およびサブウーファー部は壁から5cm以上、ワイヤレススピーカー部は壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本体部、サブウーファー部は天面から5cm以上、背面から5cm以上、側面から5cm以上のすきまをあけてください。また、ワイヤレススピーカー部は天面から10cm以上、背面から10cm以上、側面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

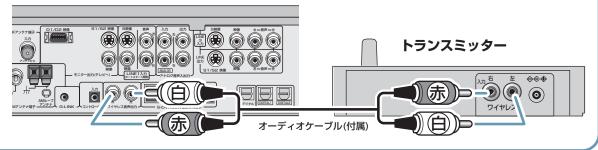
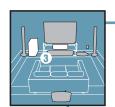
6 テレビ
4 フロントスピーカー
4 フロントスピーカー
1 サブウーファー
3 センタースピーカー
8
7
本体
2 トランスミッター
5 ワイヤレススピーカー

センタースピーカーの底面の角(4箇所)に滑り止めパッド(小)を貼り付けてください。
サブウーファーの底面の角(4箇所)に滑り止めパッド(大)を貼り付けてください。

- フロント/センタースピーカー、サブウーファーはテレビと組み合わせても色ムラが起こりにくい設計(防磁設計)になっていますが、設置のしかたによっては色ムラが起こることがあります。そのときはテレビの電源をオフにして、15～30分後に再度電源をオンにしてください。そのあとも色ムラが残るときはスピーカーをテレビから離してお使いください。
- ワイヤレススピーカーはテレビから離してお使いください。テレビに近付けると色ムラが起こることがあります。また、磁気に影響のある製品や機器(フロッピーディスクやビデオ、カセットテープなど)からも離してお使いください。
- トランスミッターとワイヤレススピーカーの距離は約10mまで使用可能です。この距離は使用環境によって異なりますので、10mを保証するものではありません。
- トランスミッターとワイヤレススピーカーが近すぎると受信状態が不安定になる場合があります。このようなときはトランスミッターとワイヤレススピーカーを1m以上離してお使いください。
- トランスミッターとワイヤレススピーカーの間に障害物(金属製のドアやコンクリート壁、アルミ箔入りの断熱材など)があると、電波を遮ってしまい音が出なくなるときがあります。トランスミッターとワイヤレススピーカーを互いに見通しのよい場所に設置してください。
- 近くに同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、コードレスフォン、ゲーム機器のワイヤレスコントローラー、または電子レンジなどの機器が作動していて、ワイヤレススピーカーの受信状態が良くないときはトランスミッターまたはワイヤレススピーカーの設置場所を変えてみてください。P.152

1 本体とサブウーファーを接続する

サブウーファーは、視聴位置からフロントスピーカーまでの距離とほぼ同じ距離に置きます。放熱のため、天面および前後左右に5cm以上の空間をあけます。

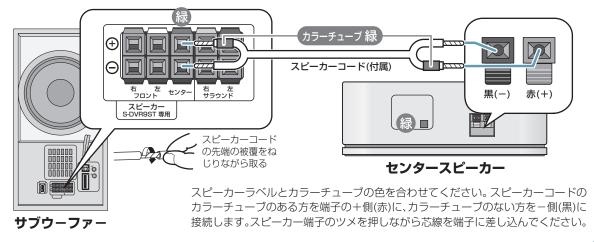
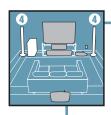
本体

サブウーファー

2 本体とトランスミッターを接続する

本体

3 サブウーファーとセンタースピーカーを接続する

センタースピーカーはテレビの下に置きます。音がテレビと同じ位置から聞こえるようにします。テレビの上に置くときは、適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因になります。

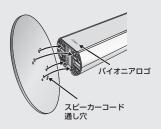
スピーカー端子とカラーチューブの色を合わせてください。

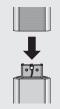
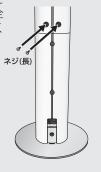
スピーカーラベルとカラーチューブの色を合わせてください。スピーカーコードのカラーチューブのある方を端子の＋側(赤)に、カラーチューブのない方を－側(黒)に接続します。スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に差し込んでください。

4 サブウーファーとフロントスピーカーを接続する

左右のフロントスピーカーは視聴位置から同じ距離になるように置きます。また、テレビからも同じ距離になるように置きます。

スピーカースタンドを組み立てる

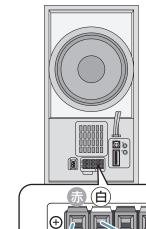
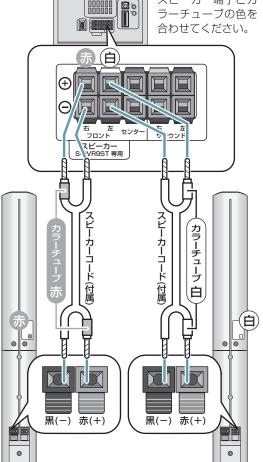
1 スピーカーベースをスピーカースタンドに取り付ける

スピーカースタンドのパイオニアロゴが前に、スピーカーコード通し穴が後ろになるようにして、ネジ穴を合わせてください。ネジ(短)4本でスピーカーベースを固定してください。

2 スピーカースタンドにフロントスピーカーを取り付ける

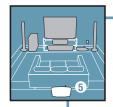
スピーカースタンドにフロントスピーカーをのせ、ゆっくりと押し込んでください。完全に押し込んだら、ネジ(長)2本で固定してください。

3 スピーカー端子にコードを接続する

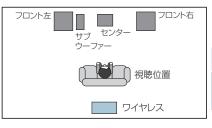
スピーカーベースのスピーカーコード通し穴にコードを通してください。

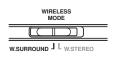
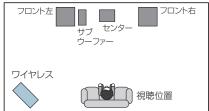
スピーカー端子のツメを押しながら芯線を差し込んでください。

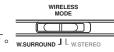
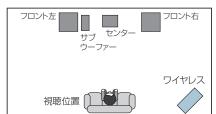
スピーカーベース底面の溝にスピーカーコードを固定してください。

スピーカー端子とカラーチューブの色を合わせてください。

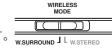
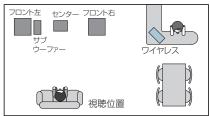
スピーカーラベルとカラーチューブの色を合わせてください。スピーカーコードのカラーチューブのある方を端子の＋側(赤)に、カラーチューブのない方を－側(黒)に接続します。スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に差し込んでください。

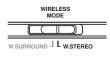
本機のスピーカーを他のアンプに接続しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

5 ワイヤレススピーカーを設置する

ワイヤレススピーカーは視聴位置の真後ろ(中央)、左右の棚、置き台、または床に設置してください。また、耳の高さよりも下に設置することをお勧めします。耳の高さより上に設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されないことがあります。

視聴位置の後ろに設置する

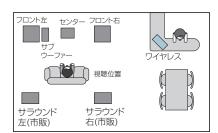
最も高いサラウンド効果を得ることができます。

本体のワイヤレスモード P.88	:[W.Surround]の[Wide]または[Nomal]
サラウンドモード P.86	:[サラウンド]または[アドバンスドサラウンド]の中からお好きなモードが選べます。

視聴位置の左側に設置する

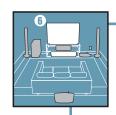
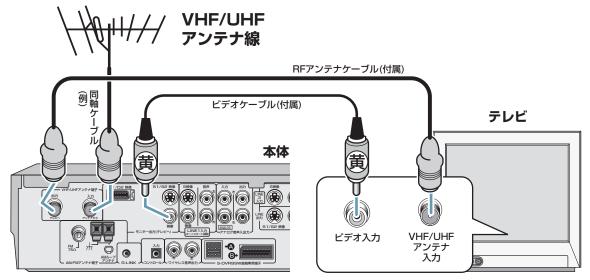
左右の音場バランスを保ちつつ、広がり感を与えます。

本体のワイヤレスモード P.88	:[W.Surround]の[Left Side]
サラウンドモード P.86	:[サラウンド]または[アドバンスドサラウンド]の中からお好きなモードが選べます。

視聴位置の右側に設置する

左右の音場バランスを保ちつつ、広がり感を与えます。

本体のワイヤレスモード P.88	:[W.Surround]の[Rigth Side]
サラウンドモード P.86	:[サラウンド]または[アドバンスドサラウンド]の中からお好きなモードが選べます。

ダイニングなどで使う

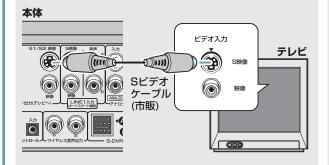
ワイヤレススピーカーをダイニングなどに移動して、ステレオ音声をお楽しみいただくことができます。5.1chなどのマルチチャンネル音声を再生しているときはワイヤレススピーカーから2chに変換された音声が再生されます。

本体のワイヤレスモード P.89	:[W.Stereo]
サラウンドモード P.86	:[Stereo]、[5ch Stereo]、[Virtual]をお勧めします。

市販のサラウンドスピーカーについて

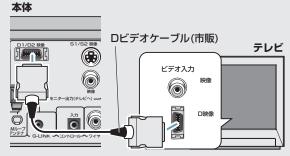
ワイヤレススピーカーをダイニングなどでステレオスピーカーとしてお使いになりながら、視聴位置でサラウンド効果を楽しみたいときは、市販のサラウンドスピーカーを接続できます。この場合はワイヤレススピーカーの設定を[W.STEREO]に、本体のワイヤレスモードを[W.Stereo]にしてください。インピーダンスが6Ω以上、最大入力が100W(JEITA)以上のスピーカーをお使いください(パイオニア製スピーカー型番S-A4SPTをお勧めします)。また10m以内のスピーカーコードで接続してください。

- 別売のワイヤレススピーカースタンド(型番CP-F500W)があります。詳しくはカタログをご覧ください。
- ワイヤレススピーカーを視聴位置から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。サラウンド効果が不十分なときは『スピーカーの出力レベルを調節する』 P.90 をご覧になりRS(サラウンド右)、LS(サラウンド左)チャンネルのレベルを調整してください。特にワイヤレススピーカーを床に設置しているときは、チャンネルレベルの調整が効果的です。

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな?と思ったら
その他

6 本体とテレビを接続する

本機のモニター出力は直接テレビに接続してください。
本機は、アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオを通してテレビに接続したり、ビデオで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのビデオ内蔵テレビのメーカーにお問い合わせください。

S ビデオケーブルで接続する

Sビデオケーブル(市販)を使ってS(S1/S2)映像入力端子の付いているテレビと接続することができます。映像端子(黄)の接続よりも鮮明な映像になります。

S ビデオケーブルで接続するときは映像入出力端子(黄)を接続しないでください。テレビによってはSビデオで接続した映像が出力されないことがあります。

D ビデオケーブルで接続する

D ビデオケーブル(市販)を使って D 映像入力端子の付いているテレビと接続することができます。本機の D1/D2 映像出力端子はプログレッシブ映像信号を出力することができます。S 映像端子の接続よりも鮮明な映像になります。

お使いのテレビがプログレッシブ映像信号に対応していないときは、必ず[コンポーネント出力] P.108 を[インターレース]に設定してください。また、ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子には対応していません。

7 本体にアンテナを接続する

AM ループアンテナを組み立てる

台座を矢印の方向へ折り曲げ、ループを台座に差し込む

壁などに取り付けるときは、ネジ止めして固定してから行ってください。ネジで固定する前に受信状態を確認することをお勧めします。

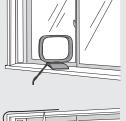
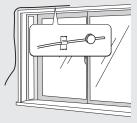
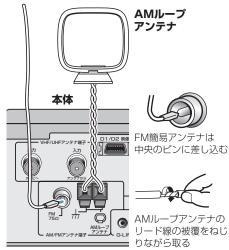
アンテナ接続について

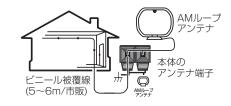
アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ(付属):

- アンテナは向きや置く場所を変えて最も受信状態の良い平らな場所に置いてください。
- アンテナは本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因になります。
- 壁などに取り付けるときは、AM 放送の受信状態が最も良い場所に取り付けてください。

FM 簡易アンテナ(付属):

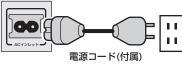
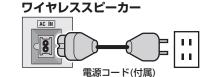
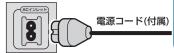
- FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで、受信状態の良い場所にピンと張って画びょうやテープなどで貼り付けてください。
- FM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのアンテナです。より良い状態で受信するには、屋外アンテナ(市販)をお使いください。

付属アンテナでよく聞こえないとき

AM 外部アンテナ(市販)を接続する

FM 屋外アンテナ(市販)を接続する

同軸ケーブル(市販)と変換アダプター(市販)を使って接続します。

8 電源コードを接続する

外部機器をお使いになるときは P.96 をご覧ください。すべての機器の接続が終わったら、電源コードをコンセントに接続してください。

本体

トランスミッター

ワイヤレススピーカー

サブウーファー

より良い音質でお使いいただくために、電源コードのプラグの向きを下記のように接続することをお勧めします。
- 白線を上にして接続する。
- 白線をコンセントの長い方の穴に合わせて接続する。

白線

ホームシアター入門

ホームシアターの基礎知識

ステレオ再生とは ...

CD(R/RW) などステレオ2チャンネルで収録されているソフトは、左右のフロントスピーカーとサブウーファーから別々の音が再生されます。センタースピーカーとワイヤレススピーカーが接続されていても、音はフロントスピーカーとサブウーファーからしか再生されません。

サラウンド再生とは ...

ドルビーデジタルまたは DTS サラウンド再生

ドルビーデジタルまたはDTSサラウンドで収録されているDVDソフトは、フロント/センター/ワイヤレススピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音が再生されます。各チャンネルの音声が独立で収録されているため、立体感や臨場感あふれる音場を楽しむことができます。

ドルビープロロジック II 再生

CD(R/RW) などステレオ2チャンネルで収録されているソフトやドルビーサラウンドまたはドルビーステレオで収録されている2チャンネル信号のソフトをすべてのスピーカーを使って再生します。2チャンネル信号からセンター/ワイヤレススピーカーの音を作り出します。

デジタルサラウンドへの近道(設定から再生まで)

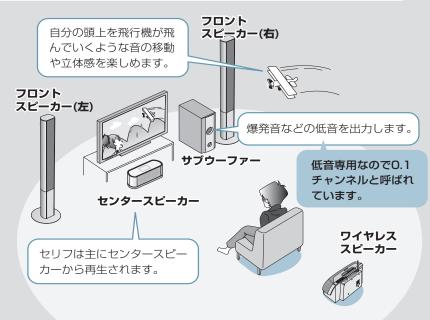
本機で最適なサラウンド再生をお楽しみいただくためのステップは下記のとおりです。

STEP 1 P.21
セットアップナビを使って基本的な設定をする

STEP 2 P.23
スピーカーの接続を確認する

STEP 3 P.24
部屋の広さと視聴位置を選ぶ

STEP 4 P.25
DVDソフトを再生する

GOAL!!
最適な視聴環境で最高のサラウンドをお楽しみください。

DVD ソフトの音声収録方式(フォーマット)を知るには?

多くのDVDソフトでは、パッケージ(裏面)に以下のように表示されています。1枚のディスクに2〜3種類の音声が収録されていることが多く、聞く音声を選ぶことができます。

例)

③)))
1. 英　語 (5.1ch サラウンド)　DOLBY DIGITAL
2. 日本語 (ドルビーサラウンド)　DOLBY SURROUND
3. 英　語 (DTS 5.1ch サラウンド)　

収録音声数　音声収録方式(フォーマット)

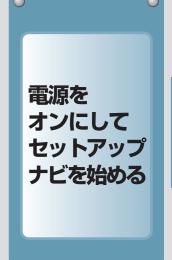
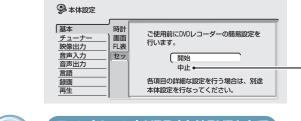
STEP 1 セットアップナビを使って基本的な設定をする

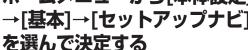
テレビの電源をオンにして、テレビの入力を切り換える

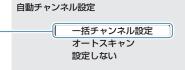
テレビの入力切換についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

1つ前の項目に戻るには

を押す

1 電源をオンにする

下記の画面が表示されているときは 3 に進んでください。

セットアップナビを使わないで設定するときに選びます。

2 ファンクションをHDDまたはDVDにして ホームメニューから[本体設定]→[基本]→[セットアップナビ]を選んで決定する

3 [開始]を選んで決定する

4 チャンネルの設定方法を選んで決定する

- **一括チャンネル設定** P.119
  お住まいの地域または最寄りの地域を入力してチャンネルを設定します。主にCATV(ケーブルテレビ)を視聴されるときはオートスキャンが簡単です。
- **オートスキャン** P.119
  受信できるチャンネルを自動で設定します。
- **設定しない**
  チャンネルの設定を変更しないときやアンテナを接続しないときに選びます。6 に進みます。

5 地域を選んで決定する

『地域別地域コード·放送局一覧』P.148 をご覧になり、お住まいの地域または最寄りの地域に合わせて選んでください。ここで設定した地域を元に番組表を受信します。

次のページへ続く ➡

ジャストクロックとは

NHK教育チャンネルの時報に合わせて時刻を自動で修正する機能です。本機の電源がオフのときに放送局の正午の時報に合わせて時刻を修正します。

6 時計を合わせて決定する

- [西暦]→[月]→[日]→[時]→[分]→[ジャストクロックチャンネル]の順に設定します。
- でカーソルを移動して で設定します。

時計合わせ
日付 2004 年 01 月 01 日(木)
時刻 午前 00 : 00
ジャストクロック チャンネル ---

[ジャストクロックチャンネル]はNHK教育チャンネルに合わせてください。NHK教育チャンネルがわからないときは、セットアップナビを終了したあとにNHK教育チャンネルを確認して、[本体設定]の[時計合わせ] P.107 で[ジャストクロックチャンネル]を設定してください。

7 他の項目を設定する

続けて下記の項目が順に表示されます。お使いの状況に合わせて設定してください。

■はお買い上げ時の設定を表しています。

項目	設定
テレビ画面サイズ お使いのテレビの画面サイズを選びます。	□**ワイド(16:9)** ワイドテレビと接続しているときに設定します。 ■**従来サイズ(4:3)** 従来テレビ(4:3)と接続しているときに設定します。
プログレッシブ 	□**対応している** プログレッシブ映像信号に対応しているテレビと接続しているときに設定します。 ■**対応していない** プログレッシブ映像信号に対応していないテレビと接続しているときに設定します。 □**わからない** お使いのテレビがプログレッシブ映像信号に対応しているかわからないときに設定します。

すべての項目の設定が終了すると 8 の画面が表示されます。

8 [設定完了]を選んで決定する

これでセットアップナビは終了です。
DVDレコーダーをお楽しみください。
設定完了
やり直す

セットアップナビを最初からやり直したいときに選びます。

ホームメニューが表示されているときは を押してください。

9 テレビのチャンネルが正しく映るか確認する

映らないときは[本体設定]から再度チャンネルを設定してください。

STEP 2 スピーカーの接続を確認する

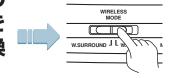
メモ

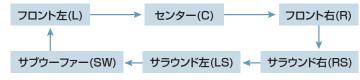
本体のワイヤレスモードが<W.Stereo>になっているときにワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEを[W.SURROUND]に切り換えて音を出すと、最大の音量のまま音量の調節ができない状態になりますので十分ご注意ください。この場合は一度再生を停止するか、ワイヤレススピーカーの電源をオフにしてから、右記または P.88,89 の手順に従って正しく設定してください。

本体表示窓の WIRELESS が点灯していて、ワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEが[W.SURROUND]になっているときは、8 から操作してください。

1. **本体とワイヤレススピーカーの電源をオフにする**
2. **シフト ＋ システム設定 を押す**
3. **<Wireless?> を選んで決定する**

4. **<W.Surround> を選んで決定する**

5. **ワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEを[W.SURROUND]に切り換える**

6. **本体とワイヤレススピーカーの電源をオンにする**
7. **本体表示窓の WIRELESS が点灯していることを確認する**
8. **シフト ＋ サラウンド A を押して <Auto> を選ぶ**
9. **シフト ＋ テストトーン を押す**

下記の順番で、各チャンネルのテストトーン(ザーという音)が自動で切り換わって出力されます。

10. **音量を調節する**

すべてのスピーカーからテストトーンが順番に出力されているか確認します。テストトーンが出力される順番が正しくない、またはテストトーンが出力されないスピーカーがあるときは P.15,16 の接続を確認してください。

11. **シフト ＋ テストトーン を押す**

テストトーンが止まります。

STEP3 部屋の広さと視聴位置を選ぶ

困ったとき P.136

適切な効果を得るために部屋の広さと視聴位置を設定します。

1 電源オン中に シフト + システム設定 を押す

2 <Room Set?> を選んで決定する

3 部屋の広さを選ぶ
押すたびに下記のように切り換わります。

Room S 約6畳
↕
Room M 約12畳
↕
Room L 約18畳

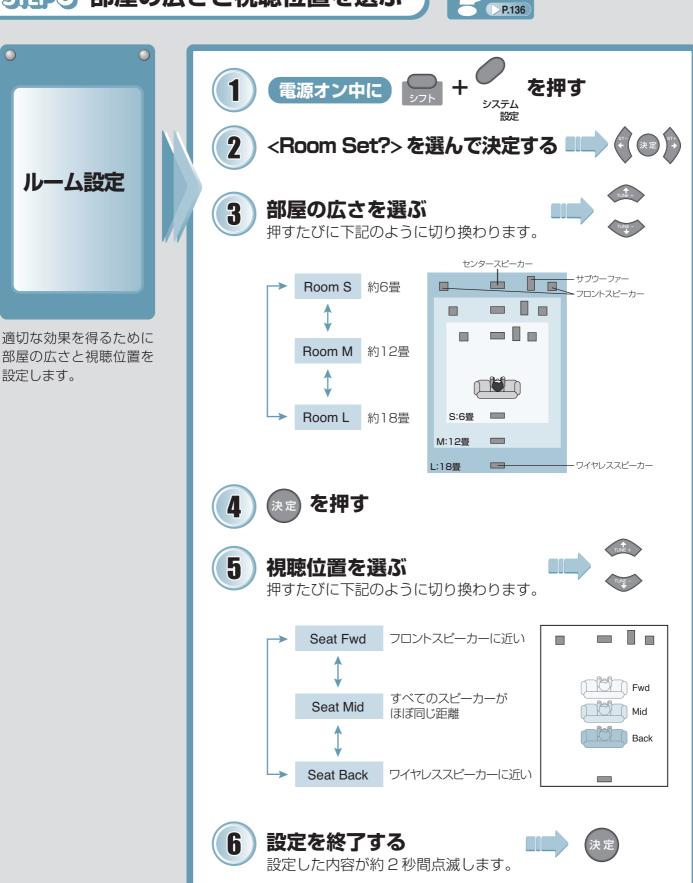
センタースピーカー
サブウーファー
フロントスピーカー
S:6畳
M:12畳
L:18畳
ワイヤレススピーカー

4 決定 を押す

5 視聴位置を選ぶ
押すたびに下記のように切り換わります。

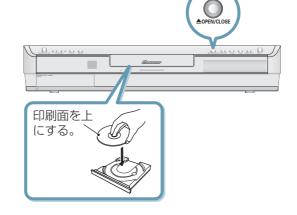
Seat Fwd フロントスピーカーに近い
↕
Seat Mid すべてのスピーカーがほぼ同じ距離
↕
Seat Back ワイヤレススピーカーに近い

Fwd
Mid
Back

6 設定を終了する
設定した内容が約２秒間点滅します。

STEP 4 DVDソフトを再生する

デジタルサラウンドを体験する

1 DVDを選ぶ

2 ディスクテーブルを開閉してディスクをセットする

3 再生する

本体の ►PLAY を押して再生することもできます。
再生を始めると自動でディスクメニューを表示するディスクがあります。メニュー画面の内容や操作方法はディスクによって異なりますが、基本的な操作は『DVDビデオをディスクメニューから操作する』P.53 をご覧ください。

4 音量を調節する

本体の − VOLUME ＋ で調節することもできます。

ホームシアターの完成です。
クリアで迫力あるデジタルサラウンドの世界をお楽しみください。

ワンポイント **より細かく視聴環境を設定したいとき**

- リスニングモードを選ぶ P.86
- ワイヤレススピーカーの使い方(ワイヤレスモード)を選ぶ P.88
- スピーカーの出力レベルを調節する P.90
- 視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する P.91
- 音質を調整する P.92

続けて番組表を受信するときは P.28 をご覧ください。

録画

録画する

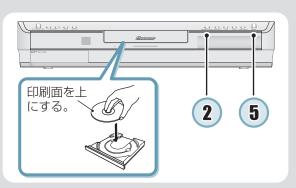
- 録画できるディスクや記録方式などについては P.48 P.75 をご覧ください。
- HDDは恒久的な保存場所ではありません。大切な映像や残しておきたい映像は、こまめにDVD-R/RWにダビングして保存してください。

1 録画先を選ぶ

- **HDDに録画したいとき**
   を押します。HDDインジケーターが青色に点灯します。3 に進んでください。
- **DVDに録画したいとき**
  DVD を押します。

2 ディスクテーブルを開閉してディスクをセットする

未使用の DVD-RW をセットするとお買い上げ時の設定では自動でVRモードに初期化されます。

DVD-RW をビデオモードで録画するには、ビデオモードで初期化する必要があります。 P.116

3 録画したいチャンネルを選ぶ

停止中に数字ボタン(0～9)を押してチャンネルを切り換えることもできます。たとえば12chに切り換えるときは、1、2を押して 決定 を押します。

4 録画モードを選ぶ P.27

5 録画を始める

押すたびに録画時間が切り換わります(ワンタッチ録画)。

ワンタッチ録画

ファンクションをHDDまたはDVDにして

 を押す

- 押すたびに録画時間が切り換わります(30分ごと最大6時間)。
- **ワンタッチ録画の時間設定を解除するには、**テレビ画面に[ワンタッチ録画 0h00m]と表示されるまで 録画 を押します。

録画を一時停止する

ファンクションをHDDまたはDVDにして

 を押す

録画を再開するには、再度、一時停止 または を押します。

録画を停止する

ファンクションをHDDまたはDVDにして

 を押す

ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーまたはDVDレコーダーで再生したいときは、ディスクをファイナライズしてください。 P.47

録画モードと録画時間について

DVDディスク片面4.7GBに記録するときの目安

録画モード	DVDの録画時間	画質
FINE	約1時間	高
SP	約2時間	
LP	約4時間	
EP	約6時間	
SLP	約8時間	低

- HDD の連続録画時間は約8時間です。
- HDD に記録するときの目安については P.154 をご覧ください。
- さらに細かく録画時間や画質を設定したいときは『録画レベルを細かく設定する』 P.113 をご覧ください。

番組を予約して録画する

番組を予約して録画するには、下記の4つの方法があります。

- ★ 番組表(EPG) P.28
- ★ かんたん予約 P.38
- ★ Gコード予約 P.39
- ★ 録画予約画面で予約 P.40

- 最大32番組まで予約できます。
- 1カ月先まで予約できます(番組表での予約を除く)。
- **電源のオン/オフにかかわらず開始時刻になると録画が始まります(録画中などを除く)。**
- DVD残量の不足によって、予約している番組を最後まで録画できないことがあります。このようなときは、[ジャスト録画] P.112 を[オン]に設定すると自動で録画レベルを変更して、セットされているDVDの残量に収まるように録画します。録画レベルが[MN1]でも収まらないときは HDD に録画します。(『おたすけ録画』 P.43)
- **予約時間が重なっているときは…**
  - → 開始時刻の早い予約が優先されます。終了時刻まで録画されます。
  - → 開始時刻の早い予約の録画が終わったあと、開始時刻の遅かった予約の録画が数十秒遅れて始まります(前後の予約の終了時刻と開始時刻が同じときを含む)。
  - → 開始時刻が同じときは、あとから入力した予約が優先されます。
- **録画開始時刻の約2分前(予約録画待機状態)になると**
  - → 本機は予約録画待機状態になり操作が制限されます。
  - → 再生、編集、または各種設定を行っているときは、強制的に操作を終了して予約録画待機状態になることがあります。

- 下記のときは二カ国語の主音声と副音声を同時に記録できないため、[二カ国語時記録音声] P.109 の設定で記録する音声をあらかじめ選んでください(選んだ音声のみが記録されるため、再生中に音声を切り換えることはできません)。また下記のときは、視聴中に主音声と副音声を切り換えることはできません。
  - → 録画先が HDD になっているとき
  - → DVD-RW(VR) がセットされていて、録画モードが[FINE]または[MN32]に設定されているとき
  - → DVD-R DVD-RW(Video) がセットされているとき
- 他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを、本機で再生、追加録画および編集(ファイナライズを含む)することはできません。
- HDD には最大999タイトル録画できます。
- DVD には最大99タイトル録画できます。
- 最大録画タイトル数の制限から、最大録画時間まで録画できないことがあります。最大録画時間については『仕様』 P.154 をご覧ください。
- 録画中でもファンクションをFM/AM、デジタル1、デジタル2またはアナログに切り換えられます(録画は継続されます)。
- ワンタッチ録画が終了してから、HDDまたはDVD関連の操作が20分間まったく行われないときは、自動で電源がオフになります。ただし、ファンクションがFM/AM、デジタル1、デジタル2またはアナログのときは20分を経過しても電源はオフになりません。

番組表(EPG)を受信する

番組表(EPG※)とは

ホスト局(番組データを配信する放送局)から送信される番組表をテレビ画面に表示するシステムです。1回の受信(更新)で最大8日分の番組を受信(更新)します。

※EPGは、Electric Program Guide(電子番組ガイド)の略です。

番組表データを受信する

準備 あらかじめ、セットアップナビの設定を行ってください。P.21

1 番組表データ送信時刻の10分以上前に電源をオフにする

番組表データ送信時刻 下記 になると、自動で受信を始めます。受信中は、本体表示窓に下記のように表示され、本体から動作音がします。

現在の時刻

```
11:10      EPG
```

2 本体表示窓の <EPG> が消えていることを確認して、電源をオンにする

ファンクションをHDDまたはDVDにして

3 番組表を表示する

番組表データ送信時刻 (2004年7月現在)

ホスト局	データ送信時刻				
HBC	7:05	11:05	15:05	17:05	24:30
秋田テレビ、TBC、RCC、OBS	5:05	11:05	14:35	17:05	24:30
BSN	5:05	11:05	14:35	17:35	24:30
TBS	5:05	11:05	14:30	18:30	24:30
CBC	5:35	11:05	14:35	17:00	24:30
毎日放送	6:05	11:05	14:35	17:35	25:45
RSK	5:05	11:05	14:35	17:00	24:30
RKB毎日	6:05	11:05	14:35	17:00	24:30
上記以外のホスト局	6:05	11:05	14:35	17:05	24:30

- **データを受信するときは、左記送信時刻の10分以上前に本機の電源をオフにしてください。**
- データが送信される時刻や回数は変更されることがあります。最新の送信時刻については、(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。
http://www.ipg.co.jp

番組表が表示されないとき

ガイドチャンネルが正しく設定されていないと番組表が表示されないことがあります。特に下記のときはご注意ください。

- CATVに加入しているとき
- オートスキャンまたは個別チャンネル設定でチャンネルを設定したとき

ここでは、受信チャンネル、地域名、およびガイドチャンネルを確認／設定します。

ガイドチャンネルとは？

G コードシステムでの予約録画に使うチャンネルです。放送局ごとに指定されています。
また、番組表を取得するときも使います。

[地域名]を[下関]に設定したとき

1 [オートスキャン]で受信チャンネルと地域名を再度設定する

詳しくは『オートスキャン』P.119 をご覧ください。

2 お住まいの地域のホスト局の[放送局名]および[ガイドチャンネル]を確認する

『地域別地域コード・放送局一覧』P.148 で確認します。

表のみかた

地域		地域コード	表示チャンネルと放送局名 1	2	3	4	5	6	7	8
山口	下関	106	NHK教育 41/90	山口朝日 21/28		山口放送 4/11	TVQ 23/19		テレビ山口 33/38	

例では、[放送局名]が[テレビ山口]になります。

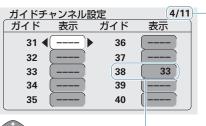
例では、[ガイドチャンネル]は[38]になります。

3 ホスト局(例では[テレビ山口])が映っているチャンネルに切り換える

本体表示窓に表示されるチャンネルを確認してください。

たとえば、ホスト局が11chに映っているとき(このチャンネルを覚えておいてください)。

4 ホスト局のガイドチャンネルを設定する

ホームメニューから[本体設定]→[チューナー]→[ガイドチャンネル設定]→[次画面へ]を選んで 決定 を押します。

前 次 で[ガイド]欄にホスト局のガイドチャンネルが表示されているページ(例では4ページ目)を選びます。

でホスト局のガイドチャンネル(例では[38])を選びます。

5 3 で確認したチャンネルを選んで決定する

例では、[表示]欄を[11ch]にします。

続いて、他のガイドチャンネルも設定してください。ガイドチャンネルの設定／確認については『ガイドチャンネル設定』 **P.121** **をご覧ください。**

次のページへ続く ➡

本機の時計が正しく設定されているか確認する

- ホームメニューから[本体設定]→[基本]→[時計合わせ]を選んで 決定 を押します。
- [西暦]、[月]、[日]、[時(午前･午後)]、[分]、および[ジャストクロックチャンネル]が正しく設定されているか確認してください。確認したあと、 決定 を押すと時計が動作します。
- ホームメニュー を押して、[時計合わせ]画面を終了してください。

本機の電源をオフにする

番組表データは、本機の電源をオフにしているときのみ受信されます。

1 日以上経過してから電源をオンにする

番組表データは、本機の電源をオフにしているときのみ受信されます。

ファンクションをHDDまたはDVDにして

番組表を表示する

それでも表示されないとき

- ホスト局の受信状態が悪いときは番組表データを受信できません。アンテナが正しく接続されているか確認してください。P.18
- ご加入のCATV 局によっては、お住まいの地域と配信されている番組表の地域が異なることがあります。詳しくはCATV 局にお問い合わせください。

上記以外の要因も考えられます。詳しくは P.131 の『番組表』をご覧ください。

番組表に表示されない放送局があるとき

表示されない放送局のガイドチャンネルが正しく設定されているか確認してください。P.121

それでも表示されないときは下記のメモをご覧ください。

番組表の受信と更新について

- 番組表は、本機の電源をオフにしているときのみ、1 日数回受信(更新)されます。受信時刻に電源がオンになっているときは前回受信した番組表を表示します。
- 番組データを受信(更新)中に本機の電源をオンにすると、番組データの受信(更新)を中止します。
- 番組表の受信時刻やホスト局は、[自動チャンネル設定]で指定した地域を元に、本機が自動で設定します。受信時刻については『番組表データ送信時刻』 P.28 をご覧ください。
- 本機を設置した(接続してチャンネルを設定した)時間によっては、番組表が表示できるまでに1 日程度かかることがあります。

ホスト局の受信について

番組表は地域ごとに異なるホスト局より送信されます。このホスト局が受信できない(映らない)ときは、番組表が受信できません(お住まいの地域のホスト局は『地域別地域コード･放送局一覧』 P.148 でご確認ください)。近隣の地域のホスト局が受信できるときは、その地域を指定してチャンネルを設定すると番組表が受信できます。

- **番組表に表示される放送局は地域ごとに決められています。** P.146 設定した地域に登録されていない放送局の番組では、映像が受信できても番組表は表示できません。
- 下記の番組は番組表に表示されません。
  - →[個別チャンネル設定] P.120 でスキップを[する]に設定したチャンネルの番組
  - →地上･BS･110 度CS デジタル放送の番組(CATV から受信しているときを含む)
  - →放送大学の番組
  - →CATV の番組(CATV のVHF/UHF 放送の番組表を表示できることがあります。詳しくはご利用のCATV 局にお問い合わせください。)
- 番組内容や放送時間は放送局の都合により変更されることがあります。
- 本機では、番組表の表示機能にG ガイドシステムを採用しています。当社では、Gガイドシステムを利用した番組表のサービス内容については関与していません。

番組表の使い方

番組表画面

時刻別

番組表(Gガイド)を表示/終了する

番組表の種類

(赤色)：録画予約されている番組

テレビ小画面
番組表を表示する前に受信していたチャンネルの映像が表示されます。

番組一覧
放送局の広告が表示されることがあります。

パネル広告

(緑色)：延長の可能性がある番組 P.44

選んだ番組の詳細情報

番組表(時刻別)
3/11(木)3:12PM
A 番組情報 B 表示切換 C 検索 D 日付変更
今日 10:30PM
見本テレビ 区追跡！大都会事件簿
PBS 今日の出来心
PHK総合 ニュース22
PHK教育 新・実践囲碁将棋
DVDレコーダーのパイオニア、ですから。
ニジテレビ ゴールデンナイター
テレビ月日 ニュースエアポート
テレビ東西 木曜ナイトシアター
3/11(木)10:00PM～10:54PM 見本テレビ
区追跡！大都会事件簿 眠らない街東京を舞台に次々と発生する事件。その数々の事件に立ち向かう勇敢な
決定 で録画予約 ホームメニュー で終了

A (青色)：選んだ番組の詳細を表示します。下 記

B (赤色)：番組表の種類を切り換えます。P.32

C (緑色)：検索画面を表示します([キーワード検索]では、キーワードを修正するときに使います)。P.34

D (黄色)：番組表の日付を変更します。P.32
([キーワード検索]では、キーワードを削除するときに使います。P.35)

選んだ番組の詳細を見たいとき

番組を選んで A (青色)を押す

再度押すと番組表に戻ります。

番組表の種類

番組表には、下記の４種類があります。 B (赤色)を押して、番組表の種類を切り換えます。

時刻別

選んだ時刻(30 分ごと)の番組をすべて表示します。

30分以下の番組は表示されないことがあります。

ジャンル別

同じジャンルの8日分の番組を時間順に表示します。

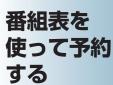
チャンネル別

選んだチャンネルの8日分の番組を時間順に表示します。

キーワード別(気がきく！録画辞典)

キーワード検索した番組を時間順に表示します。

番組表を使って予約する

番組表を使って予約する

予約した番組を確認／変更する

1 確認／変更したい番組（⏲の付いている番組）を選んで 決定 を押す

2 予約を確認／変更する
[開始時刻]および[CH（チャンネル）]は録画予約画面で変更してください。 P.40

予約した番組を削除する

録画中および予約録画待機中は削除できません。

1 削除したい番組（⏲の付いている番組）を選んで 決定 を押す

2 クリア を押す

3 [はい]を選んで 決定 を押す

- スポーツ中継の延長などで放送時間が変わっても開始/終了時刻は変更されません。
- 番組表で Ⓦ が付いている番組を選んだときは、予約入力画面で[一回延長]が設定できます。予約した番組が延長される可能性がありますので、延長時間の設定をお勧めします。詳しくは P.44 をご覧ください。

ファンクションをHDDまたはDVDにして

1 番組表（G ガイド）を表示する

番組表

ホームメニューから[番組表]を選んで表示することもできます。

番組表の種類を切り換えるには

1 B（赤色）を押す

2 で選んで 決定 を押す

ホスト局から配信されるさまざまな情報（番組／映画／音楽など）を表示します。

番組表の日付を切り換えるには

1 D（黄色）を押す

2 で日付を選んで ▷ を押す

◁ ▷ を押すたびにカーソルが移動します。

3 で時刻を選んで 決定 を押す

2 番組を選んで決定する

例 たとえば

番組表（時刻別）

◁ ▷ で時刻を選ぶ

で番組を選ぶ

15分以下の番組を表示するには

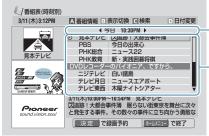
1 B（赤色）を押す

2 で[チャンネル別]を選んで 決定 を押す

3 予約する内容を確認して決定する

日付	開始	終了	CH	録画モード
毎日曜	午後 10：00	午後 10：54	4	SP

記録先	ジャンル	連ドラ	一回延長	
HDD	バラエティー	オフ	オフ	予約確定

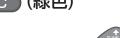
区追跡！ 大都会事件簿GG　タイトル名入力

- [開始時刻]および[CH（チャンネル）]は変更できません。
- 各項目の設定内容については P.41 をご覧ください。
- [一回延長]の延長時間は下記のように切り換わります。

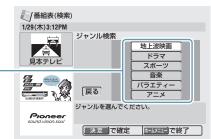
番組をジャンルで検索する

ファンクションをHDDまたはDVDにして

1 番組表(Gガイド)を表示する

ホームメニューから[番組表]を選んで表示することもできます。

2 検索画面を表示する

3 [ジャンル検索]を選んで決定する

4 ジャンルを選んで決定する

5 サブジャンルを選んで決定する

検索結果が表示されます。
お好みの番組を選んで 決定 を押すと予約できます。P.41

『気がきく！録画辞典』で番組を検索して自動で録画する

『気がきく！録画辞典』とは

約220,000語の同義語、関連語または連想語から、関連する番組を検索します。たとえば、キーワード「温泉」で番組を検索したときは、「湯」、「混浴」、「浴衣」、「露天風呂」または「旅館」などの類似キーワードも含めて検索します。

- 気がきく！録画辞典について
  →辞典に含まれるキーワードと番組データが一致しないと、番組が検索されないことがあります。
  →番組表が正しく受信されていないときは働きません。
- [辞典なし]を選んだときは、入力する文字の種類(半角または全角)によって検索結果が変わります。
- 録画辞典詳細設定はキーワードごとに個別に設定できます。
  キーワードを修正するとそのキーワードの録画辞典詳細設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

1 番組表を表示する

2 検索画面を表示する

(緑色)

3 [録画辞典で検索]を選んで決定する

検索
録画辞典で検索
ジャンル検索

4 [キーワード入力]を選んで決定する

すでに入力されているキーワードを選んで検索することもできます。一度入力したキーワードは最大18個まで記憶されます。

5 キーワードを入力する

文字入力のしかたについては P.65 をご覧ください。

キーワード入力
かな 全カナ 半カナ 全英数 半英数 マーク
確定 変換 無変換 消去 スペース

一つのキーワードに入力できる文字数は最大全角 10 文字です。

キーワードを入力するときのみ 囚 または 曰 などの記号を入力できます。

6 キーワードを確定する

[確定]を選んで決定します。

キーワード入力
サッカー_

7 入力したキーワードを選んで決定する

検索結果が表示されます。お好みの番組を選んで 決定 を押すと予約できます。P.41

範囲を広げて検索するには

1 範囲を広げて検索したいキーワードを選んで B（赤色）を押す

2 ◀ ▶ で辞典の種類（検索レベル）を選ぶ

録画辞典詳細設定
辞典設定　辞典なし
ジャンル設定　地上波映画
自動録画設定　しない
戻る　確定

3 ◀ ▶ でジャンルを選ぶ

番組情報からキーワードで番組を検索して、自動でHDDに録画します（「自動録画」）。P.36

設定	内容	検索範囲
辞典設定 範囲を広げて検索できます	■**辞典なし**：キーワードのみで検索するときに選びます。 □**小辞典（約8万語から検索）**：表記違いも検索します。 例 たとえば • **キーワードがJAPAN**…Japan（大文字と小文字、半角と全角、ひらがなとカタカナの表記違い）も検索します。 • **キーワードが有名人の名前**…別名またはニックネームなども検索します。 • **キーワードがワイドニュース（番組名）**…ワイドN（番組名の表記違いまたは省略）も検索します。 • **キーワードがジェイムス**…ジェームス（表記違い）も検索します。 □**中辞典（約19万語から検索）**： 同義語（同じ意味や関係の強い言葉）も検索します。 例 たとえば • **キーワードが俳優、監督、声優、または作家の名前**…代表作品も検索します。 • **キーワードが有名人の名前**…出演番組も検索します。 • **キーワードがグループの名前**…グループのメンバー名も検索します（新撰組から近藤勇、土方歳三、または沖田総司なども検索します）。 • **キーワードが夕張メロン**…北海道（地名）も検索します。 □**大辞典（約22万語から検索）**： 連想語（単語の意味や名前から連想される言葉）も検索します。 例 たとえば • 番組を象徴する言葉も検索します。 • 番組の人気コーナー名も検索します。 • 有名人を象徴する言葉も検索します。 • 出演番組の共演者名も検索します。	検索範囲 狭 ↓ 広
ジャンル設定 ジャンルごとに絞り込んで検索できます	■**しない**　□**地上波映画**　□**ドラマ**　□**スポーツ**　□**音楽**　□**バラエティー**　□**アニメ**	
自動録画設定	P.36	

4 ［確定］を選んで決定する

録画辞典詳細設定が確定されます。

キーワードを修正するには

修正したいキーワードを選んで C（緑色）を押す

キーワードを削除するには

削除したいキーワードを選んで D（黄色）を押す

自動録画を設定する

番組情報からキーワードで番組を検索して、自動で HDD に録画します。検索した中で、最も開始時刻の早い番組を予約して録画します。録画が終わると次の番組を予約します。自動録画したタイトルは自動で消去されます。詳しくは P.37 のメモをご覧ください。

- 「自動録画」を設定した番組は予約確認画面で表示できません。
- 録画されるタイトルは、検索結果と異なることがあります。

1 番組表を表示する

2 検索画面を表示する

C （緑色）

3 [録画辞典で検索]を選んで決定する

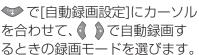
検索
録画辞典で検索
ジャンル検索

4 自動録画を設定したいキーワードを選ぶ

5 録画辞典詳細設定画面を表示する

B （赤色）

6 自動録画を設定する

で[自動録画設定]にカーソルを合わせて、 で自動録画するときの録画モードを選びます。

- しない
- 録画モード
 (SLP/EP/LP/SP/FINE/MN※/AUTO)

※[マニュアル録画] P.112 を[オン]に設定しているときのみ選ぶことができます。

7 [確定]を選んで決定する

自動録画が設定されたキーワードには、[＊]が付きます。
自動録画が設定できるキーワードは最大６個です。

自動録画を解除する

ファンクションをHDDまたはDVDにして

自動録画を解除する

  を３秒以上押す

自動録画中

自動録画は解除されますが、録画は継続されます。録画を停止するときは を押します。

自動録画待機中(録画開始時刻の約２分前)

自動録画が解除されます。

自動録画の設定を解除するには

1. キーワードを選んで B (赤色)を押す
2. 自動録画設定で[しない]を選ぶ
3. [確定]を選んで決定する

メモ

- 予約録画と自動録画の予約時間が重なったときは、自動録画が働きません。また、重なっている予約録画を[一回休止]に設定しても自動録画は働きません。
- オートスタート録画中またはオートスタート録画待機中は自動録画が働きません。
- 自動録画が設定されているキーワードを削除しても、自動録画が始まることがあります(一度自動録画が働かないと設定が反映されないことがあります)。
- 録画中またはファイナライズ中に自動録画が設定されている番組の録画開始時刻になったときは録画が始まりません(録画やファイナライズが終わっても始まりません)。
- 自動録画で録画されたタイトルには、ディスクナビのナビ画面に[＊]が表示されます。また、一度も再生されていないタイトルには[NEW]と青色で表示されます。
- 下記のときは、自動録画で録画したタイトル(一度も編集、保護、またはダビングリストに追加していないタイトル)が古い順に消去されます。
  → HDD残量が録画モードFINEで約10時間以下になるとき(HDD残量が録画モードFINEで約10時間録画できるようになるまで古い順に消去されます)。
  → HDDのタイトル数がすでに998になっているとき(最も古いタイトルが１つ消去されます。ただし、8時間以上の番組が予約されたときは、録画に必要な数だけ消去されます。)
  タイトルを消去したくないときは、タイトルを保護してください。一度保護されたタイトルは、保護を解除しても自動で消去されなくなります。P.64
- 同時刻の番組が重なったときは、順不同に番組を選んで録画します。
- HDD の停止中に、**HDDボタン**を押してから**画面表示ボタン**を2回押すとHDD残量(自動録画ができる残量)を確認できます。
- 自動録画は、番組表に表示されている番組を録画するため、映像が受信されていない放送局の番組を録画することがあります。受信されていない放送局は[個別チャンネル設定] P.120 でスキップ[する]に設定してください。

かんたん予約録画

録画開始時刻と終了時刻を正時(00分)から15分ごとに(最大6時間まで)簡単に設定することができます。録画時間を細かく設定するときは録画予約画面で予約します。P.40

1 ファンクションをHDDまたはDVDにして
ホームメニューから[録画予約]→[かんたん予約]を選んで決定する

2 **録画したいチャンネルを選ぶ**

3 **録画モードを選ぶ**

4 **録画先を選ぶ**

5 **録画する日付を選ぶ**

6 **録画開始時刻にカーソルを合わせて決定する**

でカーソルが15分ごとに移動します。

早戻し 早送り を押すと、カーソルが1時間ごとに移動します。

開始時刻を変更するには

を押す

7 **録画終了時刻にカーソルを合わせて決定する**

8 **[はい]を選んで決定する**

予約が確定して、かんたん予約画面が終了します。

9

を押す

録画モードを[AUTO]に設定したとき

- **録画先が DVD のとき**
  セットされているディスクのDVD残量に収まるように自動で録画レベルを設定して録画します。録画レベルが[MN1]でも収まらないときは未使用の DVD 1枚に収まるように自動で録画モードを設定して HDD に録画します。
- **録画先が HDD のとき**
  未使用の DVD 1枚に収まるように自動で録画モードを設定して録画します。

- 最大32番組まで予約できます。
- 1カ月先まで予約できます。
- **電源のオン/オフにかかわらず開始時刻になると録画が始まります(録画中などを除く)。**
- 電源がオフの状態から録画が始まったときは、音声は消音されています。音声を聞くときはリモコンの消音ボタンまたは本体のVOLUME＋/－ボタンを押してください。
- DVD残量の不足によって、予約している番組を最後まで録画できないことがあります。このようなときは、[ジャスト録画] P.112 を[オン]に設定すると自動で録画レベルを変更して、セットされているディスクのDVD残量に収まるように録画します。録画レベルが[MN1]でも収まらないときはあらかじめ設定していた録画レベルで HDD に録画します。(『おたすけ録画』P.43)

- **予約時間が重なっているときは…**
  → 開始時刻の早い予約が優先されます。終了時刻まで録画されます。
  → 開始時刻の早い予約の録画が終わったあと、開始時刻の遅かった予約の録画が数十秒遅れて始まります(前後の予約の終了時刻と開始時刻が同じときを含む)。
  → 開始時刻が同じときは、あとから入力した予約が優先されます。
- 予約録画開始時に電源がオンだった場合でも、予約録画終了時は電源がオフになります。ただし、予約録画終了時にファンクションがFM/AM、デジタル1、デジタル2またはアナログになっているときは電源はオフになりません。

Gコード® 予約録画

新聞または雑誌などに載っているGコードプログラム番号で録画予約します。

電源がオンのとき

ファンクションをHDDまたはDVDにして

1 Gコード予約画面を表示する

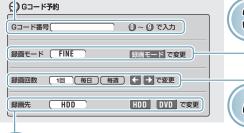
ホームメニューから[録画予約]→[Gコード予約]を選んで表示することもできます。

2 Gコード番号を入力する

- 入力を間違えたときは クリア を押します。
- 途中でGコード予約を中止するときは Gコード を押します。

3 録画モードを選ぶ

4 録画回数を選ぶ

5 録画先を選ぶ

6 Gコード予約を確定する

- 予約内容が表示されます。予約内容が正しく設定されているか確認してください。

チャンネルが設定されていないとき([----]と表示されているとき)は でチャンネルを設定して 決定 を押してください。チャンネルが正しく設定されていないときはガイドチャンネルを設定してください。 P.121

- 予約が確定して、Gコード予約画面が終了します。

電源がオフのとき

1 Gコード予約を始める

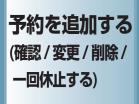
2 Gコード番号を入力する

- 入力を間違えたときは クリア を押します。
- 途中でGコード予約を中止するときは Gコード を押します。

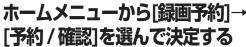
3 Gコード予約を確定する

- 正しく入力されたときは、本体表示窓に<録画する番組の日付>→<録画開始時刻>→<録画終了時刻>→<録画先(HDD)/チャンネル>→<録画モード>が表示されます。
- 本体表示窓に<CODE ERROR>または<CAN' T SET>と表示されたときは P.140 をご覧ください。

録画先は HDD 、録画モードは本体表示窓に表示されているモードになります([SLP]に設定されているときは表示されません)。予約内容は録画予約画面で変更することができます。

録画予約画面で予約する（予約の追加／確認／変更／削除／一回休止／延長）

録画の開始時刻や終了時刻を細かく設定したいときは録画予約画面で予約します。

- 最大24時間まで予約することができます。
- 8 時間を超える予約は、8時間ごとにタイトルを分割して録画します。このとき、分割されたタイトルの間に数秒間録画されない部分ができます。

1 ホームメニューから[録画予約]→[予約／確認]を選んで決定する

2 [新規入力]を選んで決定する

予約確認画面については P.41 をご覧ください。

前 次 でページを切り換えることができます。

予約を変更するには
変更したい予約を選んで 決定 を押す

予約を削除するには
削除したい予約を選んで クリア を押す

予約録画待機中または予約録画中の予約は削除できません。

予約を一回だけ休止するには
休止したい予約を選んで 一時停止 を押す

[日付]が[毎日]、[月〜土]、[月〜金]、[火〜土]または毎曜日のときのみ設定できます。一回休止を解除するには再度 一時停止 を押します。

3 各項目の内容を設定する

4 [予約確定]を選んで決定する

予約確認画面については P.41 をご覧ください。

5 予約確認画面を終了する

予約確認画面

番組表を使って予約したときのみ、選んでいる予約のタイトル名が表示されます。

前 次 でページを切り換えられます。

- 録画可否の確認には、[ジャスト録画] P.112 の設定も考慮されます。
- 録画可否の確認は、確認した日から１カ月先まで計算します。
- 録画状況(ディスクに傷があって、正しく録画できなかったなど)によって、[確認] に表示された通りに録画されないことがあります。
- 録画可否の確認には、『連ドラ延長』 P.44 は考慮されません。

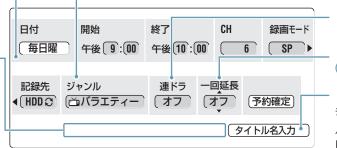
[確認]に表示されるメッセージ

[OK]	録画できます。
[残量不足]	予約した録画時間より残量が少ないです。(残量が許す限り録画されます)。
[8hオーバー]	予約した番組が8時間を超えています。(8時間を超える予約を HDD に録画するときは、8時間ごとに分割して録画します)。
[予約重複]	予約した時刻が他の予約と重複しています。
日付 (例：6/14まで可)	表示された日付まで録画できます。※
[管理情報オーバー]	ディスクのチャプター数やその他の管理情報が一杯で録画できません。
[おたすけ]	『おたすけ録画』 P.43 が働きます(録画先が DVD のときのみ)。
[一回休止]	予約を一回だけ休止します。※
[録画不可]	録画できません。
[タイトル数オーバー]	タイトル数が制限(HDD は999、 DVD は99)を超えるため録画できません。
[録画中]	録画中です。
[待機中]	録画待機中です。
何も表示されないとき	他の録画が実行中です。

※[日付]が[毎日]、[月～金]、[月～土]、[火～土]、または毎曜日のときのみ表示されます。

予約入力画面

[日付]が[毎日]、[月～金]、[月～土]、[火～土]、または毎曜日のときはHDDを選べます。(「更新録画」 P.43)

録画先が HDD のときのみジャンルを設定できます。
番組表を使って予約したときは自動でジャンルが設定されます([映画]、[ドラマ]、[スポーツ]、[音楽]、[バラエティー]、[アニメ]、または[ジャンルなし]のいずれかに設定されます)。 P.66

『連ドラ延長』 P.44

『一回延長(野球延長対応)』 P.44

[予約確定] を選んでいるときに を押すと、タイトル名入力にカーソルが移動します。決定を押すとタイトル名入力画面が表示されます。 P.65

番組表を使って予約したときのみ、自動でタイトル名が表示されます。

- 末尾に[GG]が表示されます。
- 半角32(全角16)文字まで表示されます([GG]を含む)。
- DVD に録画したときは、☒または☐などの記号が付きません。

ワンポイント 録画モード[AUTO]を選んだとき

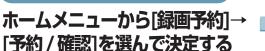
- **録画先が DVD のとき**
  セットされている DVD の残量に収まるように自動で録画レベルを設定して録画します。録画レベルが[MN1]でも収まらないときは未使用の DVD １枚に収まるように自動で録画モードを設定して HDD に録画します。
- **録画先が HDD のとき**
  未使用の DVD １枚に収まるように自動で録画モードを設定して録画します。

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

予約録画を延長する

予約録画中　予約録画待機中

ファンクションをHDDまたはDVDにして

1 ホームメニューから[録画予約]→[予約/確認]を選んで決定する

2 延長したい予約を選んで決定する

3 終了時刻を変更する

[終了(時刻)]と[一回延長] P.44 の設定のみ変更できます。

4 [予約確定]を選んで決定する

予約確認画面が表示されます。

5 予約確認画面を終了する

[終了(時刻)]と[一回延長]で設定した時間を加算して表示します。

- 下記のときは予約録画を延長できません。
  - → オートスタート録画が設定されているとき P.45
  - → 録画先が DVD で録画モードが[AUTO]に設定されているとき
  - → [ジャスト録画]が[オン]に設定されているとき P.112
- 録画先が HDD で録画モードが[AUTO]に設定されているときは、予約録画を延長できます。ただし、[AUTO]の設定は解除され、延長する前に自動で設定された録画レベルになります。

予約録画を解除する

ファンクションをHDDまたはDVDにして

予約録画を解除する

を３秒以上押す

予約録画待機中(録画開始時刻の約２分前)

予約録画が解除されます。

予約録画中

予約録画の設定は解除されますが、録画は継続されます。録画を停止するときは 録画停止 を押します。

録画開始時刻の約２分前になると

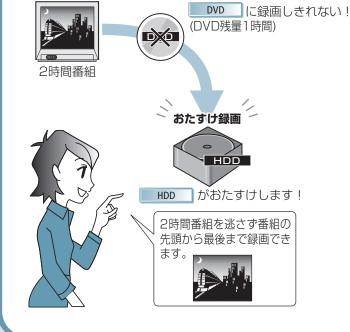
- 本機は予約録画待機状態になり操作が制限されます。
- 再生、編集、または各種設定を行っているときは、強制的に操作を終了して予約録画待機状態になることがあります。

更新録画(HDD)

ある一つの番組を毎日または毎週繰り返して録画するときに、前日または前週に録画した番組を消去して録画します。この機能は[日付]を[毎日]、[月～金]、[月～土]、[火～土]、または毎曜日にして、録画先[HDD]を選んでいるときのみ働きます。

- HDD が停止しているときのみ働きます。HDD 再生中、高速ダビング中、またはディスクバックアップ中は「更新録画」が実行されません(予約していた番組は録画されますが、前回録画したタイトルは消去されません)。消去されなかったタイトルは次回「更新録画」するときにまとめて消去されます。
- 予約録画開始約2分前にタイトルが消去されます。消去されたタイトルは予約を解除しても元には戻りません。
- 「更新録画」で録画されたタイトルは、ディスクナビのナビ画面に[ ]が表示されます。タイトルを消去したくないときはタイトルを保護してください。
- HDD残量が少ないときは、同じ予約でも最後まで録画されないことがあります。

おたすけ録画

予約した番組が DVD に録画しきれないときに、録画先を自動で HDD に変更して録画する機能です。この機能は録画先が DVD のときのみ働きます。

- ディスクがセットされていないとき、または録画できないディスクがセットされているときも録画先を HDD に変更します。
- 録画モードは変更されません。
- HDD から DVD に「おたすけ録画」はできません。
  HDD 残量より DVD 残量が多くても、予約時間に足りなければ HDD に録画します。
- [ジャスト録画] P.112 を[オン]に設定しているときは、[ジャスト録画]が優先されます。[ジャスト録画]でも足りないときに「おたすけ録画」が働きます。
- 「おたすけ録画」が実行されて残量不足になったときは、それ以降に予約してある番組が録画されないことがあります。

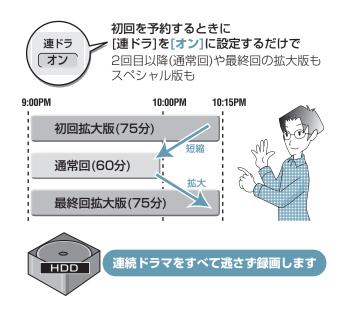
一回延長(野球延長対応)

番組表で、放送時間が延長される可能性がある番組を自動で検索してお知らせします。検索された番組には[ ]が付きます(延長される可能性がある番組以降の番組に付きます※)。[ ]が付いた番組を予約するとき、予約入力画面で延長する時間を設定できます。P.41

※
→ 延長される可能性がある番組の終了予定が5:00～12:00までのときはその番組の終了から12:00までに開始される番組に付きます。
→ 延長される可能性がある番組の終了予定が12:00～19:00までのときはその番組の終了から19:00までに開始される番組に付きます。
→ 延長される可能性がある番組の終了予定が19:00～翌5:00までのときはその番組の終了から翌5:00までに開始される番組に付きます。

- **[日付]が[毎日]、[月～金]、[月～土]、[火～土]、または毎曜日のときは、[一回延長]を設定したあとの一回のみ延長されます(2回目以降は延長されません)。**
- [ジャンル]が[スポーツ]で番組情報に「延長」または「終了まで」などの文字が含まれている番組およびそれ以降の番組に[ ]が付きます。
- **延長される可能性があっても[ ]が付かない番組があります。**
- 予約確認画面の[終了(時刻)]には延長する時間を加算して表示します。

連ドラ延長

連続ドラマを逃さず録画する機能です。終了時刻を自動で修正して録画します。たとえば、初回を拡大版の放送時間(75分拡大版など)で予約しても、2回目以降は通常の放送時間(60分など)で録画します。また、最終回が通常の放送時間より長いとき(75分拡大版など)は自動で終了時刻を延長します(**番組表で録画開始時刻が変更されたときはその番組を正しく録画できませんのでご注意ください**)。P.40

- **[連ドラ]を[オン]に設定した番組の前の番組が延長されたときは、録画終了時刻は自動で修正されません。このときは、[一回延長]も同時に設定してください(延長される可能性がある番組には、番組表の番組一覧に[ ]が付きます)。**
- [日付]が[毎日]、[月～金]、[月～土]、[火～土]、または毎曜日のときのみ設定できます。
- 録画先が[HDD]のときも設定できます。
- 15分未満の予約には設定できません。
- [連ドラ]を[オン]に設定した番組の放送時間に他の番組(スポーツ中継やスペシャル番組)が放送されたときは、その番組が録画されます。
- **自動で終了時刻が延長されて、その後の予約と重複したときは、[連ドラ]が[オン]に設定されている番組の予約が優先されます。**
- 予約確認画面P.41の[終了(時刻)]に[連ドラ追従]と表示されます。
- 録画モードを[AUTO]に設定できません。
- 1つの予約に2番組以上含まれるときは、1つ目の番組が録画されます。

BS/CS放送などの番組を録画する(オートスタート録画)

オートスタート録画とは？

本機のLINE1入力(オートスタート録画)端子に接続しているBS/CSデジタルチューナーなどから出力される映像信号を検出して自動で録画を開始/終了する機能です。

- オートスタート録画はBS/CSデジタルチューナーなどからの映像信号を検出してから本機の電源がオンになるため、番組の冒頭が録画されないことがあります。
- 電源がオフの状態から録画が始まったときは、音声は消音されています。音声を聞くときはリモコンの**消音ボタン**または本体の**VOLUME＋/－ボタン**を押してください。
- オートスタート録画終了時は電源がオフになります。
- 下記のときは、本体およびリモコンの操作が制限されます。
  - → オートスタート録画中。
  - → オートスタート録画が設定されているときの予約録画中。(オートスタート録画の設定のみを解除したいときは、ファンクションをHDDまたはDVDにして本体の**＋/▶▶|ボタン**を3秒以上押します)。

1 録画先を選ぶ

オートスタート録画が開始される直前に他の予約録画が実行されたときは、その予約録画で設定されている録画先に録画されます。

2 録画モードを選ぶ

二カ国語放送の番組を録画するとき

1. [外部音声]を[二カ国語]に設定する P.108
2. [二カ国語時記録音声]で記録する音声を選ぶ P.109

DVD-RW(VR) に録画するときは、この設定にかかわらず主音声と副音声の両方を記録できます。ただし、録画モードを[FINE]または[MN32]以外に設定してください。

3 BS/CSデジタルチューナーなどで番組を予約する

BS/CSデジタルチューナーなどの取扱説明書をご覧ください。

4 BS/CSデジタルチューナーなどの電源をオフにする

電源がオンになっていると、設定した時間にかかわらず 5 の操作を行うとすぐに録画が始まります。

5 本体の □ STOP REC ボタンを3秒以上押す

- ホームメニューから[録画予約]→[オートスタート録画]→[はい]を選んでオートスタート録画を設定することもできます。
- オートスタート録画待機状態になります。本体表示窓の<AUTO>が点灯して、電源がオフになります。

録画が始まる前にオートスタート録画を解除するには

電源 を押す

録画中にオートスタート録画を解除するには

1. 録画 ● を3秒以上押す
   オートスタート録画の設定は解除されますが、録画は継続されます。
2. 録画停止 □ を押す
   録画が停止します。

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

外部入力端子に接続した機器の映像を録画する

外部機器との接続については P.96 をご覧ください。

1 録画先を選ぶ

2 本機の入力を外部入力(LINE1/LINE2/LINE3)に切り換える

接続した機器の映像がテレビに映っていることを確認してください。

3 録画モードを選ぶ

二カ国語放送の番組を録画するとき

1 **[外部音声]を[二カ国語]に設定する** P.108

2 **[二カ国語時記録音声]で記録する音声を選ぶ** P.109

DVD-RW(VR) に録画するときは、この設定にかかわらず主音声と副音声の両方を記録できます。ただし、録画モードを[FINE]または[MN32]以外に設定してください。

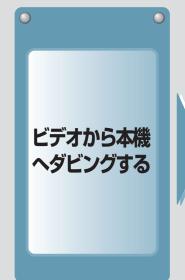
4 ビデオ(外部入力端子に接続した機器)の再生を始める

ビデオなどの取扱説明書をご覧ください

5 本機の録画を始める

録画を停止するには

ファンクションをHDDまたはDVDにして

を押す

「録画禁止」信号を含む映像は録画できません。また、視聴のみでも正しい映像が得られないことがあります。

本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーなどで再生できるようにする(ファイナライズ)

本機で録画した DVD-R DVD-RW(Video) を他のDVDレコーダー、DVDプレーヤー、カーDVD、またはDVDビデオ対応のパソコンなどで再生したいときは、『他のDVDプレーヤーなどで再生するための条件』下記で録画されたディスクをファイナライズしてください。DVD-RW(VR) のファイナライズについては P.116 をご覧ください。

他のDVDプレーヤーなどで再生するための条件

録画するディスクの種類

DVD-RW
- Ver.1.1
- Ver.1.1CPRM対応
- Ver.1.1/2xCPRM対応
- Ver.1.2/4xCPRM対応

DVD-R
- Ver.2.0
- Ver.2.0/4x
- Ver.2.0/8x

録画の記録方式 ビデオモード

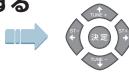
- 本機で録画したディスクは本機でファイナライズしてください。
- 他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを本機で再生、追加録画および編集(ファイナライズを含む)することはできません。
- DVDプレーヤーによってはファイナライズ済の DVD-R DVD-RW(Video) を再生できない機種があります。
- ファイナライズした DVD-R DVD-RW(Video) は録画/編集することができなくなります。ただし、本機で録画した DVD-RW(Video) では、ファイナライズを解除すると再度録画/編集することができます。
- ファイナライズ中はファンクションを切り換えられません。

1 ファイナライズしたいディスクをセットする

2 ファンクションをHDDまたはDVDにして
停止中にホームメニューを表示する

ホーム メニュー

3 [ディスク設定]を選んで決定する

4 [ファイナライズ]→[ファイナライズ実行]→[次画面へ]を選んで決定する

5 お好みの背景を選んで決定する

9種類から選びます。

決定 を押すとプレビュー画面が表示されます。

6 ディスクメニューの背景を確認して[はい]を選んで決定する

ファイナライズに必要な時間はディスクの種類および録画されている時間/タイトル数によって異なります(数分～20分程度)。未録画部分が多いほどファイナライズに時間がかかります。

決定 を押すとファイナライズを中止します。ただし、[中止]が表示されていないときは中止できません。

ファイナライズを解除するには(DVD-RW(Video) のみ)

[ファイナライズ]→[ファイナライズ解除]→[開始]を選んで **を押す**

録画についての注意

本機で録画できるディスクの種類

録画できるディスク(「録画用」または「for Video」と記載されているディスクをお使いください)	記録方式	ディスクのバージョン	繰り返し録画 / 消去できる
DVD-RW	VR モード P.75	Ver 1.0、Ver 1.1 Ver 1.1 CPRM 対応 Ver 1.1/2x CPRM 対応 Ver 1.2/4x CPRM 対応	○
	ビデオモード P.75 ビデオモードで録画するにはビデオモードで初期化する必要があります。P.116	Ver 1.1 Ver 1.1 CPRM 対応 Ver 1.1/2x CPRM 対応 Ver 1.2/4x CPRM 対応	○
DVD-R	ビデオモード P.75	Ver 2.0 Ver 2.0/4x Ver 2.0/8x	× 消去することはできますが残量は増えません。
HDD HDD HARD DISK DRIVE	–	–	○

録画について

▼ 大切な録画をするときは事前に試し録りをして、正常に録画されるか確認してください。

▼ 万一、本機やディスクの不都合によって、また停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに附随する損害について、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

「1 回だけ録画可能」なデジタル放送番組の録画 / 再生について

▼ **著作権保護技術について**

- 「1 回だけ録画可能」な番組は、CPRM(Content Protection for Recordable Media)という著作権保護技術に対応した録画機器およびディスクに録画することができます。

▼ **再生できないとき**

- 録画した「1 回だけ録画可能」な番組をCPRM 方式に対応していないDVD プレーヤーやDVD レコーダーで再生することはできません。

▼ **「1回だけ録画可能」と同じ意味で下記のように表現されている機器があります。**

「デジタル 1 COPY」「一世代のみコピー可」など

著作権について

- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- 本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク(海賊版)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクは再生することができません。

お知らせ

この商品の価格には、「私的録画保証金」が含まれております。保証金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画保証金のお問い合わせ先
〒107-0052東京都港区赤坂5丁目3番6号
赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL03-3560-3107(代)
FAX03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

本機では、DVD+RW、DVD+R、および DVD-RAM に録画することはできません。

他の DVD プレーヤーなどで再生できる	「1 回だけ録画可能」な映像を録画できる	追いかけ再生ができる	16:9 の映像の横と縦の比率をそのままの比率で録画できる	二カ国語放送の音声を切り換えられるように録画できる	映像の編集ができる
RW COMPATIBLE の表記のある DVD-RW対応プレーヤーで再生できます。下記	CPRM 対応のディスクに録画できます。	Ver.1.1/2x または Ver.1.2/4x のディスクをお使いのときにできます。P.54	○	録画モードを[FINE]または[MN32]以外に設定したときに録画できます。	○
本機でファイナライズすることで再生できます。P.47(一部の DVD プレーヤーでは再生できないことがあります。再生できるパイオニア製品については下記をご覧ください。)	×	×	×	×	△ 部分消去、チャプター編集、およびプレイリストを使った編集はできません。
	×	×	×	×	
–	○	○	○	×	○

VRモードで録画した DVD-RW ディスクが再生できる※パイオニア製品

DVD プレーヤー：DV-474-S, DV-270-S, DV-578A-S、DV-464-S、DV-545＊1、DV-555＊2、DV-600A、DV-S646A＊1、DV-S737＊1、DV-S747A＊1、DV-S757A＊2、DV-S838A＊1、DV-S858Ai＊2、DV-S969AVi-N＊2、PDV-20＊1、PDV-LC20TV＊1

DVD システム：HTZ-323DV＊2、HTZ-525DV＊2、HTZ-929DVR＊2、X-FS7DV＊2、X-FS9DV＊2、X-FG88DV＊2、HTZ-300DV、HTZ-500DV、HTZ-900DV、HTZ-1000DV＊2、HTZ-1500DV＊2、X-PR7DV、X-PR9DV

DVD レコーダー：DVR-320-S、DVR-520H-S、DVR-620H-S、DVR-55、DVR-77H、DVR-99H 、DVR-310-S、DVR-510H-S、DVR-515H-S、DVR-610H-S、DVR-710H-S、DVR-1000＊1、DVR-2000＊1、DVR-3000＊2、DVR-7000＊2　2004 年 7 月現在

RW COMPATIBLE

この表示は、VR モード(ビデオレコーディングフォーマット) 記録された DVD-RWディスクが再生できる機能を示します。ただし、1 回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM 対応機器で再生が可能です。

＊1 印のある機種は本機で録画した「1 回だけ録画可能」な番組は再生できません。

＊2 印のある機種は本機で DVD-RW Ver.1.2/4x(2 ～ 4 倍速記録対応)ディスクに録画した「1 回だけ録画可能」な番組は再生できません。

ビデオモードで録画した DVD-R/RW ディスクが再生できる※パイオニア製品

DVD プレーヤー　：DV-474-S, DV-270-S, DV-578A-S、DV-343*、DV-353-S、DV-353-N、DV-450、DV-464-S、DV-505*、DV-515*、DV-525*、DV-535*、DV-545、DV-555、DV-S6D、DV-636D、DV-S646A、DV-600A、DV-7*、DV-S737、DV-S747A、DV-S757A、DV-S838A、DV-S858Ai、DV-S9*、DV-S969AVi-N、DV-AX10、DV-S10A、PDV-10*、PDV-10-SW*、PDV-20*、PDV-LC10*、PDV-LC20TV*、DV-U7、DV-F21*、DVL-9*、DVL-H9*、DVL-909*、DVL-919*、DVL-K88*、DV-K102*、DV-K301C*、DV-K800*、DVK-1000*、DVK-900*

DVD システム　：HTZ-323DV、HTZ-525DV、HTZ-929DVR、X-FS7DV、X-FS9DV、X-FG88DV、HTZ-33DV、HTZ-303DV、HTZ-300DV、HTZ-55DV*、HTZ-500DV、HTZ-7*、HTZ-77DV、HTZ-900DV、HTZ-1000DV、HTZ-1500DV、X-SV5DV-S、X-SV5DV-K、X-SV7DV、X-PR7DV、X-PR9DV

DVD レコーダー　：DVR-320-S、DVR-520H-S、DVR-620H-S、DVR-55、DVR-77H、DVR-99H 、DVR-310-S、DVR-510H-S、DVR-515H-S、DVR-610H-S、DVR-710H-S、DVR-1000*、DVR-2000*、DVR-3000、DVR-7000

カー用 DVD プレーヤー：AVX-P9DV、DVH-P077、AVX-P7DV、AVH-P9DVA、DVH-P007、DVH-P717、SDV-P7

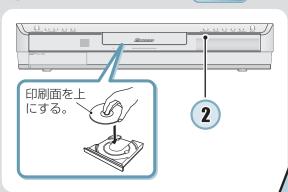
カーナビゲーション：AVIC-AH900MD、AVIC-ZH900、AVIC-XH900、AVIC-H900、AVIC-DR120、AVIC-DRV120K、AVIC-DRV150、AVIC-DRV150K、AVIC-DR220、AVIC-DRV220K、AVIC-DRV250、AVIC-DRV250K、AVIC-H09、AVIC-XH09V、AVIC-H9、AVIC-XH9、AVIC-ZH9MD、AVIC-H99、AVIC-XH99
2004 年 7 月現在

*印のある機種には、2 時間を超える長時間モードで録画されたディスクを再生するためにはプレーヤーのソフトウェア書き換えが必要となるものがございます。該当機種をお持ちのお客様で、2 時間を超える長時間モードで録画されたディスクを再生される場合は専用フリーダイアル0120-59-1069までお問い合わせください。なお、2 時間以内の録画モードで録画されたディスクの再生にはソフトウェア書き換えの必要はございません。

- DVL-9、DV-7、DV-K800、DVK-1000、DV-F21 で再生することを前提に、本機で DVD-R/RW ディスクに録画する場合は、FINE、SP、LP モード（MN32 ～ 7）をご使用ください。
- 正常に再生できないDVD プレーヤーの改修などについてはご容赦ください。
- 再生互換の詳細は、下記弊社ホームページをご覧いただくか、弊社カスタマーサポートセンター P.156 にお問い合わせください。
  http://www.pioneer.co.jp/dvdld/oshirase.html

※ ディスクの記録状態、傷、汚れや DVD 再生機のピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーの相性の問題により再生できない場合があります。

再生する

再生できるディスクについては P.58 をご覧ください。

1 HDD または DVD を選ぶ

- HDD を再生したいとき
  HDD を押します。HDD インジケーターが青色に点灯します。3 に進んでください。
- DVD を再生したいとき
  DVD を押します。

2 ディスクテーブルを開閉してディスクをセットする

3 再生する

- 録画中に押すと**「追いかけ再生」**を始めます。P.54
- ディスクナビから再生することもできます。P.52

一時停止する

通常の再生に戻すには 再生 を押します(再度 一時停止 を押して戻すこともできます)。

停止する

つづき再生機能(RESUME)

- HDD では、タイトルごとに停止した場所を記憶します。
- DVD-R DVD-RW DVD-Video Video CD では、停止した場所を記憶します。再生 を押すと停止した場所から再生を始めます。
- つづき再生を解除するには、停止中に 停止 を押します。
- 再生中にファンクションをFM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えたときは、再生を停止します。

メモ

DTS音声で収録されたCDを再生するときは、音声を切り換えないでください(必ずステレオで再生してください)。

CM バック

を押す

押すたびに映像や音声を下記のように戻すことができます。

5秒 → 15秒 → 30秒 → 1分 → 2分 → 3分 → 0秒

CM スキップ

を押す

押すたびに映像や音声を下記のようにとばすことができます。

30秒 → 1分 → 1分30秒 → 2分 → 3分 → 5分 → 10分 → オート※ → 0秒

ワンポイント CM スキップで[オート]を選んだとき

- ステレオ音声で放送された部分を自動でとばします。
- タイトルによっては CM スキップの[オート]が働かない、または本編がとばされることがあります。
- **CM スキップボタン**を 2 秒以上押して[オート]を選ぶこともできます。
- 編集(部分消去など)したタイトルでは、[オート]を選べないことがあります。

※ [オートチャプター(HDD/VR)] P.60 を[オン]に設定して HDD に録画した、複数のチャプターに区切られているタイトルを再生しているときのみ選ぶことができます。

ディスクによっては CM バックまたは CM スキップができません。

ディスクによってできない機能があります。

機能	対応ディスク	操作	説明
早送り/早戻し（1.5倍早見）	HDD DVD-Video DVD-R DVD-RW Video CD CD(R/RW) MP3	早戻し ◀◀ 早送り ▶▶	◆HDD DVD-Video DVD-R DVD-RWでは押すたびに速さを4段階(早送り1→2→3→4)に切り換えることができます。早送り▶▶ **を1回押すと映像と音声を通常の約1.5倍の速度で再生します。**ただし、音声が出力されなかったり、途切れることがあります(「1回だけ録画可能」な番組などでは音声が途切れることがあります)。 ◆Video CD CD(R/RW) MP3 では押すたびに速さを2段階(早送り1→2)に切り換えることができます。 ◆CD(R/RW)では早送り/早戻し中に音声が出力されません。 ◆通常の再生に戻すには 再生 ▶ を押します。
コマ送り/コマ戻し	HDD DVD-Video DVD-R DVD-RW Video CD	一時停止中に コマ送り/スロー ◀II II▶	◆押すたびにコマ送り/コマ戻しします。押し続けると連続でコマ送り/コマ戻しします。 ◆通常の再生に戻すには 再生 ▶ を押します。 ※ Video CD のコマ戻しはできません。
スロー再生		再生中に コマ送り/スロー ◀II II▶	◆押すたびに速さを4段階(1⁄16→1⁄8→1⁄4→1⁄2)に切り換えることができます。 ◆通常の再生に戻すには 再生 ▶ を押します。 ※ Video CD の逆スロー再生はできません。
頭出し（スキップ）	HDD DVD-Video DVD-R DVD-RW Video CD CD(R/RW) WMA/MP3	前 I◀◀ 次 ▶▶I	◆次 ▶▶I を押すとタイトル/チャプター/フォルダー/トラックなどをスキップします。 ◆再生中に 前 I◀◀ を押すとチャプター/トラックの先頭に戻ります。2回連続で押すと1つ前に戻ります。 ◆再生中に本体の −/I◀◀ / +/▶▶I を押して頭出し(スキップ)することもできます。
タイトル/チャプター/トラックを指定して再生する		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 決定	◆再生中にタイトル/チャプター/トラックの番号を入力して 決定 を押します(番号を入力してから2秒以上経過すると自動で再生を始めます)。 ◆HDD DVD-RW(VR) ではタイトルを指定して再生します。 ◆DVD-Video DVD-R DVD-RW(Video) ではチャプターを指定して再生します。 ◆WMA/MP3 では再生中のフォルダー内のトラックのみを指定して再生します。
音声を切り換える	DVD-Video Video CD DVD-R CD(R/RW) DVD-RW WMA/MP3	音声 A	◆二カ国語で記録された DVD-RW(VR) や複数の音声が収録されているディスクでは、再生中に音声を切り換えることができます。押すたびに音声が切り換わります。
字幕を切り換える	DVD-Video	字幕 B	◆複数の字幕が収録されている DVD-Video では、再生中に字幕を切り換えることができます。押すたびに字幕が切り換わります。 ◆字幕 B を押したあとに クリア を押すと、字幕を消すことができます。
アングルを切り換える		アングル C	◆複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中に切り換えることができます(複数のアングルが収録されている場面になると 🎥 が表示されます)。押すたびにアングルが切り換わります。

ディスクナビやディスクメニューから再生する

オリジナルとプレイリストを切り換えるには（DVD-RW(VR) のみ）

ディスクナビを表示中に プレイリスト を押します。
オリジナルとプレイリストについては P.70 をご覧ください。

ジャンルごとに表示するには HDD

[ジャンル変更] P.66 や録画予約でジャンルを設定したとき P.41 は、ジャンルごとに[ナビ画面]を表示できます。また、ジャンル名の一部を変更することもできます。P.66

1 ディスクナビ を押す

2 決定 を押して右のタイトル欄（ナビ画面）に移動する

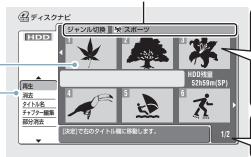
3 TUNE+ でカーソルを[ジャンル切換]に移動する

4 ST- ST+ でジャンルを選んで 決定 を押す

1 HDD または DVD を選ぶ

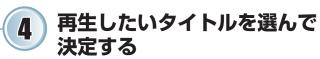
2 ディスクナビを表示する

例 たとえば HDD のディスクナビ

グループ欄

タイトルの小画面（ナビ画面）をお好みの場面に変更することができます。変更したいタイトルを再生して、お好みの場面で ナビマーク を押します。

前 次 でページを切り換えます。

3 [再生]を選んで決定する

4 再生したいタイトルを選んで決定する

- 戻る を押すと左のメニュー欄にカーソルが移動します。
- 録画中に再生することもできます（『**同時録画再生**』P.54）。

HDD、DVD-R/RW 以外のディスクをディスクナビから再生するには

1 **を押す**

DVD-Video をディスクナビから再生するときはホームメニューから[ディスクナビ]を選んでください。

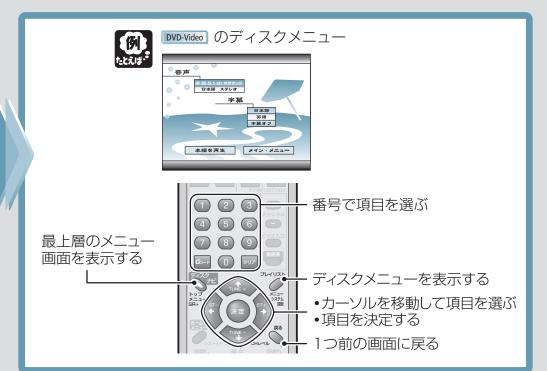
2 再生したいタイトル／チャプター／フォルダー／トラックを選んで **を押す**

例 たとえば WMA/MP3 のディスクナビ

停止中に CD と WMA/MP3 混在ディスクを切り換えることができます。

タイトルの小画面（ナビ画面）は表示されません。

DVDビデオをディスクメニューから操作する

再生を始めると自動でディスクメニューを表示するディスクがあります。

ビデオCDをディスクメニューから再生する（PBC再生）

ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1 **PBC再生対応ディスクを再生する**

Video CD のディスクメニュー

ビデオCDカラオケ

1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

2 **再生したいトラックを選んで決定する**

PBC再生中にディスクメニューに戻るには

を押す

ディスクメニューのページを切り換えるには

を押す

PBC再生を解除するには

停止中に

前 次 **で再生したいトラックを選ぶ**

（または『サーチモード』P.56 で選ぶ）

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

追いかけ再生 HDD DVD-RW(VR)

録画中の番組を録画しながら再生するのが「追いかけ再生」です。たとえば、「サッカーの試合を録画予約して出かけたが、試合の途中で帰宅することができたので、録画が終わる前に最初から見たい」といったときに便利です。

追いかけ再生を始める

録画中に

再生 を押す

ただし、DVD-RW(VR) のときは、録画を始めてしばらくは追いかけ再生ができません。

追いかけ再生を停止する

停止 を押す

再生は停止しますが、録画は継続されます。

録画を停止する

録画停止 を押す

録画は停止しますが、再生は継続されます。予約録画中は、予約録画を解除してから操作してください。P.42

同時録画再生 HDD DVD-RW(VR)

録画中にすでに録画されている別のタイトルを再生することを「同時録画再生」と言います。HDDに録画中にDVDを再生したり、DVDに録画中にHDDを再生することもできます。

同時録画再生を始める

録画中に

ディスクナビから再生します P.52。ただし、DVD-RW(VR) のときは、録画を始めてしばらくはディスクナビを表示できません。

再生だけを停止する

停止 を押す

再生は停止しますが、録画は継続されます。

録画を停止する

録画停止 を押す

録画は停止しますが、再生は継続されます。予約録画中は、予約録画を解除してから操作してください。P.42

「追いかけ再生」「同時録画再生」についての注意

- **HDD や Ver.1.1/2x(1～2倍速記録対応)または Ver.1.2/4x(2～4倍速記録対応)の DVD-RW にVRモードで録画しているときのみ働く機能です。**ただし、ディスクによっては Ver.1.1/2x または Ver.1.2/4x の DVD-RW をお使いのときでも働かないことがあります。
- 未使用の Ver.1.1/2x(1～2倍速記録対応)の DVD-RW を他のDVDレコーダーで初期化すると働かないことがあります。
- オートスタート録画中またはオートスタート録画が設定されているときの予約録画中は働きません。P.45
- DVD-RW(VR) では早送り 1 のときに音声が出力されなくなります。
- 高速ダビング中またはディスクバックアップ中はできません。
- 再生中にファンクションをFM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えたときは、再生は停止しますが録画は継続されます。

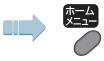
JPEG ファイルを再生する

フジカラーCD、コダックピクチャーCD、CD-R/RW、またはCD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます。

ディスク内にフォルダーが100 以上またはファイルが1000 以上あるとき

フォルダー選択欄に[次を読む]が表示されます。[次を読む]を選んで**決定ボタン**を押すと次のフォルダー/ファイルを読み込みます。

- 半角英数字またはシフトJIS 漢字コード以外で入力されているフォルダー/ファイルの名前はフォルダー/ファイル番号(たとえば、[F_03]/[f_003])で表示されることがあります。
- スライドショーの表示間隔は変更できません。
- ファイルサイズが大きいときは画像の表示に時間がかかることがあります。

1
ファンクションをHDDまたはDVDにして
ホームメニューを表示する

2 **[フォトビューワー]を選んで決定する**

3 **再生したいフォルダーを選んで決定する**

カーソルをフォルダー名の欄に戻すには 戻る を押します。

前 次 で画像を9枚ずつ切り換えます。

4 **画像を選んで決定する**

スライドショーが始まります。

スライドショーを一時停止するには

一時停止 **を押す**

スライドショー中に前または次の画像を見るには

前 次 **を押す**

画像を拡大して見るには

＋ チャンネル **を押す**

2倍 → 4倍 → オフ(通常)

- 拡大するとスライドショーが一時停止します。
- で拡大する場所を移動することができます。

画像を回転するには

アングル C **を押す**

押すたびに画像が回転します(時計回りに90 度)。.

スライドショー中にフォトビューワーに戻るには

スライドショーまたはフォトビューワーを終了するには

各部の名前とはたらき / 接続 / ホームシアター入門 / 録画 / 再生 / 消去と編集 / ダビング / サラウンド / ラジオ / 外部機器との接続 / 応用設定 / 故障かな？と思ったら / その他

サーチモード/A-Bリピート再生/リピート再生/プログラム再生 (プレイモード)

プレイモード D を押して、プレイモード画面を表示する

見たい場面や聞きたい曲を指定して再生します。

1 サーチモードの種類を選んで 決定 を押す

サーチモードの種類はディスクによって異なります。

2 再生したいタイトル/チャプター/フォルダー/トラック/時間を入力して決定する

で切り換えることもできます。

指定した範囲を繰り返し再生します。

1 A-Bリピート再生を開始したい個所で 決定 を押す

2 A-Bリピート再生を終了したい個所で 決定 を押す

通常の再生に戻すには

A-Bリピート再生中に クリア を押す

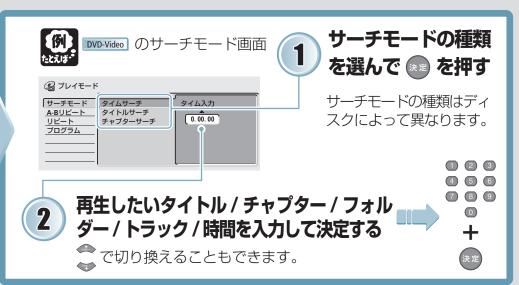
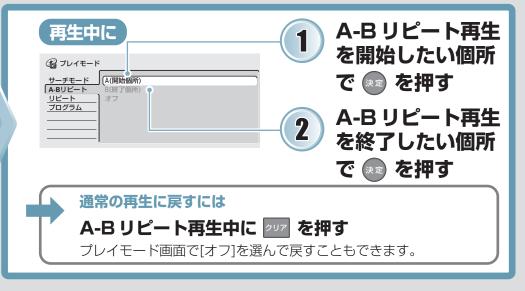
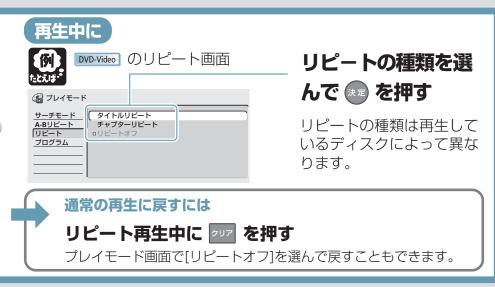
プレイモード画面で[オフ]を選んで戻すこともできます。

繰り返し再生します。

リピートの種類を選んで 決定 を押す

リピートの種類は再生しているディスクによって異なります。

通常の再生に戻すには

リピート再生中に クリア を押す

プレイモード画面で[リピートオフ]を選んで戻すこともできます。

- タイトル/チャプター/フォルダー/トラックの順番を変えて再生します。
- 24ステップまでプログラムすることができます。

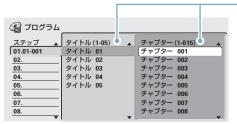
プログラムした内容を繰り返し再生する

プログラム再生中にリピート画面から[プログラムリピート]を選んで**決定ボタン**を押すとプログラムリピート再生が始まります。

 DVD-Video のプログラム画面

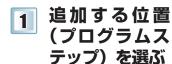
1 [プログラム入力・編集]を選んで決定する

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を先頭から再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に クリア を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に クリア を押して消去することもできます)。

2 プログラムしたいタイトル/チャプター/フォルダー/トラックを選んで 決定 を押す

3 プログラム再生を始める

入力中にプログラムを削除するには

1. **削除したいプログラムを選ぶ**
2. クリア **を押す**

ステップの間にプログラムを追加するには

1. **追加する位置(プログラムステップ)を選ぶ**
2. **追加したいタイトル/チャプター/フォルダー/トラックを選んで 決定 を押す**

- リピート再生(A-Bリピート再生)中にファンクションをFM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えると、リピート再生が解除されます。
- プログラム再生中にファンクションをFM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えたときは、再生は停止しますがプログラムされている内容はそのまま残ります。ただし、HDDに切り換えたときは消去されます。

再生についての注意

本機で再生できるディスクの種類

- 本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合しています。ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

ディスクレーベルなどに付いているマーク		ファイル/フォーマット
DVD-R	DVD R	DVD-R
DVD-RW	DVD RW / DVD RW	DVD-RW(Video) DVD-RW(VR)
DVDビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD-Video
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	Video CD
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD(R/RW)
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	Video CD CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	Video CD CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG
フジカラーCD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE / FUJICOLOR CD COMPATIBLE	
コダックピクチャーCD		

：このマークは富士写真フイルム(株)の商標です。

コピーコントロールCDについて

当製品は、音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンNo.(P.144)が「2」または「ALL」以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- SACD
- フォトCD
- CD-G
- CD-ROM
- CD EXTRAのデータ
- 本機以外で録画されたファイナライズされていないDVD-R/RW(ビデオモード)

DVD-R/DVD-RWについて

- 本機で録画したDVD-RW(VRモード)は、RW COMPATIBLEの表記※1のあるDVD-RW対応プレーヤーで再生が可能です。DVD-RW対応プレーヤーには、ファイナライズ(P.47)しないと再生しないものもありますので、そのような場合はファイナライズを行ってください。DVD-RW(VRモード)では、本機でファイナライズしたあとも、通常通り、録画・編集操作を行うことができます。
- 本機で録画したDVD-RW(ビデオモード)は、ファイナライズ(P.47)することで、DVDプレーヤーやカーDVD、またはDVDビデオ対応のパソコンなどでの再生※2が可能になります。ただし一部のプレーヤーで再生しようとしたときに、以下のような動作を起こすことがあります。
  - ディスクを受け付けない。
  - 再生画面にブロックノイズ(モザイク状の画像)が多く発生する。
  - 音声・映像が途切れる。
  - 再生が途中で停止する。

  また、DVD-R/RW(ビデオモード)は、一度ファイナライズを行うと、新たな録画・編集の操作を行うことはできません(DVD-RWでは、ファイナライズ解除(P.47)すると、再度録画・編集できます)。

※1 RW COMPATIBLE
この表示はVRモード(ビデオレコーディングフォーマット)記録されたDVD-RWが再生できる機能を示します。ただし、1回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM対応機器で再生が可能です。

※2 DVD-R/RWへのビデオモード(ビデオフォーマット)による録画は、2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応はDVD再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブによってはDVD-R/RWを再生しないモデルがあります。

CD-R/CD-RWの再生について

- ▼ 本機では、音楽用のCDフォーマット、ビデオCDフォーマット、MP3/WMAの音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、記録したレコーダーの記録特性やディスクの特性、ディスクの傷/汚れ、本機のピックアップのレンズ汚れ/結露などにより、再生できないことがあります。
- ▼ 音楽用のCDフォーマットはマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。
- ▼ ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステムおよび拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクをお使いください。パケットライト方式(UDF Ver1.5ファイルシステム)で記録したディスクは再生できません。

JPEGの再生について

- ▼ JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)の一つです。
- ▼ 本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- ▼ 画像サンプリング比 4:4:4、4:2:2、4:2:0に対応しています。
- ▼ 縦の解像度が120～3840ピクセル、横の解像度が160～5120ピクセルのベースラインJPEGファイル、またはExif 2.2※3 P.144 に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- ▼「.jpg」、「.JPG」、「.jif」、「.JIF」、「.JPEG」、または「.jpeg」という拡張子が付いたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- ▼ 一度に読み込むデータは、フォルダー名/ファイル名のアルファベット順に99フォルダー/999ファイルまで認識/再生することができます(再読込機能によって、ディスク内のすべてのフォルダーおよびファイルを再生することができます)。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー/ファイルが認識/再生できないことがあります。
- ▼ ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

※3 デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif) Ver2.2、JEIDA-49-1998(社)電子情報技術産業協会JEITA

MP3の再生について

- ▼ MPEG1 オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHzまたは48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[このフォーマットは再生できません]と表示され、再生することができません。
- ▼ 可変ビットレート(VBR:VariableBit Rate)には対応していません(再生できるときは、本体表示窓の時間表示が速くなったり遅くなったりします)。
- ▼「.mp3」または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- ▼ フォルダー名/トラック名のアルファベット順に99フォルダー/999トラックまで認識/再生することができます。ただし、フォルダーの構成によってはすべてのフォルダー/トラックが認識/再生できないことがあります。
- ▼ 音質的には記録ビットレート128kbpsを推奨します。
- ▼ ISO9660フォーマットに準拠していないディスクに記録されているファイルは再生できません。

WMAの再生について

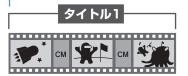
- ▼ 本機は、WMA(Windows Media Audio)8形式に対応しています。
- ▼ WMA9でエンコードされたファイルも再生することができますが、WMA8からの機能拡張部分(Pro・Lossless・Voice・可変ビットレート(VBR))には対応していません。
- ▼ WMAデータはWindows Media Player Ver.9、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。
- ▼ DRMコピープロテクト※4のかかったファイルには対応していません。
- ▼ サンプリング周波数44.1kHzまたは48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[このフォーマットは再生できません]と表示され、再生することができません。
- ▼ 可変ビットレート(VBR:Variable Bit Rate)またはロスレスエンコーディング(Loss-Less Encoding)には対応していません。
- ▼「.wma」または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- ▼ フォルダー名/トラック名のアルファベット順に99フォルダー/999トラックまで認識/再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー/トラックが認識/再生できないことがあります。
- ▼ WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使うと正常に動作しないことがあります。
- ▼ ISO9660フォーマットに準拠していないディスクに記録されているファイルは再生できません。

※4 DRMコピープロテクト
DRM(Digital Rights Management)コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する等の機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

消去と編集

タイトルとチャプターについて

タイトル1

タイトル2

録画した回数だけ**「タイトル」**が作成されます。

番組を録画すると、1回の録画が1つの「タイトル」になります。

市販のDVDソフト

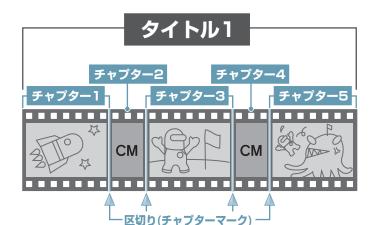
一般の映画ソフトなどでは、1つの映画が1つの「タイトル」となります。

タイトル1

CM　CM

さらに、タイトルは**「チャプター」**という単位に区切ることができます。

タイトルやチャプターという単位に区切ると頭出し(スキップ)やCMをカットするときに便利です。

- HDD には最大999タイトル録画できます。
- DVD-R DVD-RW には最大99タイトル録画できます。
- 最大録画タイトル数の制限から、最大録画時間まで録画できないことがあります。

- HDD DVD-RW(VR) では、チャプターを分割すると任意でタイトルに複数の区切り(チャプターマーク)を入れることができます。P.68

- 録画中に一時停止すると区切りが入ります。
- オートスタート録画中に区切りを入れることはできません。
- HDD では1タイトルに最大99の区切りを入れることができます。
- DVD-RW(VR) では1枚のディスクに最大999の区切りを入れることができます。

- DVD-R DVD-RW(Video) では、10分間隔でタイトルに区切り(チャプターマーク)が入ります(「オートチャプター(ビデオ)」)。任意の位置に区切りを入れることはできません。ただし、間隔を変更することはできます。P.112

自動でタイトルに区切りを入れる(オートチャプター(HDD/VR)) HDD DVD-RW(VR)

番組の音声(モノラル/二カ国語/ステレオ)の切り換わりに合わせて自動でタイトルに区切り(チャプターマーク)が入るため、CMカットが簡単にできます([チャプター編集]でCM部分のチャプターを消去します P.68)。
自動で区切りを入れたくないときは[オフ]に設定します。P.112

区切りの入る位置は多少ずれることがあります。

「タイトル」と「チャプター」はディスクナビからお好みで編集することができます。

下表「こんなことができます」をご覧ください。

こんなことができます

本機では、録画した番組のCMをカットするなどいろいろな編集を楽しむことができます。

			HDDでは	DVD-RW VRモードでは		DVD-R/RW ビデオモードでは
			HDD	DVD-RW(VR) オリジナル	DVD-RW(VR) プレイリスト	DVD-R / DVD-RW(Video)
タイトルの編集	消去	P.62	○	○	○	○
	タイトル名	P.65	○	○	○	○
	部分消去	P.63	○	○	○	×
	保護	P.64	○	○	×	○
	全消去	P.63	○	○	○	○
	ジャンル名	P.66	○	×	×	×
	ジャンル変更	P.66	○	×	×	×
	作成	P.71	×	×	○	×
	移動	P.72	×	×	○	×
	分割	P.67	○	×	○	×
	結合	P.73	×	×	○	×
	取り消し	P.73	×	○	○	○
チャプターの編集	消去	P.68	○	○	○	×
	移動	P.72	×	×	○	×
	分割	P.68	○	○	○	×
	結合	P.69	○	○	○	×
	プレビュー	P.69	○	○	○	×
	取り消し	P.73	×	○	○	×

オリジナルとプレイリストについては P.70

録画した映像(タイトル)を消去する

残量について

- HDD DVD-RW(VR) では、オリジナルのタイトルを消去すると残量が増えます。不要なタイトルを消去することで繰り返し録画できます。
- HDD DVD-RW(VR) では、オリジナルの約1分以上連続した映像を消去しないと残量は増えません。残量を増やすには、できる限り長い範囲の映像を消去することをお勧めします(短い範囲の映像をたくさん消去したときは、消去した映像の合計時間と残量が一致しないことがあります)。
- DVD-RW(VR) では、プレイリストのタイトルを消去しても残量は変わりません。
- DVD-R DVD-RW(Video) では、タイトルを消去しても消去されたタイトルが表示されなくなるだけで残量は増えません。ただし、DVD-RW(Video) の最後に録画したタイトルを消去したときは残量が増えます。

編集を取り消す P.73

直前に行った編集を取り消して1つ前の状態に戻すことができます。最大3つ前の編集まで取り消すことができます。**ただし、HDD では取り消すことができません。**

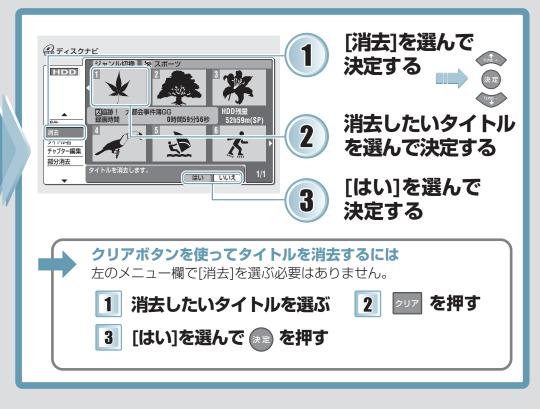
準備 ディスクナビ を押して、ディスクナビを表示する

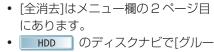
タイトルを消去します。

1. [消去]を選んで決定する
2. 消去したいタイトルを選んで決定する
3. [はい]を選んで決定する

クリアボタンを使ってタイトルを消去するには

左のメニュー欄で[消去]を選ぶ必要はありません。

1. 消去したいタイトルを選ぶ
2. クリア を押す
3. [はい]を選んで 決定 を押す

録画されているすべてのタイトルを消去します。

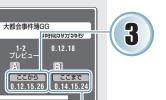
1 **[全消去]を選んで決定する**

- [全消去]はメニュー欄の２ページ目にあります。
- HDD のディスクナビで[グループ]を選んでいるときは、選んでいる[グループ]のタイトルのみ全消去します。

2 **[はい]を選んで決定する**

保護されているタイトルは消去されません。

5 秒未満の映像を消去できないことがあります。

1 **[部分消去]を選んで決定する**

2 **部分消去したいタイトルを選んで決定する**

- タイトルが再生されます（通常の再生とほぼ同じ操作ができます）。
- プレイモード D を押して、チャプターサーチ／タイムサーチもできます。

現在再生している位置や区切り（チャプターマーク）が入っている位置を表示します。

で選んで 決定 を押すとディスクナビに戻ります。

3 **[ここから]を選んで決定する**

部分消去する場面の開始点を指定します。

4 **[ここまで]を選んで決定する**

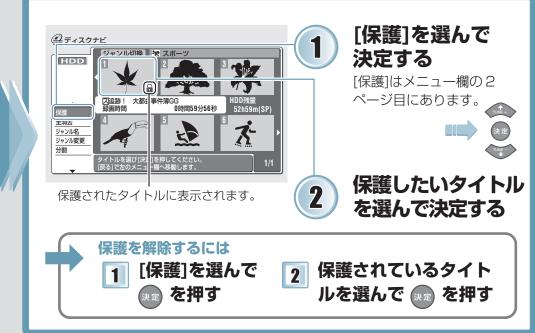
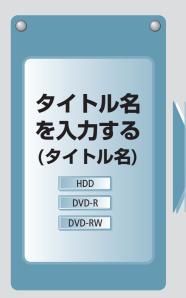
- 部分消去する場面の終了点を指定します。
- 編集結果をプレビューします。

5 **[はい]を選んで決定する**

録画したタイトルを保護する

タイトルを保護します。保護されたタイトルを消去／編集することはできません。保護を解除すると再度消去／編集することができます。

録画したタイトルに名前を付ける

困ったとき ▷P.135

入力できるタイトルの文字数は？

- HDD DVD-RW(VR) では、半角64文字（全角32文字）です。
- DVD-R DVD-RW(Video) では、半角32文字（全角16文字）です。

うまく漢字に変換できないときは

で文節の区切りを変更することで目的の漢字に変換することができます。

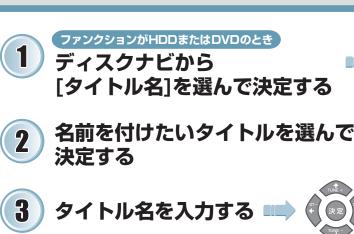
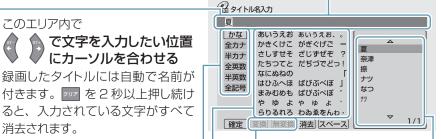
番組表を使って予約したときに、二カ国語放送やステレオ放送などを表す記号(🈔 や 🈐 など)がタイトル名に付くことがあります。番組を予約したあと、または録画したあとにこれらの記号を付けることはできません。

1 ファンクションがHDDまたはDVDのとき
ディスクナビから[タイトル名]を選んで決定する

2 名前を付けたいタイトルを選んで決定する

3 タイトル名を入力する

例 「夏」と入力するとき

タイトル名表示欄

1. このエリア内で で文字を入力したい位置にカーソルを合わせる
   録画したタイトルには自動で名前が付きます。クリア を2秒以上押し続けると、入力されている文字がすべて消去されます。

2. このエリア内で で文字の種類を選ぶ
   例では［かな］を選びます。

3. で文字を選んで 決定 を押す

4. で［変換］を選んで 決定 を押す
   文字を変換しないときは［無変換］を選んで 決定 を押します。

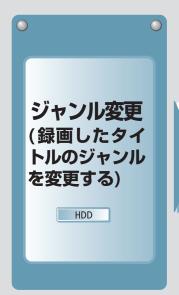
5. このエリア内で で目的の漢字を選んで 決定 を押す

例では［夏］を選びます。

4 ［確定］を選んで決定する

各部の名前とはたらき / 接続 / ホームシアター入門 / 録画 / 再生 / 消去と編集 / ダビング / サラウンド / ラジオ / 外部機器との接続 / 応用設定 / 故障かな？と思ったら / その他

録画したタイトルをジャンル分けする

メモ

録画予約画面でもジャンルを設定できます。P.41

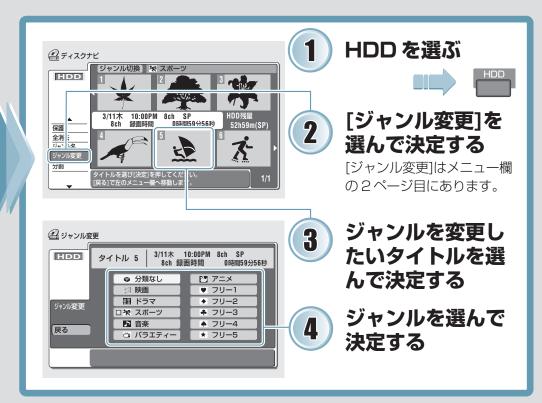
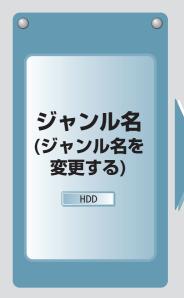
1 HDD を選ぶ

HDD

2 [ジャンル変更]を選んで決定する

[ジャンル変更]はメニュー欄の2ページ目にあります。

3 ジャンルを変更したいタイトルを選んで決定する

4 ジャンルを選んで決定する

入力できる文字数は半角12文字(全角6文字)です。

1 HDD を選ぶ

HDD

2 [ジャンル名]を選んで決定する

[ジャンル名]はメニュー欄の2ページ目にあります。

3 名前を変更したいジャンルを選んで決定する

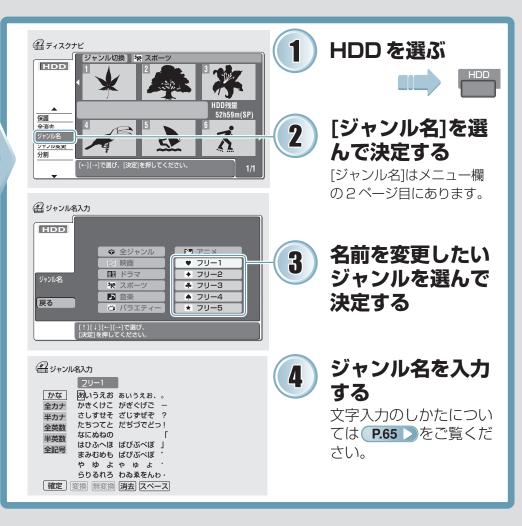
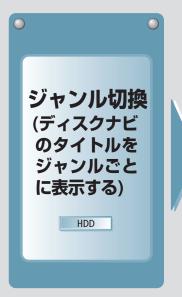
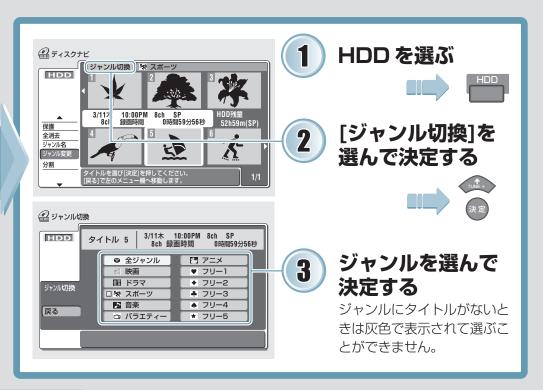
4 ジャンル名を入力する

文字入力のしかたについては P.65 をご覧ください。

1 HDD を選ぶ

2 [ジャンル切換]を選んで決定する

3 ジャンルを選んで決定する

ジャンルにタイトルがないときは灰色で表示されて選ぶことができません。

タイトルを分割する

異なる番組を続けて録画すると1つのタイトルとして録画されます。このようなタイトルを番組ごとに分割することができます。

HDD では分割したタイトルを結合できません。

ファンクションをHDDまたはDVDにして

1 ディスクナビから[分割]を選んで決定する

[分割]はメニュー欄の2ページ目にあります。

2 分割したいタイトルを選んで決定する

- タイトルが再生されます（通常の再生とほぼ同じ操作ができます）。
- プレイモード D を押して、チャプターサーチ / タイムサーチもできます。

3 分割したい位置で決定する

4 [はい]を選んで決定する

← で選んで 決定 を押すとディスクナビに戻ります。

チャプターを編集する(チャプター編集)

HDD DVD-RW(VR) のチャプターのみ編集することができます。

1 ファンクションをHDDまたはDVDにして
ディスクナビのメニュー欄から[チャプター編集]を選んで 決定 を押す

2 編集したいチャプターが入っているタイトルを選んで 決定 を押す

チャプターを消去します。

5 秒未満の映像を消去できないことがあります。

2 消去したいチャプターを選んで決定する

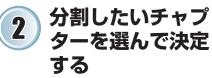
3 [はい]を選んで決定する

クリアボタンを使ってチャプターを消去するには

左のメニュー欄で[消去]を選ぶ必要はありません。

1 消去したいチャプターを選ぶ 2 クリア を押す

3 [はい]を選んで 決定 を押す

チャプターを分割します。

1 [分割]を選んで決定する

チャプターが再生されます(通常の再生とほぼ同じ操作ができます)。

3 分割したい位置で決定する

で選んで 決定 を押すとチャプター編集画面に戻ります。

前後のチャプターを１つに結合します。
結合できないチャプターもあります。

1 [結合]を選んで決定する

2 結合したいチャプターの間を選んで決定する

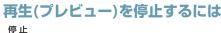
編集したチャプターを再生(プレビュー)します。選んだチャプターからタイトルの終わりまで再生します。

1 [プレビュー]を選んで決定する

2 再生(プレビュー)したいチャプターを選んで決定する

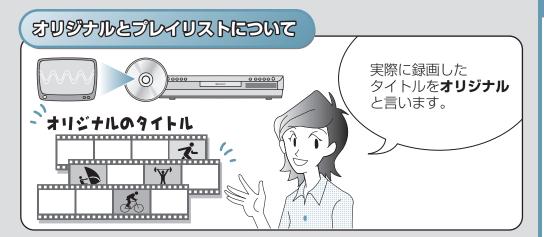
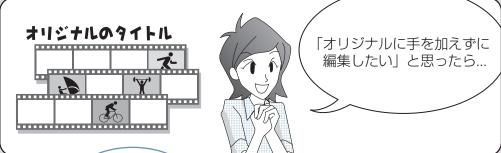
通常の再生とほぼ同じ操作ができます(ただし、つづき再生機能は働きません)。

再生(プレビュー)を停止するには

停止 **を押す**

チャプター編集画面に戻ります。

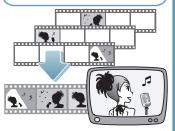
編集操作で決定した映像と実際に編集された映像とが多少ずれることがあります。また編集した場面では、一瞬再生が一時停止したように見えますが故障ではありません。[シームレス再生] P.114 を[オン]に設定すると、映像のつなぎ目が多少ずれますが編集した映像をスムーズに再生することができます。

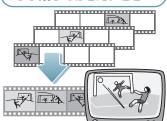
お好みの場面を集めて再生する(プレイリスト)

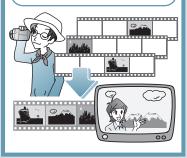
プレイリストは DVD-RW(VR) でのみ作成することができます。

オリジナルとプレイリストについて

こんなときにプレイリストが便利です。

複数の歌番組から好きな歌手の場面を集めたい！

でも、録画した番組はそのまま残しておきたいとき

サッカー中継のゴール集を作りたい！

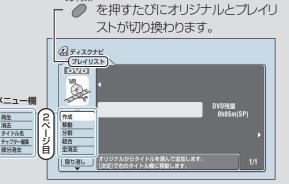
でも、録画した試合はそのまま残しておきたいとき

旅行で撮った映像で旅行記を編集したい！

でも、使わない映像もそのまま残しておきたいとき

- オリジナルのタイトルを消去すると、プレイリストのタイトルは消去されます。
- オリジナルとプレイリストのタイトルに最大999の区切り(チャプターマーク)を入れることができます(オリジナルとプレイリストに各 999)。

準備

1 DVD を押す

2 ディスクナビ を押して、ディスクナビを表示する

3 プレイリスト を押して、プレイリストのディスクナビ(背景が青)に切り換える

オリジナルのタイトルを選んでプレイリストを作成します。

ワンポイント プレイリストでできる編集

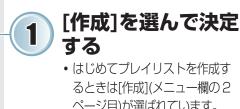
オリジナルと同じ操作でできる編集

タイトル編集	消去	P.62
	タイトル名	P.65
	部分消去	P.63
	全消去	P.63

チャプター編集	消去	P.68
	分割	P.68
	結合	P.69
	プレビュー	P.69

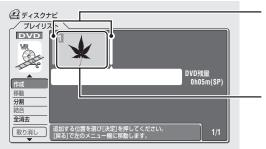
プレイリストのみでできる編集

タイトル編集	作成	P.71
	移動	P.72
	分割	P.67
	結合	P.73

チャプター編集	移動	P.72

1 [作成]を選んで決定する

- はじめてプレイリストを作成するときは[作成](メニュー欄の2ページ目)が選ばれています。
- すでにプレイリストが作成されているときは[再生](メニュー欄の1ページ目)が選ばれています。

2 プレイリストに追加したいオリジナルのタイトルを選んで決定する

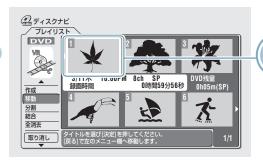
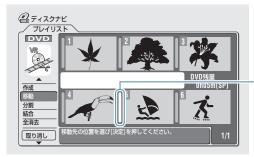
さらに追加するには

1 追加する位置を選んで 決定 を押す

2 プレイリストに追加したいオリジナルのタイトルを選んで 決定 を押す

メモ プレイリストを作成すると、オリジナルのタイトルを録画した日時がタイトル名として付きます。

プレイリストのタイトルを並べ換えます。

1 [移動]を選んで決定する

[移動]はメニュー欄の２ページ目にあります。

2 移動したいタイトルを選んで決定する

3 移動したい位置を選んで決定する

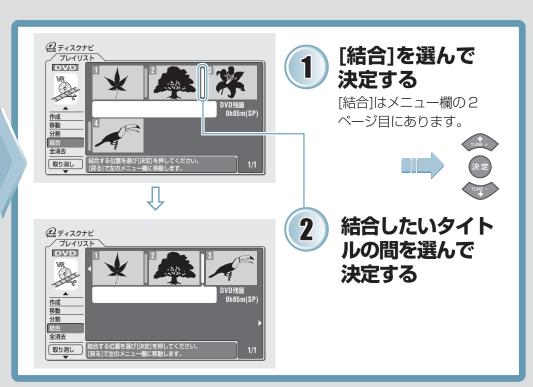
チャプターを移動するには

1. ディスクナビのメニュー欄から[チャプター編集]を選んで 決定 を押す
2. 移動したいチャプターが入っているタイトルを選んで 決定 を押す
3. チャプター編集画面のメニュー欄から[移動]を選んで 決定 を押す
4. 移動したいチャプターを選んで 決定 を押す
5. 移動したい位置を選んで 決定 を押す

前後のタイトルを１つに結合します。

1 [結合]を選んで決定する

[結合]はメニュー欄の２ページ目にあります。

2 結合したいタイトルの間を選んで決定する

直前の編集を取り消す

最大３つ前の編集まで取り消すことができます。ただし、HDD では取り消すことができません。

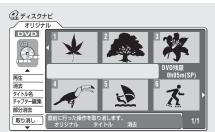
取り消しできないとき

下記の操作を行ったときはそれまでの編集を取り消せなくなります。

- 新しく録画したとき
- ディスクを取り出したとき
- 本機の電源をオフにしたとき
- [ディスク保護] P.116 や[保護] P.64 を設定／解除したとき
- 初期化またはファイナライズしたとき
- プレイリストに新しくタイトルを作成したとき

※ 編集直後でなくても上記の操作を行わなければ前に行った編集操作を取り消すことができます。

1 ディスクナビを表示する

2 [取り消し]を選んで決定する

チャプター編集を取り消すには

オリジナルのチャプター分割を取り消すとき

[取り消し]を選んで を押す

録画からダビングまでの流れ

HDD に録画したタイトルを DVD にダビングして、MY DVD を作ります。

録画する

HDD に番組(オリジナルのタイトル)を録画します。P.26

録画したタイトルを編集する？／しない？

録画したタイトル(オリジナル)の編集については P.60 をご覧ください。もちろん、編集しなくてもダビングできます。

ダビングする

- 再生中のタイトルをそのままダビングしたい。
- 自動で CM をカットしてダビングしたい。
(『オートCMカットダビング』P.76)

ワンタッチダビングする P.76

- いくつかのタイトルをまとめてダビングしたい。P.77
- 編集してダビングしたいけどオリジナルのタイトルは手を加えずに残しておきたい。
- 録画モードを変更したい。

ダビングリストを作成 / 編集する P.78

ダビングを開始する P.79

MY DVD のできあがり

- 他の DVD プレーヤーやレコーダーなどで再生したいときはファイナライズしてください。P.47
- ダビングが終了してから、HDD または DVD 関連の操作が 20 分間まったく行われないときは、自動で電源がオフになります。ただしファンクションが FM/AM、デジタル 1、デジタル 2 またはアナログのときは 20 分を経過しても電源はオフになりません。

録画するディスクと記録方式を選ぶ

こんなときは…

- 録画したあとに映像を編集したい。
- 録画中の番組を録画しながら再生したい※1。 P.54
- 「1回だけ録画可能」な番組を録画したい※2。
- 16:9の映像の横と縦の比率(アスペクト比)をそのままの比率で録画したい。
- 二カ国語放送の音声を切り換えられるように録画したい※3。

VRモードで録画

使うディスクは…

録画用DVD-RW

繰り返し録画/消去ができます。

こんなときは…

本機で録画したディスクを他のDVDレコーダー、DVDプレーヤー、カーDVD、または市販のDVDビデオを再生できるパソコンで再生したい。

(再生できないプレーヤーもあります。)

ビデオモードで録画

使うディスクは…

録画用DVD-RW

繰り返し録画/消去ができます。未使用の DVD-RW をセットするとお買い上げ時の設定では自動でVRモードに初期化されます。DVD-RW をビデオモードで録画するには、ビデオモードで初期化する必要があります。P.116

録画用DVD-R

一度録画すると消去して書き換えができません。

ファイナライズする

『本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーなどで再生できるようにする(ファイナライズ)』P.47

- **本機では、DVD+RW、DVD+R、およびDVD-RAMに録画することはできません。**
- 「録画用」または「for Video」と記載されている DVD-R DVD-RW をお使いください。
- ダビング中にファンクションをFM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えても、ダビングは継続します。
- VRモードで録画した DVD-RW が再生できるパイオニア製品については P.49 をご覧ください。

※1 Ver.1.1/2x(1～2倍速記録対応)またはVer.1.2/4x(2～4倍速記録対応)の DVD-RW をお使いください。
※2 CPRM対応の DVD-RW をお使いください。
※3 録画モードを[FINE]または[MN32]以外に設定してください。

DVD-RWのVer.1.2/4x(2～4倍速記録対応)ディスクをお使いになるときのご注意

DVD-RW Ver.1.2/4x(2～4倍速記録対応)ディスクをすでに発売されているDVDレコーダーやDVD/CDライターにセットすると、ディスクテーブルが出てきてしまうことがあります。DVD-RWディスクを本機以外のDVD記録機器でもお使いになるときは、Ver.1.1をお使いください。

※4 本機でファイナライズしてから再生してください。VRモード/ビデオモード共にファイナライズしないと再生できないことがあります。P.47 P.116
※5 「1回だけ録画可能」な番組を録画したディスクは再生できません。
※6 [CPRM情報が正しく読めません。]と表示されますが、再生に支障はありません。

DVD-RW Ver.1.2/4xディスクに非対応のパイオニア製DVDレコーダー

型番	録画	再生
DVR-1000/DVR-2000/DVR-3000	×	○※4 ※5
DVR-7000	×	○※4 ※5 ※6
DVR-55/DVR-77H/DVR-99H DVR-310/DVR-510H/DVR-515H DVR-610H/DVR-710H	×	○※4

再生中のタイトルをダビングする(ワンタッチダビング)

再生中のタイトルをまるごとダビングします(再生中のタイトルのみダビングします)。
ファイナライズ済の DVD-R DVD-RW(Video) から HDD にダビングするときもワンタッチダビングでダビングします。

1 ファンクションをHDDまたはDVDにして

録画モード を押して、録画モードを選ぶ P.27

[DVD→HDD]にダビングするときのみ選ぶことができます。

2 ダビングしたいタイトルを再生する

ワンタッチダビングを始める

▼ [HDD→DVD]には、必ず高速でダビングされます。タイトルの再生は継続されます。

▼ [DVD→HDD]には、必ず等速でダビングされます。再生中のタイトルの先頭に戻って、再生しながら録画します。

ディスクナビからワンタッチダビングを始めることもできます

1 ディスクナビでダビングしたいタイトルを選ぶ

2 ワンタッチダビング を押す

ダビングを中止する

ファンクションをHDDまたはDVDにして

を1秒以上押す

ダビングを中止すると、ダビング先にタイトルはコピーされません(ダビング先のタイトルは消去されますが、ダビング元のタイトルは残ります)。

DVD-R では、DVD残量が減り、元には戻りません。

ダビング中の状態を確認する

ファンクションを HDD または DVD にして
ダビング中に

を押す

[HDD→DVD]に
高速ダビング中

自動で CM をカットして、[HDD→DVD]にダビングする(オート CM カットダビング)

録画したタイトルの音声がモノラルまたは二カ国語の場合、CM(ステレオ音声部分)をカットしてダビングします。

1 ダビングしたいタイトルを再生する

2 CMスキップ を2秒以上押して、[オート]を選ぶ

- [オート]を選べないことがあります。詳しくは P.50 をご覧ください。
- しばらく再生してダビングしたい部分がとばされるときは、正常にダビングできません。ダビングを中止してください。

3 ワンタッチダビング を押す

テレビ画面に[表示中もう一度[ワンタッチダビング]を押すと CM カットダビングを開始します。]と表示されます(CMをカットする前とCMをカットしたあとのタイトルの総時間も表示されます)。

4 ワンタッチダビング を押す

CM が多少残ることがあります。

HDD から DVD-RW DVD-RW(Video) にダビングしたときは、編集位置から 0.5 秒以内でずれることがあります。

いくつかのタイトルを選んでダビングする

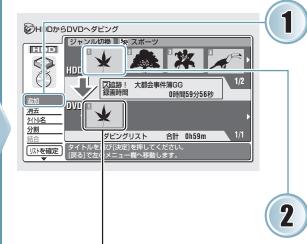
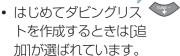
HDD のタイトル 1、3、および 5 を選んで DVD にダビングする

1 ダビング先のディスクをセットする

2 ファンクションをHDDまたはDVDにして
ホームメニューから[ダビング]を選んで決定する

3 ダビング先([HDD → DVD])を選んで決定する

いくつかのタイトルを選んでダビングする

1 [追加]を選んで決定する

- はじめてダビングリストを作成するときは[追加]が選ばれています。
- すでにダビングリストが作成されているときは[プレビュー]が選ばれています。

2 タイトル 1 を選んで決定する

ダビングリストにタイトル 1 が追加されます。

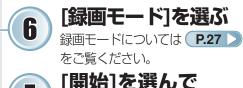
HDDからDVDへダビング
ジャンル切換 スポーツ
HDD
夏の旅GG
録画時間 0時間59分56秒
1/2
DVD
追加
消去
タイトル名
分割
結合
リストを確定
ダビングリスト 合計 1h59m 1/1
タイトルを選び[決定]を押してください。
[戻る]で左のメニュー欄へ移動します。

3 続けてタイトル 3 と 5 を選んで決定する

ダビングリストにタイトル 3 と 5 が追加されます。

4 左のメニュー欄にカーソルを移動する

5 [リストを確定]を選んで決定する

6 [録画モード]を選ぶ

7 [開始]を選んで決定する

ダビングを中止するには

ファンクションをHDDまたはDVDにして を 1 秒以上押す

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

タイトルを編集してからダビングする

1 ファンクションをHDDまたはDVDにして
ホームメニューから[ダビング]を選んで決定する

2 **ダビング先([HDD→DVD]または[DVD→HDD])を選んで決定する**
[HDD→DVD]を選んだときは録画できるディスクがセットされているか確認してください。

タイトルを編集してからダビングを実行する

ダビングリストでタイトルを編集する

ダビングリストにタイトルを追加してから編集をします。

ダビングリスト

決定 を押すとタイトル欄にカーソルが移動する
戻る を押すとメニュー欄にカーソルが移動する

- ジャンル ※
- ダビング元のタイトル欄
- 現在のページ/総ページ数
- 前 次 を押してページを切り換える
- ダビングリストのタイトル欄
- 現在のページ/総ページ数
- 簡単な操作説明
- メニュー欄

HDDからDVDへダビング
ジャンル切換 スポーツ
追跡！ 大都会事件簿GG
録画時間 0時間59分56秒
ダビングリスト 合計 1h59m
追加 / 消去 / タイトル名 / 分割 / 結合 / リストを確定
タイトルを選び[決定]を押してください。
[戻る]で左のメニュー欄へ移動します。

詳しい操作方法については各項目の参照ページをご覧ください。
ただし、ダビングリストとディスクナビの画面は異なります。

1ページ目

項目	説明
追加	ダビングリストにタイトルを追加する。 P.77
消去	ダビングリストのタイトルを1つ消去する。 P.62
タイトル名	ダビングリストのタイトルに名前を付ける。 P.65 ※ (半角64文字(全角32文字)まで入力できます。)
分割	ダビングリストのタイトルを分割する。 P.67 ※
結合	ダビングリストのタイトルを結合する。 P.73 ※

TUNE＋ TUNE－ を押してページを切り換えます。

2ページ目

項目	説明
プレビュー	ダビングリストを再生する。 P.69 (ダビングリストの終わりまでを順に再生します。)
移動	ダビングリストのタイトルを移動する。 P.72
全消去	ダビングリストのすべてのタイトルを消去する。 P.63
チャプター編集	ダビングリストで選んだタイトルのチャプターを編集する。 P.68 消去 P.68 分割 P.68 結合 P.69 移動 P.72 ※
部分消去	ダビングリストのタイトルの指定した範囲を消去する。 P.63 ※

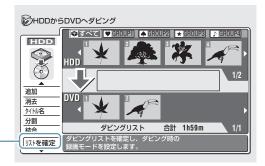
※[HDD→DVD]にダビングするときのみ

ダビングリストが消去される条件

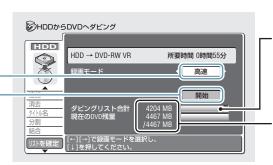
- [HDD→DVD]にダビングするとき
  - →[フレーム編集]の設定を変更したとき
  - →すべての設定をお買い上げ時に戻したとき
- [DVD→HDD]にダビングするとき
  - →ディスクに録画されているタイトルを消去 / 編集したとき
  - →ディスクテーブルを開けたとき
  - →オリジナルとプレイリストを切り換えたとき
  - →ディスクをファイナライズしたとき
  - →すべての設定をお買い上げ時に戻したとき

ファイナライズ済みの DVD-R DVD-RW(Video) から HDD へダビングリストを使ってダビングすることはできません。「ワンタッチダビング」P.76 または「ディスクバックアップ」P.82 でダビングしてください。

不要な部分をカットしてダビングする P.80

2 [リストを確定]を選んで決定する

3 録画モードを選ぶ P.27

下記のように切り換わります。

[高速]以外の録画モードを選んだときは等速で再生しながらダビングします。

ダビングするタイトルの合計より DVD 残量が少ないときは赤色で表示されます。

録画モード[高速]を選んでいるときはデータ容量表示になります。

4 [開始]を選んで決定する

ダビングを実行します。

録画モード[ジャスト]

自動で録画レベルを変更して、セットされているディスクのDVD残量に収まるようにダビングします。[HDD→DVD]にダビングするときのみ選ぶことができます。

録画モード[MN]

5 つの録画モード([FINE]/[SP]/[LP]/[EP]/[SLP])に加えて、[MN1]～[MN32](32 段階)からお好みの録画レベルを選ぶことができます。[マニュアル録画] P.112 を[オン]に設定しているときのみ選ぶことができます。

 で録画レベルを選ぶことができます。

録画モード[高速]

データコピーなので画質や音質が劣化しません。所要時間については P.85 をご覧ください。

- [DVD→HDD]にダビングするとき
  DVD-RW(VR) のオリジナルのタイトルをダビングするときのみ選ぶことができます。
- [HDD→DVD]にダビングするとき
  [フレーム編集] P.112 を[オン]に設定していると DVD-R DVD-RW(Video) に高速ダビングできないことがあります。

不要な部分をカットしてからダビングする

録画されているタイトルそのもの(オリジナル)に手を加えずに不要な部分をカットしてダビングすることができます。

HDDに録画したタイトル1のCMをカットしてからDVD-RWにダビングする

ここではまず試しに録画したタイトルを DVD-RW にダビングしてみましょう。DVD-RW にダビングすれば、万が一失敗してもやり直すことができます。

1. DVD-RW をセットする
2. ファンクションをHDDまたはDVDにして ホームメニューから[ダビング]を選んで決定する
3. ダビング先([HDD → DVD])を選んで決定する

[オートチャプター(HDD/VR)] P.60 で すでに本編とCMが分割されているとき

[チャプター編集]でCM部分のチャプターを消去します。

消去が終わったら STEP 3 に進みます。

STEP 2 不要な部分をカットする

1 [部分消去]を選んで決定する

[部分消去]はメニュー欄の２ページ目にあります。

2 部分消去したいタイトルを選んで決定する

- タイトルが再生されます（通常の再生とほぼ同じ操作ができます）。
- プレイモード D を押して、チャプターサーチ／タイムサーチもできます。

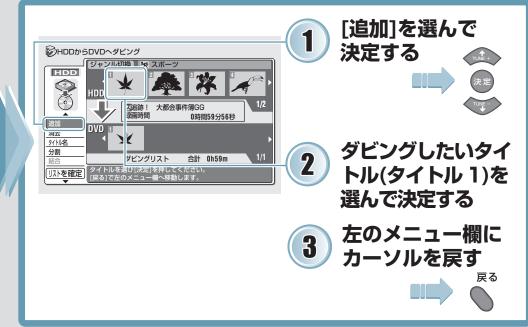
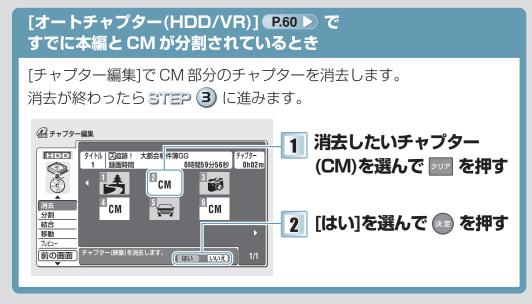
3 [ここから]を選んで決定する

部分消去する場面の開始点を指定します。

4 [ここまで]を選んで決定する

- 部分消去する場面の終了点を指定します。
- 編集結果をプレビューします。

5 [はい]を選んで決定する

6 左のメニュー欄にカーソルを戻す

CMを残したくないときはコマ送り／コマ戻しで微調整して、CMの少し前や少し後ろを指定します。

CMの少し前で 決定 を押す

CMの少し後ろ（本編の先頭）で 決定 を押す

フレームとは？

映像は１秒間が30フレームで構成されています。フレーム番号は０～29で表示されます。

もっと正確にカットする　フレーム単位で編集できます。

お買い上げ時の設定では開始点／終了点を0.5秒単位で指定します。設定を変更すると、もっと正確に(フレーム単位)開始点/終了点を指定できます(『フレーム編集』P.112)。ただし、フレーム単位で編集すると DVD-R DVD-RW(Video) に高速でダビングしたときは、編集位置が0.5秒以内でずれることがあります。

STEP 3 ダビングを始める

1 [リストを確定]を選んで決定する

2 [録画モード]を選ぶ

3 [開始]を選んで決定する

ディスク内容をまるごと他のDVDにダビングする(ディスクバックアップ)

ファイナライズ済の DVD-R DVD-RW(Video) のディスク内容(録画モード、ファイナライズを含む)をまるごと他の DVD-RW または未使用の DVD-R にダビングすることができます。 [DVD → HDD]に高速で一時的に保存してから他の DVD に高速でダビングします。

HDD へ一時的に保存(バックアップ)しているディスク内容は再生できません。

また、バックアップデータを作成するとその分HDD残量が減少します(目安としては[SP]で最大2時間分減少します。)
ディスクバックアップ中はファンクションを切り換えることはできません。

新規にディスクバックアップを開始する

ファンクションをHDDまたはDVDにして

1 ホームメニューから[ダビング]→[ディスクバックアップ]を選んで決定する

ダビング
HDD→DVD
DVD→HDD
ディスクバックアップ

2 [新規にディスクバックアップを開始]を選んで決定する

ディスクバックアップ
新規にディスクバックアップを開始
データの書き込みから再開する
バックアップデータの消去

3 バックアップ元のディスクをセットする

4 [開始]を選んで決定する

ディスクバックアップ
HDDにディスクの内容が保存されました。
ディスクを取り出し、書き込み用のディスクを入れてください。
開始 中止

読み出し / 書き込みを中止するには

ファンクションをHDDまたはDVDにして を 1 秒以上押す

- DVD-R への書き込みを中止するとディスクが使えなくなります。
- DVD-RW への書き込みを中止すると録画および再生ができないディスクになります。このようなときはディスクを初期化してください。P.116

5 書き込み用のディスクをセットする

6 [開始]を選んで決定する

ディスクバックアップ
HDD上のバックアップデータを書き込みます。
ディスクの内容は全て上書きされます。
開始しますか？
開始 中止

7 [中止]を選んで決定する

[データの書き込みから再開する]からディスクへの書き込みができます。P.83

HDD に保存されているバックアップデータを消去します。

続けて同じディスクを作成するときは、新しい書き込み用ディスクをセットしてから[開始]を選んで 決定 を押してください。

書き込み用ディスクについて

- Ver.1.1/1.2の DVD-RW または未使用の DVD-R をお使いください。
- DVD-RW に書き込むと、記録されているすべての内容が上書きされます。ご注意ください。

メモ

- DVD-RW(Video) から DVD-RW にディスクバックアップしたときのみ、バックアップ後にファイナライズを解除できます。P.47
- DVD-R から DVD-RW にディスクバックアップしたときはファイナライズを解除できません。
- ディスクバックアップ中にファンクションを FM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えることはできません。

データの書き込みから再開する

すでに HDD にバックアップデータが保存されているときは、HDD からディスクへのデータ書き込みから再開します。

1 ファンクションをHDDまたはDVDにして

ホームメニューから[ダビング]→[ディスクバックアップ]を選んで決定する

2

[データの書き込みから再開する]を選んで決定する

3 [はい]を選んで決定する

4 書き込み用のディスクをセットする

5 [開始]を選んで決定する

6 [中止]を選んで決定する

1 からディスクへの書き込みができます。

続けて同じディスクを作成するときは、新しい書き込み用ディスクをセットしてから[開始]を選んで 決定 を押してください。

HDD に保存されているバックアップデータを消去します。

HDDに保存したバックアップデータを消去する

HDD に保存したバックアップデータが消去されて、HDD の残量が増えます。

1 ファンクションをHDDまたはDVDにして

ホームメニューから[ダビング]→[ディスクバックアップ]を選んで決定する

2 [バックアップデータの消去]を選んで決定する

3 [はい]を選んで決定する

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

ダビングについての注意

ダビングできないとき

[HDD → DVD]にダビングできないとき

- DVD 残量が足りない
- DVD のタイトル数がすでに 99 になっている
- 録画できない DVD がセットされている
- 録画中
- 2 秒未満のタイトル

[DVD → HDD]にダビングできないとき

- HDD残量がない(足りないときはできる限り録画します)。
- HDD のタイトル数がすでに 999 になっている
- 録画中
- 他機器で作成したDVD(再生中に <PLAY> と本体表示窓に表示されるタイトルなど)
- ダビングリストで録画時間合計が 8 時間を超えるとき
- 2 秒未満のタイトル

[DVD → HDD]にダビングするときの制限

- DVD-RW(VR) のプレイリストのタイトルもダビングできます。
- ダビングが始まってから 8 時間経過したときは、ダビングが自動で停止します。
- 「1 回だけ録画可能」な映像を含むタイトルではワンタッチダビングは開始されますが、「1 回だけ録画可能」な映像の部分は録画されません。
- ダビングリストを作成して DVD-RW(VR) からダビングするときのみ高速でダビングできます。ただし、下記のようなタイトルは高速でダビングできません(ダビングリストに追加することはできます)。
  - → [MN12]~[MN20]で録画したタイトルおよび等速でダビングしたタイトル
  - → 二カ国語放送のタイトル
  - → 「1 回だけ録画可能」なタイトル
  - → プレイリストのタイトル

上記以外にも、他の DVD レコーダーで録画したタイトルをダビングできないことがあります。

ワンタッチダビングできないとき

映像の種類 / ダビング先のディスク	「1回だけ録画可能」な映像	[LP]、[EP]、[SLP]、[MN1]~[MN18]で録画した16：9(ワイド)の映像	16：9(ワイド)と4：3の映像が混在したタイトル	編集したオリジナルのタイトル(タイトルに区切り(チャプターマーク)を入れたときを含む)	左記以外の録画可能な映像
DVD-RW(VR)	×	○	○	○	○
DVD-R DVD-RW(Video)	×※1	×	×	○	○

○＝ ワンタッチダビングできます。
×＝ ワンタッチダビングできません(ダビングリストを作成してダビングすることはできます)。
※1 「1回だけ録画可能」な番組はダビングできません。

[フレーム編集] P.112 の設定によるダビングするときの制限([HDD → DVD])

フレーム編集の設定		オン		オフ(お買い上げ時)
ダビング先のディスク		DVD-RW(VR)	DVD-RW(Video) DVD-R	DVD-R DVD-RW
映像の種類	「1回だけ録画可能」な映像	○※2	×	×
	[LP]、[EP]、[SLP]、[MN1]~[MN18]で録画した16：9(ワイド)の映像	○	○※3	×
	16：9(ワイド)と4：3の映像が混在したタイトル	○	○※3	○※6
	ダビングリストで異なる録画モードの映像を結合して作成したタイトル	○	○※4	×※7
	編集したオリジナルのタイトル	○	○※5	○※8
	上記以外の録画可能な映像	○	○	○

○＝ダビングできます。　×＝ダビングできません。
※2 CPRM 対応ディスクにのみダビングできます。
※3 4：3 の映像として等速でダビングされます。
※4 等速でダビングされます。
※5 高速でダビングしたときは、編集位置が 0.5 秒以内でずれることがあります。
※6 ダビングリストに追加すると、映像の横と縦の比率の変化点でタイトルが分割されます(分割されたタイトルは結合できません)。
※7 異なる録画モードの映像はダビングリストで編集しても結合できません。ダビングリストでは、録画モードが下記の5種類に分けられます。
①[SLP] / [MN1]~[MN2]　②[EP] / [MN3]~[MN6]
③[LP] / [MN7]~[MN18]　④[SP] / [MN19]~[MN31]
⑤[FINE] / [MN32]
※8 ダビングリストに追加したとき、編集位置が0.5秒以内でずれることがあります。

フレームとは？
映像は 1 秒間が 30 フレームで構成されています。フレーム番号は 0 ～ 29 で表示されます。

「1 回だけ録画可能」な映像を含むタイトルをダビングするときの制限

[HDD → DVD]にダビングするとき

- CPRM 対応の DVD-RW(VR) にのみダビングできます。
- ダビングしたタイトルは HDD から消去されます。このため、タイトルが保護されているときはダビングが実行できません。
- [フレーム編集] P.112 が[オフ]に設定されているときは、ダビングリストにタイトルを追加できません。
- 同じタイトルを2回以上ダビングリストに追加することはできません

[DVD → HDD]にダビングするとき

[DVD → HDD]にダビングすることはできません。

ダビング速度について

本機のダビング速度には「高速」と「等速」があります。

高速ダビング(データコピーすることでダビングします)

- **データコピーなので画質や音質が劣化しません。**
- ダビングしたディスクの録画モードはダビング元のディスクと同じになります。
- 所要時間については下記の表をご覧ください。
- ダビング中に HDD の再生／録画ができます(ただし、所要時間は表示される時間よりも多少長くなります)。

等速ダビング(再生しながら録画することでダビングします)

- **録画モードが変更できます。**
- 『画質設定』P.123 の設定は反映されません。
- 所要時間は再生時間と同じです。
- ダビング元より高画質／高音質の録画モードを選んでも、画質／音質は向上しません。
- ダビング中はタイマー予約録画が実行されません。
- ダビング中に他の操作はできません。

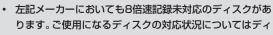
高速ダビング所要時間

ディスクの種類 / ダビング元の録画モード	DVD-RW Ver.1.0 Ver.1.1 (1倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0 DVD-RW Ver.1.1/2x (2倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0/4x DVD-RW Ver.1.2/4x (4倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0/8x (8倍速記録対応)
FINE	約60分	約30分	約15分	約8分
SP	約30分	約15分	約7.5分	約4分
LP	約15分	約7.5分	約4分	約2分
EP	約10分	約5分	約2.5分	約1.25分
SLP	約7.5分	約4分	約2分	約1.1分

- **左記の表は、1時間のタイトルを[HDD→DVD]にダビングするときの目安です。**
- **実際のダビング所要時間は、ディスク管理情報などを作成するために条件によってはもう少々長くなります。**
- ディスクの状態によっては、8/4/2倍速記録対応ディスクでも速度を落としてダビングします。
- 未使用ディスクを他のDVDレコーダーで初期化したときは、1倍速でのダビングになることがあります。
- 1倍速でダビングされる Ver.2.0 の DVD-R や4倍速でダビングされるVer.2.0/8xの DVD-R もあります。

8倍速記録対応のDVD-Rディスクで(Ver.2.0/8x)、8倍速記録動作が実際に本機で確認されているディスクのメーカー

- □ SONY 株式会社
- □ 太陽誘電株式会社(That's)
- □ 日本ビクター株式会社(JVC)
- □ TDK 株式会社
- □ 日立マクセル株式会社(maxell)
- □ 富士フイルム株式会社(FUJIFILM)
- □ 三菱化学メディア株式会社(MITSUBISHI)
- □ RITEK Corporation

(2004年4月現在)

- **左記メーカーにおいても8倍速記録未対応のディスクがあります。ご使用になるディスクの対応状況についてはディスク発売元にご確認ください。**
- 未掲載メーカーのディスクについては、弊社での確認作業が終了しておりません。

ダビングしたときのチャプターマークについて

ダビングの方法	ダビング先	ダビング速度	チャプターマークのコピー
ワンタッチダビング	HDD → DVD-R / DVD-RW(Video) / DVD-RW(VR)	高速のみ	○
ダビングリスト	HDD → DVD-RW(VR)	高速	○※8
		等速	○
	HDD → DVD-R / DVD-RW(Video)	高速	○
		等速	×※9

○＝コピーされます。　×＝コピーされません。

※8 編集個所が多いとコピーされる位置のずれが大きくなります

※9 10分間隔でチャプターマークが入ります。[オートチャプター(ビデオ)] P.112 の設定でチャプターマークが入る間隔を変更できます。

- 0.5秒以内の間隔のチャプターマークはコピーされないことがあります。
- チャプターマークのコピーされる位置は多少ずれることがあります。
- [DVD→HDD]にダビングしたときも、チャプターマークはコピーされます(等速ダビングしたときは、コピーされる位置が多少ずれます。編集個所が多いとずれが大きくなります)。

ダビングしたときのタイトル名やナビマークについて

- タイトル名やナビマークもコピーされます。ただし、ファイナライズ済の DVD-R DVD-RW(Video) から HDD にダビングしたときはコピーされません。
- DVD-R DVD-RW(Video) にダビングしたときのタイトル名は半角32文字(全角16文字)までコピーされます。
- DVD には、☒または⊟などの文字がコピーされません。
- ナビマークのコピーされる位置は多少ずれることがあります。

ディスクバックアップの所要時間

ディスクの種類 / バックアップ方向	DVD-RW Ver.1.0 Ver.1.1 (1倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0 DVD-RW Ver.1.1/2x (2倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0/4x DVD-RW Ver.1.2/4x (4倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0/8x (8倍速記録対応)
バックアップ(DVD→HDD)	約15分	約15分	約15分	約15分
書き出し(HDD→DVD)	約60分	約30分	約15分	約8分

ディスクによっては、速度を落としてバックアップまたは書き込みします。

サラウンド

音源と音声出力について

音源

CD(R/RW) や DVD に収録されている音声、テレビ/ラジオの音声、または外部入力端子に接続した機器の音声を音源といいます。音源には、ステレオ音声とマルチチャンネル音声があります。

ステレオ音声

右と左の2チャンネルが収録された音声です。主に CD(R/RW) やテレビ/ラジオ放送などで使われています。右と左に同じ音声が収録されているときはモノラル音声といいます。

マルチチャンネル音声

ステレオ音声より多くのチャンネルが収録された音声です。音声収録方式にはドルビーデジタル、DTS、またはMPEG-2 AACがあります。P.142-144 主に DVD-Video や地上・BS・110度CSデジタル放送などで使われています。

音声出力

スピーカーから出力する音声です。本機には2つの音声出力があります。

2.1ch (ステレオ音声出力)

フロントスピーカー(右/左の2チャンネル)とサブウーファー(低音専用なので0.1チャンネルと呼ばれています)から音声を出力します。センタースピーカーとワイヤレススピーカーからは音声を出力しません。

5.1ch (サラウンド音声出力)

フロントスピーカー(右/左の2チャンネル)、センタースピーカー(1チャンネル)、およびワイヤレススピーカー(サラウンド右/左の2チャンネル)の合計5チャンネルと、サブウーファー(0.1チャンネル)から音声を出力します[※1]。音源がステレオ音声やモノラル音声でも、センターおよびサラウンドの音声を作って出力します。

※1　音源によっては、ワイヤレススピーカーから音声が出力されないことがあります。また、センタースピーカーからのみ音声が出力されることがあります。

リスニングモードを選ぶ

「リスニングモード」は「サラウンドモード」または「アドバンスドサラウンドモード」の中から、すべてのファンクションに共通で一つだけ選ぶことができます。音源によっては効果が少ないことがあります。

サラウンドモードを選ぶ

シフト ＋ サラウンド A

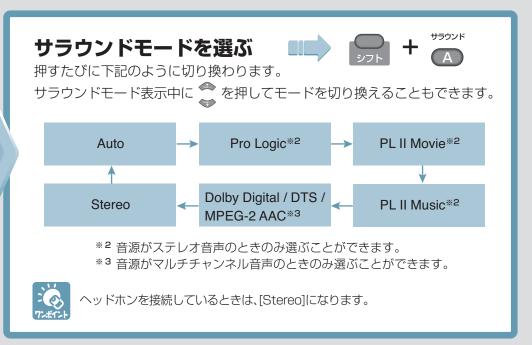
押すたびに下記のように切り換わります。

サラウンドモード表示中に ⌃⌄ を押してモードを切り換えることもできます。

Auto → Pro Logic[※2] → PL II Movie[※2] → PL II Music[※2] → Dolby Digital / DTS / MPEG-2 AAC[※3] → Stereo → Auto

※2 音源がステレオ音声のときのみ選ぶことができます。

※3 音源がマルチチャンネル音声のときのみ選ぶことができます。

ワンポイント　ヘッドホンを接続しているときは、[Stereo]になります。

パイオニアオリジナルのサラウンド効果です。

サラウンドモードの効果について

- **Auto(オート) 2.1ch 5.1ch**
  CD(R/RW) などのステレオ音声は「Stereo(ステレオ)」2.1chで出力します。DVD-Video などのドルビーサラウンドで収録されている音声は「PL II Movie(ドルビープロロジック II ムービー)」5.1ch で出力します。マルチチャンネル音声は音声収録方式に応じて5.1ch で出力します。音声を加工せず、収録されている音声を忠実に再現します。

- **Pro Logic(ドルビープロロジック) 5.1ch**
  ステレオ音声を5.1ch で出力します(ただしサラウンドチャンネルの音声はモノラルになります)。特にドルビーサラウンドで収録されている音源に効果的です。

- **PL II Movie(ドルビープロロジック II ムービー) 5.1ch**
  ステレオ音声を5.1ch で出力します。サラウンドチャンネルは定位や移動感を重視し、ドルビーデジタルなどに迫る音場を再現します。特にドルビーサラウンドで収録されている映画ソフトに最適です。

- **PL II Music(ドルビープロロジック II ミュージック) 5.1ch**
  ステレオ音声を5.1ch で出力します。サラウンドチャンネルは包囲感を重視しています。特に CD(R/RW) やテレビ/ラジオ放送の音楽に最適です。

- **Dolby Digital/DTS/MPEG-2 AAC 5.1ch**
  DVD-Video や地上・BS・110度CSデジタル放送などのマルチチャンネル音声を音声収録方式に応じて5.1ch で出力します(「Auto(オート)」でマルチチャンネル音声を再生したときと同じ効果になります)。

- **Stereo(ステレオ) 2.1ch**
  ステレオ音声をそのまま出力します。マルチチャンネル音声も 2.1chで出力します。ヘッドホンで聞くときは2 chで出力します。

アドバンスドサラウンドモードの効果について

- **Adv. Movie(ムービー) 5.1ch**
  映画館のような臨場感や移動感を再現します。SF映画やアクション映画に最適です。

- **Adv. Music(ミュージック) 5.1ch**
  コンサートホールのような包囲感を再現します。ライブやミュージッククリップなどの DVD-Video 、または CD(R/RW) やテレビ/ラジオ放送の音楽に最適です。

- **Expanded(エキスパンデッド) 5.1ch**
  ステレオ音声、マルチチャンネル音声ともに自然な広がり感のある音場になります。あらゆるソフトに効果的です。

- **TV Surr.(TV サラウンド) 5.1ch**
  モノラル音声に広がり感を与えます。モノラル音声で収録された DVD やテレビ/ラジオ放送に最適です。

- **Sports(スポーツ) 5.1ch**
  スタジアムのような臨場感や躍動感を再現します。スポーツ中継に最適です。

- **Game(ゲーム) 5.1ch**
  ゲームの移動感、スピード感に迫力を加えます。シューティングゲームやレーシングゲームに最適です。

- **ExPwrSurr.(エキストラパワーサラウンド) 5.1ch**
  広がり感と力強さのある音場になります。音楽をBGMとして楽しむときに効果的です。

- **Virtual(バーチャルサラウンド) 2.1ch**
  フロントスピーカーのみで広がり感を与えます。ワイヤレススピーカーを「ワイヤレスステレオモード」P.89 でお使いのときに最適です。

- **5ch Stereo(5ch ステレオ) 5.1ch**
  フロントスピーカーと同じ音声をワイヤレススピーカーからも出力します。部屋のどの場所にいてもステレオ感のある音場になります。音楽をBGMとして楽しむときに効果的です。

- **Phones Surround(ヘッドホンサラウンド) 2 ch**
  ヘッドホンで聞くときに広がり感を与えます。

ワイヤレススピーカーの使い方(ワイヤレスモード)を選ぶ

サラウンドスピーカーとして使う
(ワイヤレスサラウンドモード)

本体のワイヤレスモードが<W.Stereo>になっているときにワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEを[W.SURROUND]に切り換えて音を出すと、最大の音量のまま音量の調節ができない状態になりますので十分ご注意ください。この場合は一度再生を停止するか、ワイヤレススピーカーの電源をオフにしてから、右記の手順に従って正しく設定してください。

本体表示窓の WIRELESS が点灯していて、ワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEが[W.SURROUND]になっているときは、8 から操作してください。

1. **本体とワイヤレススピーカーの電源をオフにする**
2. シフト ＋ システム設定 **を押す**
3. **[Wireless?]を選んで決定する**

4. **[W.Surround]を選んで決定する**

TUNE＋ 決定 TUNE−

5. **ワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEを[W.SURROUND]に切り換える**

6. **本体とワイヤレススピーカーの電源をオンにする**
7. **本体表示窓の WIRELESS が点灯していることを確認する**
8. シフト ＋ システム設定 **を押す**
9. **[W.Surr.Mode?]を選んで決定する**

10. **ワイヤレスサラウンドモードを選ぶ**
押すたびに下記のように切り換わります。

Normal(ノーマル)
ワイヤレススピーカーを視聴位置の後ろに設置したときに選びます。最も一般的な音場効果が得られます。

Wide(ワイド)(お買い上げ時の設定)
ワイヤレススピーカーを視聴位置の後ろに設置したときに選びます。より広がりのある音場効果が得られます。

Left Side(左サイド)
ワイヤレススピーカーを視聴位置の左側に設置したときに選びます。

Right Side(右サイド)
ワイヤレススピーカーを視聴位置の右側に設置したときに選びます。

11. 決定 **を押す**

ステレオスピーカーとして使う
(ワイヤレスステレオモード)

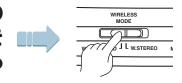
ワイヤレススピーカーをダイニングなどに移動して、ステレオ音声を楽しむことができます。5.1chなどのマルチチャンネル音声は2chに変換されて出力されます。

1 本体とワイヤレススピーカーの電源をオフにする

2 シフト ＋ システム設定 を押す

3 [Wireless?]を選んで決定する

4 [W.Stereo]を選んで決定する

5 ワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEを[W.STEREO]に切り換える

6 本体とワイヤレススピーカーの電源をオンにする

- 本体のワイヤレスモードが<W.Stereo>になっているときにワイヤレススピーカーのWIRELESS MODEを[W.SURROUND]に切り換えて音を出すと、最大の音量のまま音量の調節ができない状態になりますので十分ご注意ください。この場合は一度再生を停止するか、ワイヤレススピーカーの電源をオフにしてから、上記の手順に従って正しく設定してください。
- 本体側でも視聴するときはリスニングモードを[Stereo]、[5ch Stereo]または[Virtual]にすることをお勧めします。P.87

スピーカーの出力レベルを調節する

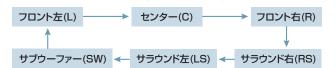
困ったとき ▶P.128 ▶P.136

あるスピーカーからの音のみを大きくしたり小さくしたいときに、そのチャンネルのレベルを調整することができます。出力レベルは「サラウンドモード」のときは 2.1ch と 5.1ch の2通りに、「アドバンスドサラウンドモード」のときは各モードごとに設定することができます。

1 リスニングモード(サラウンドまたはアドバンスドサラウンド)を選ぶ P.86-87

2 テストトーンを始める

シフト + テストトーン

下記の順にテストトーン(ザーという音)が出力されます。

- 2.1ch のモードが選ばれているときは、フロント左(L)、フロント右(R)、およびサブウーファー(SW)からのみテストトーンが出力されます。

3 音量を調節する

[Volume40]以下に設定してください。

4 出力レベルを調節する

TUNE + / TUNE −

- テストトーンを出力しているスピーカーの出力レベルを調節します。
- 各スピーカーから出力される音が同じ大きさに聞こえるように調節します。
- 出力レベルは± 10dB の範囲で調節できます。

5 テストトーンを終了する

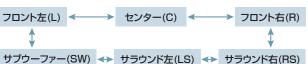
出力レベルの調節が終了します。

- サブウーファーは周波数が低いため、実際のレベルよりテストトーンが小さく聞こえます。サブウーファーの出力レベルは、音楽または映画のソフトを実際に再生しながら調節してください。下記
- 「サラウンドモード」が[Auto]のときにこの方法で設定すると、5.1ch の設定値が変更されます。2.1ch の出力レベルについては、「再生中の音声で調整する」下記で設定してください。
- ここで設定を行ったあとに「ルーム設定」P.24 をすると、選んだルームタイプの設定値が優先されます。
- ヘッドホンから出力される音声には反映されません。

再生中の音声で調節する

1 再生中に シフト + CHレベル を押す

2 出力レベルを調節するスピーカーを選ぶ

ST− / ST+

- 2.1ch のモードが選ばれているときは、フロント左(L)、フロント右(R)、およびサブウーファー(SW)からのみ選ぶことができます。

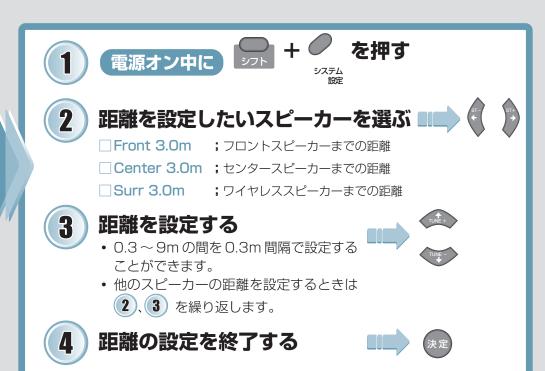
3 出力レベルを調節する

- 出力レベルは± 10dB の範囲で調節できます。
- 他のスピーカーの出力レベルを調節するときは 2 、3 を繰り返します。

4 出力レベルの調節を終了する

- ここで設定を行ったあとに「ルーム設定」P.24 をすると、選んだルームタイプの設定値が優先されます。
- ヘッドホンから出力される音声には反映されません。

視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する

視聴位置から各スピーカーまでの距離が異なると、視聴位置に音が届くタイミングがずれます。適切な音場効果を得るために、各スピーカーまでの距離を設定して、そのずれを自動で補正します。

- ここで設定を行ったあとに「ルーム設定」 P.24 をすると、選んだルームタイプの設定値が優先されます。
- フロントスピーカーまでの距離を設定すると、自動でサブウーファーまでの距離も設定されます(フロントスピーカーと同じ距離)。サブウーファーとフロントスピーカーは視聴位置からほぼ同じ距離に設置してください (サブウーファーまでの距離の設定はありません)。

音質を調整する

困ったとき P.137

低音(Bass)と高音(Treble)を調整する

1. シフト + サウンド D を押す
2. [Bass]または[Treble]を選ぶ

3. 音質を調整して決定する
   音質は±３の範囲で調整できます。

低音を強調して再生する（バスモード）

3 種類の中からお好きなモードを選ぶことができます。2.1ch と 5.1ch で個別に設定することができます。

1. シフト + サウンド D を押す
2. [Bass Mode?]を選んで決定する
3. モードを選んで決定する
   押すたびに下記のように切り換わります。

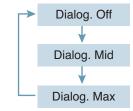
モード	説明
Off	
Music	重低音を補正したより臨場感のある設定です。音楽ライブのDVDにお勧めです。
Cinema	[Music]よりもさらに低音を強調した設定です。アクション、戦闘または爆発などの場面が多い映画のDVDにお勧めです。
P.Bass	CDなどにお勧めです。

再生しているソースによっては、バスモードを[Cinema]や[Music]に設定しているとサブウーファーの音が歪んでしまうことがあります。このようなときは[Off]に設定してください。

セリフやボーカルを強調して再生する（ダイアログ効果）

通常センタースピーカーから聞こえるセリフをTV画面から聞こえるように音像を移動したり、セリフやボーカルを明瞭に再生します。2種類の中からお好きな効果を選ぶことができます。

効果を選ぶ

押すたびに右記のように切り換わります。

＋
小さい音量でサラウンドを楽しむ（ダイナミックレンジコントロール）

ダイナミックレンジコントロールとは、ダイナミックレンジを圧縮する機能です。ダイナミックレンジを圧縮すると微少な音も聞きやすくなり、小さい音量で映画を楽しむときなどに効果的です。

1 **電源オン中に** ＋ **を押す**

2 **DRC 設定メニューを選ぶ**
現在の設定内容が表示されます。
3 **設定を選んで決定する**
DRC Off
ダイナミックレンジを圧縮せずにソフトに収録されたまま再生します。

DRC Mid
ダイナミックレンジを少し圧縮します。

DRC High
ダイナミックレンジを最も圧縮します。

- ダイナミックレンジコントロール対応のドルビーデジタルまたはDTSソフトにのみ働きます。
- ディスクによって効果が少ないことがあります。

FM/AM の音声を本機の HDD または DVD に記録することはできません。

FM/AM 放送を聞く

アンテナが正しく接続されているか、確認してください。

1 FM/AM を押す

押すたびに FM と AM が切り換わります。

2 聞きたい放送局に周波数を合わせる

周波数の合わせ方(チューニング)には、下記の３種類があります。

- **オートチューニング**
  を押して、周波数が動きはじめたら指を離します。周波数が自動で変化して、放送局を受信すると止まります。
  途中で止めるときは、再度 を押すか、■(停止)を押します。
- **マニュアルチューニング**
  を１回ずつ押します。周波数が１ステップずつ変化します。
- **ハイスピードマニュアルチューニング**
  を押し続けます。ボタンを押している間、周波数が連続して変化します。ボタンから指を離すと止まります。

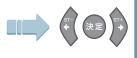
AM 放送を聞くときはテレビまたはプラズマディスプレイの電源をオフにしてください。

FM 放送の雑音を減らす (FM モード)

1 FM 放送を受信する

2

を押す

3 [FM Mode?]を選んで決定する

4 [FM Mono]を選んで決定する

ステレオで受信するときは[FM Auto]を選びます。

放送局が遠い、または電波が弱いなどが原因でFMステレオ放送に雑音が多いときにモノラルに切り換えて放送を聞きやすくします。

お買い上げ時は[FM Auto]に設定されています。放送局に合わせてステレオとモノラルを自動で切り換えます。

AM放送の雑音を減らす（ノイズカット）

1. **AM放送を受信する**
2. シフト ＋ システム設定 **を押す**
3. **[Noise Cut?]を選んで決定する**
4. **[Mode]を選んで決定する**
[Mode]は1～3から選ぶことができます。雑音が最も小さい[Mode]を選んでください。

受信した放送局を記憶する（ステーションメモリー）

FM/AM合わせて30局まで記憶できます。

1. **記憶したい放送局を受信する**
2. シフト ＋ システム設定 **を押す**
3. **[St. Memory？]を選んで決定する**
4. **記憶するステーションを選んで決定する**
ステーションは1～30から選ぶことができます。

「FMモード」、「ノイズカット」の設定もステーションごとに記憶されます。

記憶した放送局を呼び出す

記憶させた放送局を呼び出して聞くことができます。

1. FM/AM **を押す**
2. **記憶したステーションを選ぶ**
本体の −/⏮ / +/⏭ を押して選ぶこともできます。

リモコンの数字ボタン（0～9）で選ぶには

1. **ステーションと同じ数字ボタンを押す**
2. 決定 **を押す**

ステーション25：2 5
ステーション18：1 8

外部機器との接続

ビデオとの接続

VHF/UHF
アンテナ線

同軸ケーブル
(例)

本体

Sビデオケーブル、
Dビデオケーブル
で接続することも
できます。

P18

ビデオケーブル(付属)

オーディオ・ビデオケーブル(市販)

黄 赤 白

RFアンテナケーブル
(付属)

Sビデオケーブルで接
続することもできます。

P.18

ビデオ

VHF/UHF
アンテナ
出力 入力

映像 右 左 音声

ビデオ出力

VHF/UHF
アンテナ
入力

ビデオ入力

RFアンテナケーブル(市販)

テレビ

本機からビデオにダビングするときの接続

本体

ビデオ

映像 音声 右 左

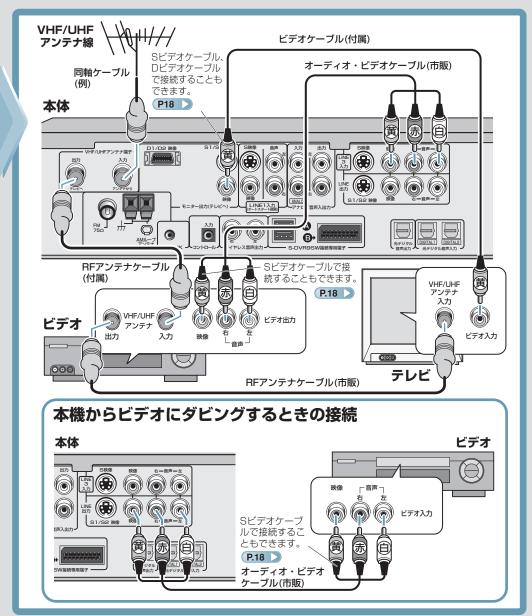
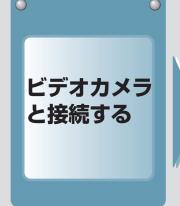
ビデオ入力

Sビデオケーブ
ルで接続するこ
ともできます。

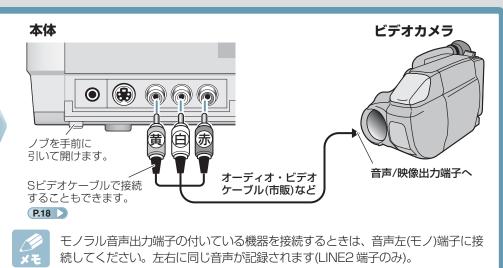
P.18

オーディオ・ビデオ
ケーブル(市販)

- テレビとビデオは直接接続することをお勧めします。
- 「録画禁止」信号を含む DVD-Video の映像をビデオに録画すると、映像の乱れなどが発生して正常に録画することができません。また、視聴のみでも正しい映像が得られないことがあります。

- **ビデオから本機にダビングする方法については** P.46 **をご覧ください。**

本体前面部のLINE2端子に接続すると便利です。ビデオカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

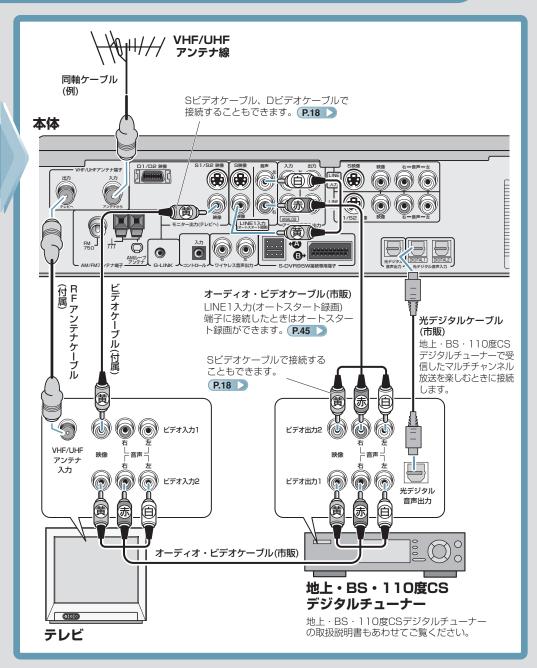
メモ

モノラル音声出力端子の付いている機器を接続するときは、音声左(モノ)端子に接続してください。左右に同じ音声が記録されます(LINE2端子のみ)。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーとの接続

地上・BS・110度CSデジタルチューナーと接続する

地上デジタル放送への対応について

- 本機で地上デジタル放送を受信することはできません。
- 地上デジタル放送の開始によって、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更されたときは[個別チャンネル設定] P.120 で該当する放送局の受信チャンネルを変更してください。

VHF/UHF アンテナ線
同軸ケーブル(例)
本体
Sビデオケーブル、Dビデオケーブルで接続することもできます。P.18
RFアンテナケーブル(付属)
ビデオケーブル(付属)
オーディオ・ビデオケーブル(市販)
LINE1入力(オートスタート録画)端子に接続したときはオートスタート録画ができます。P.45
Sビデオケーブルで接続することもできます。P.18
光デジタルケーブル(市販)
地上・BS・110度CSデジタルチューナーで受信したマルチチャンネル放送を楽しむときに接続します。
VHF/UHFアンテナ入力
映像
音声
右
左
ビデオ入力1
ビデオ入力2
ビデオ出力2
ビデオ出力1
光デジタル音声出力
オーディオ・ビデオケーブル(市販)
テレビ
地上・BS・110度CSデジタルチューナー
地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機で地上・BS・110度CSデジタルチューナーの音声を聞くには

光デジタルケーブルで接続しているときは

音声入力 (デジタル1/2/アナログ) **を押して[DIGITAL1]または[DIGITAL2]を選ぶ**

オーディオケーブルで接続しているときは

ファンクションをHDDまたはDVDにして

ビデオ入力 **を押して[LINE1]を選ぶ**

映像を見るときはテレビの入力を切り換えてください。テレビの入力切換についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

CATV(ケーブルテレビ)チューナーとの接続(CATVの番組を受信する)

CATV チューナーと接続する

CATV(ケーブルテレビ)のチャンネル設定は[オートスキャン] P.119 で設定します。[オートスキャン]で設定したあとに、特定のチャンネルが受信できないまたは映りが悪いときは[個別チャンネル設定] P.120 で設定してください。CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご契約のCATV(ケーブルテレビ)局によっては、番組表(EPG)をご利用になれないことがあります。

同軸ケーブル(市販)
CATVのVHF/UHF放送を本機で受信するときや番組表(EPG) P.28 をご利用になるときは接続してください。

本体

Sビデオケーブル、Dビデオケーブルで接続することもできます。P.18

RFアンテナケーブル(付属)

ビデオケーブル(付属)

オーディオ・ビデオケーブル(市販)
Sビデオケーブルで接続することもできます。P.18

VHF/UHFアンテナ線

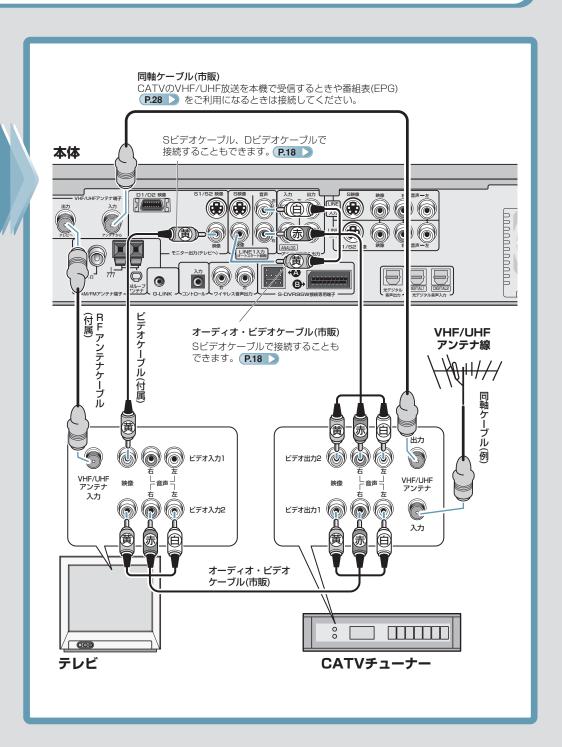
同軸ケーブル(例)

VHF/UHF アンテナ 入力 / 映像 / 右 音声 左 / ビデオ入力1 / ビデオ入力2

ビデオ出力2 / ビデオ出力1 / 映像 / 右 音声 左 / 出力 / VHF/UHF アンテナ / 入力

オーディオ・ビデオケーブル(市販)

テレビ

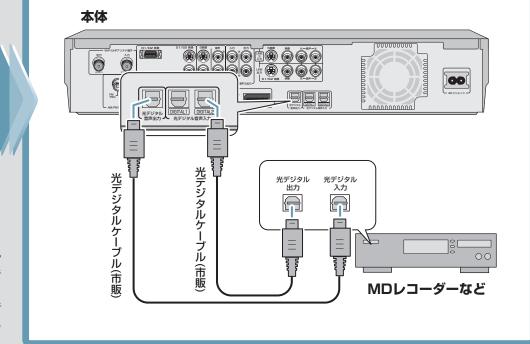
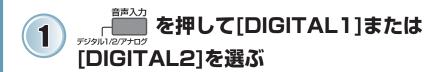
CATVチューナー

デジタル機器(MD レコーダー、CD レコーダー、ゲーム機など)との接続

デジタル１およびデジタル２入力の音声を本機の HDD または DVD に記録することはできません。
デジタル機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機と MD レコーダーなどのデジタル機器を接続する

メモ

- MD レコーダーや CD レコーダーへのシンクロ録音はできません。
- FM/AM やアナログ入力の音声を光デジタル出力端子から出力することはできません。

本機でデジタル機器の音声を聞くには

1. 音声入力 を押して[DIGITAL1]または[DIGITAL2]を選ぶ
2. デジタル機器(MD レコーダーなど)の音声を再生する

   デジタル機器(MD レコーダーなど)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

音声を切り換える(デュアルモノ)

ファンクションがデジタル１またはデジタル2で、二カ国語放送や音声多重放送などのデュアルモノラルフォーマット信号が入力されているときは、下記の方法で音声を切り換えることができます。デュアルモノラルフォーマット信号には下記の音声があります。

- 地上・BS デジタル放送のモノラルの二カ国語放送や音声多重放送などのMPEG-2AAC音声
- 二カ国語で記録した DVD-Video のドルビーデジタル音声

音声 A を押す

押すたびに右記のように切り換わります。

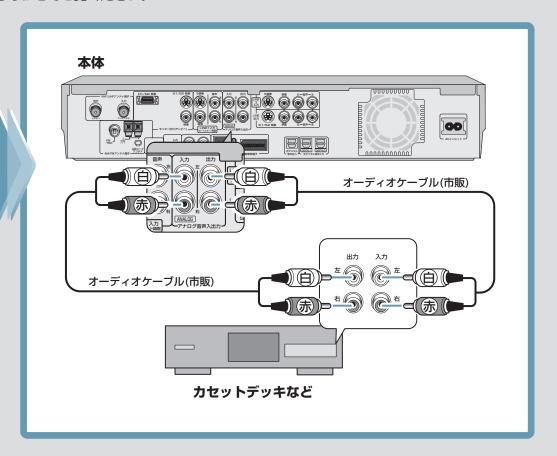
(主音声) L → (副音声) R → (主音声+副音声) L R

メモ

「リスニングモード」P.86 が[Auto]に設定されているときに L または R を選んだときは、音声がセンタースピーカーから出力されます。

アナログ機器(カセットデッキなど)との接続

アナログ入力の音声を本機のHDDまたはDVDに記録することはできません。
アナログ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機とカセットデッキなどのアナログ機器を接続する

本機でアナログ機器の音声を聞くには

1. 音声入力 デジタル1/2/アナログ **を押して[ANALOG]を選ぶ**
2. **アナログ機器(カセットデッキなど)の音声を再生する**
   アナログ機器(カセットデッキなど)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

カセットデッキなどのアナログ機器で本機の音声を録音する（アナログアウトモード）

本機のアナログ音声出力端子から出力される音声を他機器で録音するときは下記の設定をしてください。[A.Out Norm]に設定されていると、本機を操作したときにアナログ音声出力が途切れることがあり、そのまま録音されてしまいます。

1 ＋ を押す

2 [A.Out Mode?]を選んで決定する

3 [A.Out Fix]を選んで決定する

- ドルビーデジタルのマルチチャンネル音声を再生しているときに[A.Out Fix]に設定するとアナログ音声出力端子からはサラウンドエンコード(Lt/Rt)変換された音声が出力されます。その音声はドルビープロロジックデコーダを搭載した機器で再生する場合に適しています。
- 電源をオフにしたり、本機のファンクションを切り換えると「アナログアウトモード」は自動的に[A.Out Norm]になります。

アナログ音声入力の歪みを減らす（アッテネーター）

本機のアナログ音声入力端子に接続した外部機器の音声が歪んでいるように感じられるときは、アッテネーター(減衰器)をオンに設定すると改善されることがあります。

1 電源オフ中に ＋ を押す

2 [ANA.In ATT?]を選んで決定する

3 最適な減衰値を選んで決定する

押すたびに下記のように切り換わります。

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

プラズマディスプレイ(地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ)との接続

プラズマディスプレイ(地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

VHF/UHF アンテナ線

同軸ケーブル(例)

本体

Dビデオケーブル(市販)

ビデオケーブルまたはSビデオケーブルで接続することもできます。 P.18

RFアンテナケーブル(付属)

同軸SR+ケーブル(別売)

SR+に対応したパイオニアプラズマディスプレイと連動して動作させることができます。 P.103

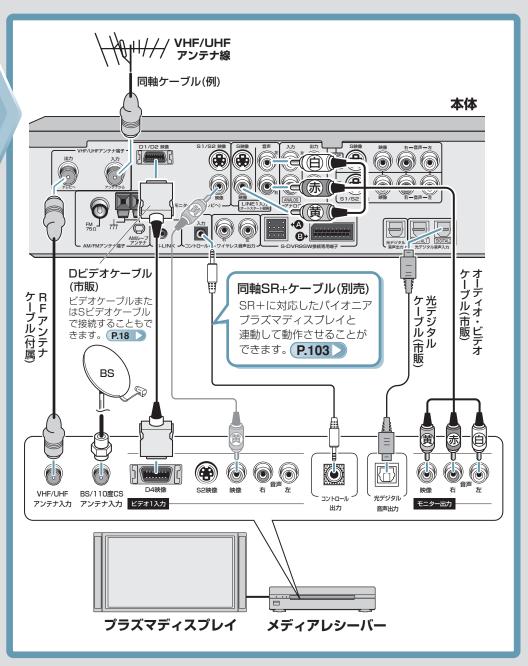
光デジタルケーブル(市販)

オーディオ・ビデオケーブル(市販)

BS

VHF/UHF アンテナ入力　BS/110度CS アンテナ入力　D4映像　S2映像　映像　右　音声　左　ビデオ1入力　コントロール出力　光デジタル音声出力　映像　右　音声　左　モニター出力

プラズマディスプレイ　メディアレシーバー

- BSデジタル専用出力端子以外の出力端子(モニター出力)と本機を接続したとき、本機の設定とテレビの設定の組み合わせによって、画像や音声がハウリング(画面が白くなったり、ピーなどの音)を起こすことがあります。このようなときは、本機またはテレビのチャンネルを切り換えてください。
- SR+ケーブル(パイオニア部品番号ADE7095)の購入については部品受注センター P.156 へご連絡ください。
- SR+ケーブルを本機のコントロール入力端子に接続しているときは、リモコンをプラズマディスプレイのリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンを本機に向けて操作することはできません。
- SR+ケーブルを本機のコントロール入力端子に接続しているときにプラズマディスプレイの電源コードが抜かれているときは、リモコンで本機を操作することはできません。

本機でプラズマディスプレイの音声を聞くには

光デジタルケーブルで接続しているときは

音声入力 デジタル1/2/アナログ **を押して[DIGITAL1]または[DIGITAL2]を選ぶ**

オーディオケーブルで接続しているときは

ファンクションを HDD または DVD にして

ビデオ入力 **を押して[LINE1]を選ぶ**

本機とパイオニア製プラズマディスプレイを連動させる(SR＋(プラス)機能)

SR＋機能とは

本機とパイオニア製プラズマディスプレイ※1(以下PDP)をSR＋ケーブル※2で接続する P.102ことで、下記のようなシステム動作が実現できます。

- **入力連動モード**
  本機のファンクション切換に連動してPDPのビデオ入力を切り換えることができます。たとえばHDDにあるタイトルを視聴したあとに、PDPで受信している番組を視聴するときは本機を操作するだけでPDPのビデオ入力が切り換わり、マルチチャンネルサラウンドで楽しむことができます。
- **音量連動モード**
  本機のファンクション切換に連動してPDPの音量を下げることができます※3。
- 本体表示窓に表示されている各種設定や音量などをPDPの画面にも表示することができます。
- リモコンをPDPのリモコン受光部に向けて操作することができます。

※1 下記のSR＋機能に対応したプラズマディスプレイと接続したときのみ働きます。
• PDP-505HDL • PDP-505HDS • PDP-435HDL • PDP-435HDS • PDP-435SX
• PDP-504HD • PDP-434HD • PDP-434BX • PDP-434TX
※2 SR＋ケーブル(パイオニア部品番号 ADE7095)の購入については部品受注センター P.156 へご連絡ください。
※3 PDPの音量は0(最小)になります。

ファンクション切換とは？

や で本機の映像/音声出力を切り換えることです。見開き

手順

STEP1 本機とパイオニア製プラズマディスプレイ(PDP)を接続する P.102

STEP2 本機とPDPの電源をオンにする 本体表示窓に<SR+>が点灯しているときは、STEP4に進んでください。

STEP3 SR＋機能をオンにする P.104

STEP4 音量連動モードを設定する P.104

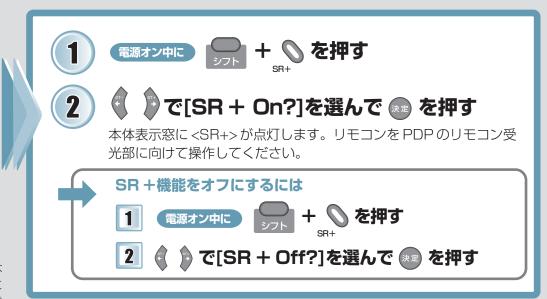
STEP5 入力連動モードを設定する P.105

STEP6 連動動作を確認する P.105

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

本体表示窓に <SR+> が点灯します。リモコンを PDP のリモコン受光部に向けて操作してください。

メモ

SR+ 機能をオンにすると、本機の電源をオンにしたときにもファンクション切換と同様の連動動作をします。

音量連動モードを設定する

本機のファンクション切換に連動して PDP の音量を下げるかどうか設定します。[Vol. Ctrl On]に設定すると本機のファンクションを切り換えたとき瞬時にPDPの音量が0になります。

PDP から音を出したいときは PDP 側で音量を調節してください。

入力連動モードを設定する

本機のファンクション切換(音声)に連動してPDPのビデオ入力(映像)を切り換えるかどうか設定します。

- お買い上げ時の設定では本機のファンクションとPDPのビデオ入力は下記のように対応しています。

本機のファンクション	PDPのビデオ入力
HDD/DVD	PDP1
DIGITAL1	PDP2
DIGITAL2	None
ANALOG	None

- ファンクションがFM/AMのときは入力連動モードは働きません。またファンクションがFM/AMのときはPDPの画面に各種設定や音量などを表示することはできません。

例 たとえば 本機のファンクションを[HDD]に切り換えたときに、PDPのビデオ入力を自動でPDPのビデオ入力1に切り換えるように設定する

1 電源オン中に + を押す

2 [SR+ Setup?]を選んで決定する

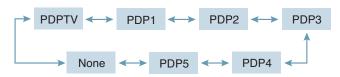
3 入力連動モードを設定したいファンクションを選ぶ

- 例では、HDD/DVDを選びます。

HDD　→ PDP1

- 押すたびに下記のように切り換わります。

4 PDPのビデオ入力を選ぶ

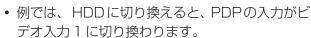
- 例では、PDP1を選びます。
- 押すたびに下記のように切り換わります。

- [None]のときはPDPのビデオ入力切換は連動しません。
- [PDP1]~[PDP5]はPDPのビデオ入力1～5に相当し、接続しているPDPにより数が変わります。またPC入力が[PDP5]に相当するPDPもあります。
- [PDPTV]は地上アナログ放送になります。
- 他のファンクション設定をするときは3、4を繰り返します。

5 決定 を押す

PDPの地上・BS・110度CSデジタル放送を見るとき

本機の光デジタル音声入力端子(DIGITAL1/DIGITAL2)とPDPの光デジタル音声出力端子を接続して地上・BS・110度CSデジタル放送を見るときは、4で[PDPTV]を選んで、本機のファンクションをデジタル1またはデジタル2に切り換えてからPDPの放送を切り換えてください。

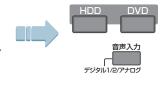
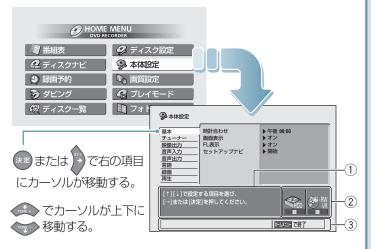
連動動作を確認する

ファンクションを切り換える

- 例では、HDDに切り換えると、PDPの入力がビデオ入力1に切り換わります。
- 「音声連動モード」がオンに設定されているときはPDPの音量が0になります。

応用設定

ファンクションをHDDまたはDVDにして

ホームメニューを表示する

 または で右の項目にカーソルが移動する。

  でカーソルが上下に移動する。

① 簡単な操作および選択している項目の内容説明
② HDD/DVDの動作状態
③ 本体設定画面で主に使うリモコンのボタン

本機では、画面表示にNECのフォント「Font Avenue※」を使用しています。

※ Font AvenueはNECの登録商標です。

ホームメニューを終了するには

ホームメニュー を押す

項目を選ぶまたはカーソルを移動する

決定 項目を決定する

1つ前の画面に戻る

ワンポイント

再生中などに設定できない項目

変更できない項目は灰色で表示されます。また、本機の状態によって選べる項目が異なります。
何も操作しない状態で約20分が経過すると、自動で設定画面が終了します。すでに**決定ボタン**を押して設定した項目は有効になります。

本体設定 P.107

時計やチャンネルなど本体に関する設定を変更します。

ディスク設定 P.116

初期化やファイナライズなどディスクに関する設定をします。

画質設定 P.123

画質の設定をします。

本体 / ディスク設定

メニュー		設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。
本体設定	基本	**時計合わせ**	[西暦]→[月]→[日]→[時]→[分]→[ジャストクロックチャンネル] の順に設定します。決定 を押すと時計が動作します。ジャストクロックについては P.22 をご覧ください。
		画面表示 テレビ画面に操作表示([再生][停止]など)をする、または表示しないを設定します。	■**オン：** 操作表示をします。 □**オフ：** 操作表示をしません。
		FL 表示 電源がオフのときに本体表示窓に時計などを表示する、または表示しないを設定します。	■**オン：** 表示します(時計などを表示します)。 □**オフ：** 表示しません(<AUTO> と <⏻> を除く)。 リモコン信号を使って本機に予約録画をさせる機能をもつデジタルチューナーなどがあります。本機の[FL表示]を[オフ]に設定するとその機能が正しく動作しないことがあります。そのときは[FL表示]を[オン]にしてお試しください。
		セットアップナビ	P.21
	チューナー	**自動チャンネル設定**	□一括チャンネル設定 P.119 □オートスキャン P.119
		個別チャンネル設定	P.120
		ガイドチャンネル設定	P.121
		番組表設定 番組表を取得するチャンネルと時刻を手動で設定します。通常は本機が自動で取得しますので設定する必要はありません。ホスト局の都合によって変更があったときのみ手動で設定します(間違って設定すると番組表が使えなくなることがあります)。	■自動 □手動 **メモ** [手動]に設定したあとに番組表を受信すると[自動]に戻ります。
		番組表受信感度 番組表を受信するときの感度を切り換えます。受信が不安定なときのみ[高い]に設定します。	■通常 □高い

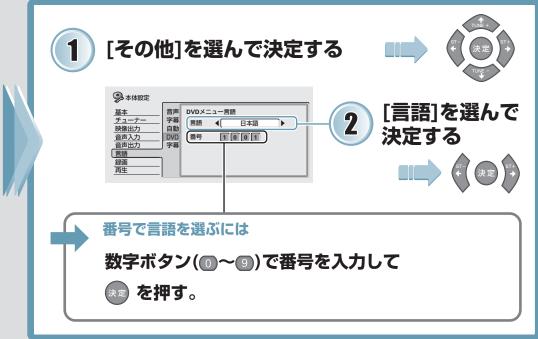
メニュー		設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。
本体設定	映像出力	**コンポーネント出力** D1/D2 映像端子から出力される映像信号を切り換えます。 メモ プログレッシブ映像信号に対応していないテレビと接続しているとき[プログレッシブ]に設定すると映像が映らなくなります。このようなときは、本体の**VOLUME ーボタン**を押しながら**ー/I◀◀ボタン**を押すと、設定を[インターレース]に切り換えることができます。	■**インターレース** P.142： プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのときに選びます。 □**プログレッシブ** P.143： プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのときに選びます。 **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について** 現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。 P.156 **本機と互換が取れている当社のプログレッシブテレビ** (2004年7月現在) PDP-505HDL、PDP-505HDS、PDP-435HDL、PDP-435HDS、PDP-435SX、PDP-502HD、PDP-503HD、PDP-503PRO、PDP-433HD-U、PDP-433HD-S、PDP-A503HD、PDP-A433HD-U、PDP-A433HD-S、PDP-504HD、PDP-504HD-W、PDP-434HD、PDP-434HD-W、PDP-434BX、PDP-434TX、PDL-30HD
		S映像出力 S映像端子から出力される映像信号を切り換えます。	□S1： 16:9の映像がテレビに送られたとき、テレビの画面が自動でフルモードに切り換わります。 ■S2： S1の機能に加えて、4:3レターボックスの映像がテレビに送られたとき、テレビの画面が自動でズームモードに切り換わります。
	音声入力	**外部音声** 本機のLINE1～3端子に接続した外部機器から入力される音声がステレオ音声か二カ国語音声かを選びます。 メモ • 外部機器から二カ国語放送などの二重音声(主音声/副音声)を録画するときは、必ず[二カ国語]を選んでください。 • [二カ国語]に設定して外部機器からの映像を録画するときは[二カ国語時記録音声] P.109 も設定してください。	■ステレオ： **左(L)と右(R)の音声を切り換えないで聞くときに選びます。** 二カ国語放送などの外部音声を聞いているときに、主音声と副音声を切り換えることができません(左(L)から主音声、右(R)から副音声が聞こえます)。また、[ステレオ]の設定で二カ国語放送を録画すると、再生したときに主音声と副音声を切り換えることはできません。 □二カ国語： **主音声(L)と副音声(R)を切り換えて聞くときに選びます。** 二カ国語放送などの外部音声を聞いているときに、音声A を押して主音声と副音声を切り換えることができます。ただし、[二カ国語]を選んでも、主音声と副音声を切り換えられない場合があります。詳しくは[二カ国語時記録音声]のメモをご覧ください。 P.109

メニュー		設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。
本体設定	音声入力	● **二カ国語時記録音声** 主音声と副音声のどちらかしか記録(視聴)できないとき(下記)に、どちらの音声を記録(視聴)するかを選びます。 • 下記のときは二カ国語の主音声と副音声を同時に記録(視聴)することはできません。 → 録画先が HDD になっているとき → DVD-RW(VR) がセットされていて、録画モードが[FINE]または[MN32]に設定されているとき → DVD-R DVD-RW(Video) がセットされているとき • 上記以外のときは、この設定にかかわらず主音声と副音声の両方が記録されます。 • 本機のLINE1～3端子に接続した外部機器から二カ国語放送の音声を録画するときは必ず[外部音声] P.108 を[二カ国語]に設定してください。	■**主音声**： 主音声のみを記録します(視聴するときは主音声のみ出力します)。 □**副音声**： 副音声のみを記録します(視聴するときは副音声のみ出力します)。
		● **入力1音声レベル** **入力2音声レベル** **入力3音声レベル** 本機のLINE1～3端子に接続した外部機器から入力される音声のレベルを調整します。	□－6dB～＋6dB(3dBごと)の範囲で調整することができます(お買い上げ時：0dB)。ただし、受信しているテレビ番組から入力される音声のレベルを調整することはできません。
	音声出力	● **Dolby Digital出力** デジタル接続する外部機器がドルビーデジタル音声に対応していないときは[Dolby Digital → PCM]を選びます。	■**Dolby Digital**： ドルビーデジタル信号を出力します。 □**Dolby Digital → PCM**： ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。本システムのスピーカー出力もリニアPCMに変換された信号になります。
		● **96kHz PCM出力** デジタル接続する外部機器が96kHzリニアPCM音声に対応していないときは[96kHz→48kHz]を選びます。	□**96kHz→48kHz**： 96kHzの信号を48kHzに変換して出力します。本システムのスピーカー出力も48kHzに変換された信号になります。 ■**96kHz**： 96kHzの信号を出力します。

メニュー		設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。
本体設定	言語	**音声言語** DVD-Video の音声言語を変更します。 ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。	■日本語 □英　語 □その他 P.111
		字幕言語 DVD-Video の字幕言語を変更します。 ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。	■日本語 □英　語 □その他 P.111
		自動言語設定 DVD-Video の音声や字幕を自動で選びます。	■**オン：** [音声言語]と[字幕言語]で選んでいる言語が同じで、さらに[字幕表示]が[オン]のとき有効となります。一般の洋画 DVD-Video では、音声がオリジナル言語、字幕が日本語になります。また、邦画 DVD-Video では、音声が日本語、字幕がオフになります。 □**オフ：** 音声が[音声言語]、字幕が[字幕言語]で選んでいる言語になります。
		DVD メニュー言語 DVD-Video のディスクメニューに表示する言語を変更します。 ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。	■**字幕言語に連動：** [字幕言語]で選んでいる言語でディスクメニューを表示します。 □**日本語：** 日本語でディスクメニューを表示します。 □**英語：** 英語でディスクメニューを表示します。 □**その他：** P.111
		字幕表示 DVD-Video の字幕を表示する、または表示しないを設定します。 ワンポイント **アシスト字幕とは** 耳の不自由な方のために場面の状況などを説明する字幕です。	■**オン：** 字幕を表示します。 □**オフ：** 字幕を表示しません。ただし、DVD-Video の中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。 □**アシスト字幕：** アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕がディスクに収録されていないときは表示されません。

[音声言語]、[字幕言語]、[DVD メニュー言語]で[その他]を選んだとき(言語を設定する)

136 言語の中から言語を選ぶことができます。

下記 ▶

言語コード表

言語名(言語コード), 番号

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

各部の名前とはたらき
接続
ホームシアター入門
録画
再生
消去と編集
ダビング
サラウンド
ラジオ
外部機器との接続
応用設定
故障かな？と思ったら
その他

メニュー	設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。
本体設定 録画	**マニュアル録画** P.79 5つの録画モード([FINE]/[SP]/[LP]/[EP]/[SLP])に加えて、[MN1]～[MN32](32段階)からお好みの録画レベルを選ぶことができます。	□**オン(設定画面へ):** 録画モードに[MN]が追加され、[MN1]～[MN32]から録画レベルを選ぶことができます。P.113 ■**オフ:** [FINE]/[SP]/[LP]/[EP]/[SLP]から録画モードを選びます。
	ジャスト録画 DVD-R DVD-RW DVD残量が不足していると予約している番組を最後まで録画できないことがあります。[オン]に設定すると自動で録画レベルを変更して、セットされているディスクのDVD残量に収まるように録画します。録画レベルが[MN1]でも収まらないときはあらかじめ設定していた録画レベルで HDD に録画します(『おたすけ録画』P.43)。	□**オン:** ジャスト録画機能が働きます。 ■**オフ:** ジャスト録画機能が働きません。
	ナビマーク ディスクナビに表示するタイトルの小画面(ナビ画面)の取り込み位置を変更します。タイトルの小画面(ナビ画面)をお好みの場面に変更することもできます。P.52	■**0秒:** 録画を始めたときの映像をディスクナビに表示します。 □**30秒:** 録画を始めてから30秒後の映像をディスクナビに表示します。 □**3分:** 録画を始めてから3分後の映像をディスクナビに表示します。
	オートチャプター(HDD/VR) P.60 HDD DVD-RW(VR) 番組の音声(モノラル/ステレオ/二カ国語)の切り換わりに合わせて、自動でタイトルに区切り(チャプターマーク)が入ります。	■**オン:** 音声の切り換わりに連動して区切り(チャプターマーク)が入ります。区切りは多少ずれることがあります。 □**オフ:** タイトルに区切り(チャプターマーク)が入りません。
	オートチャプター(ビデオ) DVD-R DVD-RW(Video) タイトルに自動で区切り(チャプターマーク)が入る間隔を設定します。区切りが入る時間は目安です。設定した時間と多少ずれることがあります。	□**区切りなし:** 区切り(チャプターマーク)が入りません。 ■**10分:** 約10分ごとに区切り(チャプターマーク)が入ります。 □**15分:** 約15分ごとに区切り(チャプターマーク)が入ります。
	フレーム編集 P.84 ダビングリストを作成する前に[オン]に設定するとフレーム単位で編集することができます。	□**オン:** フレーム単位で編集します。 ■**オフ:** 0.5秒単位で編集します。
	DVD-RW自動初期化 未使用の DVD-RW をセットしたときに自動で初期化するモード(VRモードまたはビデオモード)を設定します。	■**VRモード:** VRモードで初期化します。 □**ビデオモード:** ビデオモードで初期化します。Ver.1.0の DVD-RW をビデオモードで使うことはできません。

録画レベルを細かく設定する

5 つの録画モード[FINE]/[SP]/[LP]/[EP]/[SLP]に加えて、[MN1]〜[MN32](32段階) からお好みの録画レベルを選ぶことができます。

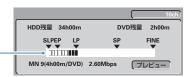
DVD-RW(VR)			HDD / DVD-R / DVD-RW(Video)	
録画レベル	録画時間		録画レベル	録画時間
MN1	480 分	SLP	MN1	480 分
MN2	420 分		MN2	420 分
MN3	360 分	EP	MN3	360 分
MN4	330 分		MN4	330 分
MN5	300 分		MN5	300 分
MN6	285 分		MN6	285 分
MN7	270 分		MN7	270 分
MN8	255 分		MN8	255 分
MN9	240 分	LP	MN9	240 分
MN10	230 分		MN10	230 分
MN11	220 分		MN11	220 分
MN12	210 分		MN12	210 分
MN13	200 分		MN13	200 分
MN14	190 分		MN14	190 分
MN15	180 分		MN15	180 分
MN16	170 分		MN16	170 分
MN17	160 分		MN17	160 分
MN18	150 分		MN18	150 分
MN19	140 分		MN19	140 分
MN20	130 分		MN20	130 分
MN21	120 分	SP	MN21	120 分
MN22	110 分		MN22	110 分
MN23	105 分		MN23	105 分
MN24	100 分		MN24	100 分
MN25	95 分		MN25	95 分
MN26	90 分		MN26	90 分
MN27	85 分		MN27	85 分
MN28	80 分		MN28	80 分
MN29	75 分		MN29	75 分
MN30	70 分		MN30	70 分
MN31	65 分		MN31	65 分
MN32	61 分	FINE	MN32	61 分

- 録画時間は 12cm 片面未使用ディスク(4.7GB)の場合の目安です。
- 画質が大きく変わる録画レベルの境界を線で示しています。

1 ファンクションを HDD または DVD にして

ホームメニューから[本体設定]→[録画]→[マニュアル録画]→[オン(設定画面へ)]を選んで決定する

2 録画レベルを選ぶ

録画レベル設定画面

前 次 を押すたびに下記のように切り換えることができます。

[MN1]↔[MN3]↔[MN9]↔[MN21]↔[MN32]

録画する前に画質を確認するには

1 **で[プレビュー]を選んで** **を押す**

2 画質を確認したあとに 決定 を押す

録画レベル設定画面に戻ります。

3 録画レベルを決定する

録画モード

 で[MN]を選んだとき

テレビ画面に下記が表示されているときに TUNE+ TUNE− で録画レベルを変更することができます。

MN21(2h00m/DVD)　残量　0h30m

[↑][↓]でレベル変更

メモ

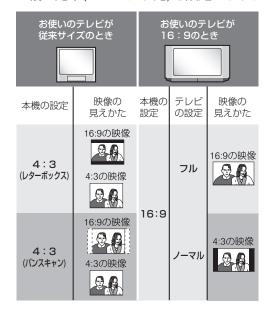
- [FINE]または[MN32]に設定すると音声がリニア PCM で記録されます。[FINE]または[MN32]以外に設定したときは音声がドルビーデジタルで記録されます。
- [MN2]と[MN3]の境界で音質が変わります。
- VBR(可変ビットレート)制御※で録画されるため、映像によって録画時間が変わります。録画時間は目安としてお考えください。

※ Variable Bit Rate 制御の略で、動きの速い部分や色の移り変わりの激しいところなどの複雑な映像には符号量を多く割り当て、逆の場合には少なく割り当てるというようにビットレート(一定時間に転送する符号量)を可変で制御することです。

メニュー	設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。

本体設定 / **再生**

● テレビ画面サイズ

お使いのテレビに合わせてテレビ画面の横と縦の比率(アスペクト比)を設定します。

■4:3(レターボックス)：
従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現する方式)で見たいときに選びます。

□4:3(パンスキャン)：
従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして4:3の画面全体に映し出す方式)で見たいときに選びます。

□16:9：
ワイド(16:9)テレビと接続したときに選びます。

● ポーズモード

一時停止しているときの映像の状態を切り換えます。

ディスクによっては[フィールド]を選んでいても、[フレーム]と同じ映像になることがあります。

□フィールド：
映像のブレをなくします。

□フレーム：
映像はブレることがありますが、鮮明な映像を見ることができます。

■自動：
再生しているディスクに合わせて[フィールド]と[フレーム]を自動で切り換えます。

● シームレス再生 HDD DVD-RW(VR)

メモ

編集内容によっては[シームレス再生]しないことがあります。

□オン：
編集作業などでできた映像のつなぎ目を滑らかに再生します。ただし、映像のつなぎ目が多少ずれることがあります。また、音声が途切れることがあります。

■オフ：
映像のつなぎ目で一瞬再生が一時停止したように見えますが、映像のつなぎ目はずれません。

メニュー	設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。

本体設定 再生

視聴制限 DVD-Video

暴力シーンなどを含む DVD-Video には、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。

国コード表

国名,入力コード,国コード	国名,入力コード,国コード
アメリカ, **2119, us**	チリ, **0312, cl**
アルゼンチン, **0118, ar**	デンマーク, **0411, dk**
イギリス, **0702, gb**	ドイツ, **0405, de**
イタリア, **0920, it**	日本, **1016, jp**
インド, **0914, in**	ニュージーランド, **1426, nz**
インドネシア, **0904, id**	ノルウェー, **1415, no**
オーストラリア, **0121, au**	パキスタン, **1611, pk**
オーストリア, **0120, at**	フィリピン, **1608, ph**
オランダ, **1412, nl**	フィンランド, **0609, fi**
カナダ, **0301, ca**	ブラジル, **0218, br**
韓国, **1118, kr**	フランス, **0618, fr**
シンガポール, **1907, sg**	ベルギー, **0205, be**
スイス, **0308, ch**	ポルトガル, **1620, pt**
スウェーデン, **1905, se**	香港, **0811, hk**
スペイン, **0519, es**	マレーシア, **1325, my**
タイ, **2008, th**	メキシコ, **1324, mx**
台湾, **2023, tw**	ロシア, **1821, ru**
中国, **0314, cn**	

メモ

暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して再度暗証番号を登録してください。お買い上げ時の設定に戻すときは P.127 をご覧ください。

□**暗証番号登録**

すでに暗証番号が登録されているときは[暗証番号変更]が表示されます。

数字ボタン(0 ～ 9)で入力して 決定 を押す。

□**レベル変更(お買い上げ時：オフ)**

1 **登録した暗証番号を入力して 決定 を押す。**

2 **◀ ▶ でレベルを変更して 決定 を押す。**

□**国コード(お買い上げ時：jp1016)**

1 **登録した暗証番号を入力して 決定 を押す。**

2 **◀ ▶ で[国コード]を選んで 決定 を押す。**

数字ボタン(0 ～ 9)で番号を入力して国コードを選ぶこともできます。『国コード表』 左記 をご覧ください。

アングルマーク表示 DVD-Video

アングルマーク( )を表示する、または表示しないを設定します。

■**オン：**
テレビ画面に を表示します。

□**オフ：**
テレビ画面に を表示しません。

メニュー	設定項目	設定内容 ■はお買い上げ時の設定を表しています。
ディスク設定 基本	● ディスク名入力	ディスクに名前を付けることができます。文字の入力方法については P.65 をご覧ください。DVD-RW を初期化したとき、または未使用の DVD-R に録画したときは、自動でディスク名が付きます。ディスク名は[DISC ＊＊]と付けられ、＊＊には 1 ～ 99 の数字が順に入ります。
	● ディスク保護 DVD-RW(VR) のみ保護することができます。 メモ [ディスク保護]が[オン]に設定されていても初期化 下記 することができます。初期化するときは十分にご注意ください。	■オン： ディスクを保護します。録画および編集などができなくなります。 ■オフ： ディスク保護を解除します。
初期化	● VR モード	DVD-RW を VR モードで初期化します。
	● ビデオモード メモ • DVD-R を初期化することはできません。 • Ver.1.0の DVD-RW はビデオモードで初期化できません。	DVD-RW をビデオモードで初期化します。
	● HDD 初期化 メモ 保護されているタイトルを含め、すべての録画内容が消去されます。また、受信した番組表も消去されます。	HDD の管理情報に不具合が生じたときのみ初期化します。通常は[HDD 初期化]は表示されません。テレビ画面に**[HDD の情報が正しくありません。ディスク設定から HDD 初期化を行ってください。]**と表示されたときのみ選ぶことができます。
ファイナライズ	● ファイナライズ • 本機で録画した DVD-RW(VR) を他のDVD-RW対応のプレーヤーやレコーダーで再生できないときはディスクをファイナライズしてください。 • DVD-R DVD-RW(Video) のファイナライズについては P.47 をご覧ください。 メモ • 本機でファイナライズした DVD-RW(VR) はファイナライズしたあとも録画/編集することができます。 • 他機でファイナライズされた DVD-RW(VR) をセットすると[ファイナライズ解除してください]と表示されることがあります。このときは、ファイナライズを解除してください。右記 本機で録画/編集することができるようになります。 • ファイナライズに必要な時間は、ディスクの種類や録画されている時間/タイトル数によって異なります(数分～ 1 時間程度)。未録画部分が多いほどファイナライズに時間がかかります。 • ファイナライズ中はファンクションを FM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えることはできません。	**1** ファイナライズしたいディスクをセットする **2** ホームメニューから[ディスク設定]を選んで 決定 を押す。 **3** [ファイナライズ]→[ファイナライズ実行]→[次画面へ]と選んで 決定 を押す。 ディスク設定 基本 初期化 ファイナライズ HDDの最適化 ファイナライズ実行 ファイナライズ解除 次画面へ 所要時間： 2分 ⇨ ファイナライズ実行中です 8ch 残り：2分 中止 **ファイナライズを途中で中止するには** [中止]が表示されているときに 決定 を押す([中止]が最初から表示されていないときは中止できません)。 **ファイナライズを解除するには** [ファイナライズ]→[ファイナライズ解除]→[開始]と選んで 決定 を押す。

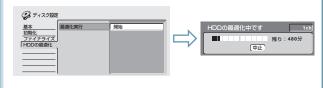
メニュー	設定項目	設定内容
ディスク設定	**HDDの最適化**	

HDDの最適化

テレビ画面に[HDDの最適化を行うことをお奨めします。ディスク設定で設定することができます。]または[HDDの最適化を行ってください。ディスク設定で設定することができます。]と表示されたときに実行します(警告文が表示されなくても実行できます)。

メモ

- HDDの最適化には最大8時間かかります。HDDの最適化実行中は録画や再生など一切の機能が働きません。
- 途中で中止したときは、中止するまでの処理が有効になります。

1. ホームメニューから[ディスク設定]を選んで 決定 を押す。
2. [HDDの最適化]→[最適化実行]→[開始]と選んで 決定 を押す。

HDDの最適化を途中で中止するには

[中止]が表示されているときに 決定 を押す([中止]が最初から表示されていないときは中止できません)。

本体設定からチャンネルを設定する

一括チャンネル設定 P.119

一番手間のかからない方法です。

オートスキャン P.119

[一括チャンネル設定]でほとんど映らなかったときまたは**CATV やマンションの共同アンテナで受信されているとき**はこの方法で設定します。

個別チャンネル設定 P.120

[自動チャンネル設定]で設定したあと、**特定のチャンネルだけ受信できなかったとき**または**映りが悪かったとき**はこの方法で設定します。

- 不要なチャンネルを削除したいときは『表示チャンネルを変更するには』 P.120 をご覧ください。
- 地上デジタル放送の開始によって、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更されたときは、[個別チャンネル設定] P.120 で該当する放送局の受信チャンネルを変更してください。

ファンクションをHDDまたはDVDにして

1 ホームメニューを表示する

HOME MENU DVD RECORDER

番組表	ディスク設定
ディスクナビ	本体設定
録画予約	画質設定
ダビング	プレイモード
ディスク一覧	フォトビューワー

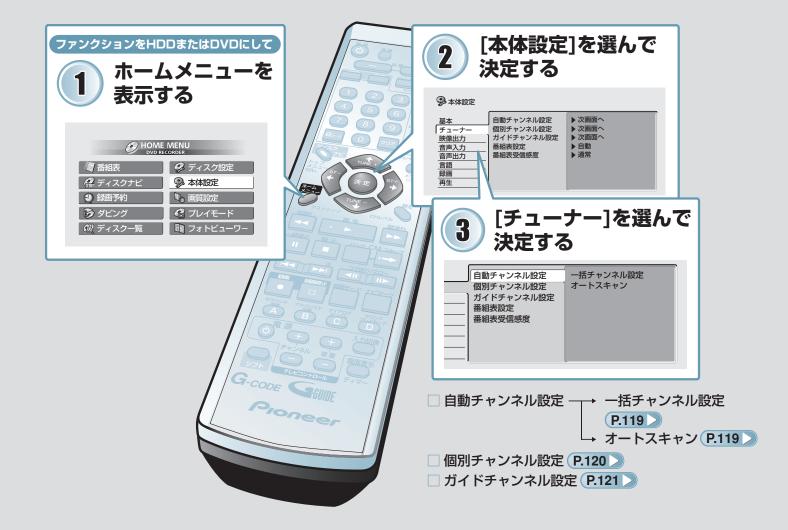
2 [本体設定]を選んで決定する

本体設定

基本	自動チャンネル設定	次画面へ
チューナー	個別チャンネル設定	次画面へ
映像出力	ガイドチャンネル設定	次画面へ
音声入力	番組表設定	自動
音声出力	番組表受信感度	通常
言語		
録画		
再生		

3 [チューナー]を選んで決定する

自動チャンネル設定	一括チャンネル設定
個別チャンネル設定	オートスキャン
ガイドチャンネル設定	
番組表設定	
番組表受信感度	

- □ 自動チャンネル設定 → 一括チャンネル設定 P.119
  → オートスキャン P.119
- □ 個別チャンネル設定 P.120
- □ ガイドチャンネル設定 P.121

一括チャンネル設定

VHF/UHFの放送局の受信チャンネルを設定します。

設定したあとに映らないチャンネルがあるときは P.129 の『チャンネル設定』をご覧ください。

1 [自動チャンネル設定]→[一括チャンネル設定]を選んで決定する

本体設定

基本	自動チャンネル設定	一括チャンネル設定
チューナー	個別チャンネル設定	オートスキャン
映像出力	ガイドチャンネル設定	
音声入力	番組表設定	
音声出力	番組表受信感度	
言語		
録画		
再生		

2 [地域名]を選んで決定する

『地域別地域コード・放送局一覧』P.148 をご覧になり、最寄りの[地域名]を選んでください(数字ボタン(0 ～ 9)で[コード]を入力して地域名を選ぶこともできます)。ここで選んだ地域の番組表を受信します。

オートスキャン

地域名 ◀東京(23区)▶

コード 0 4 2

3 [一括チャンネル設定結果]を確認して決定する

オートスキャン

受信している放送局を自動で選んでチャンネルを設定します。

オートスキャンでチャンネル設定したあとは ...

[時計合わせ] P.107 の[ジャストクロックチャンネル]が正しく設定されているか確認してください。

1 [自動チャンネル設定]→[オートスキャン]を選んで決定する

本体設定

基本	自動チャンネル設定	一括チャンネル設定
チューナー	個別チャンネル設定	オートスキャン
映像出力	ガイドチャンネル設定	
音声入力	番組表設定	
音声出力	番組表受信感度	
言語		
録画		
再生		

2 [地域名]を選んで決定する

『地域別地域コード・放送局一覧』P.148 をご覧になり、最寄りの[地域名]を選んでください(数字ボタン(0 ～ 9)で[コード]を入力して地域名を選ぶこともできます)。ここで選んだ地域の番組表を受信します。

オートスキャン

地域名 ◀東京(23区)▶

コード 0 4 2

オートスキャンが終わるまでしばらくお待ちください。

決定 を押すと中止することができます。

3 [チャンネル設定結果]を確認して決定する

- 設定したあとに映らないチャンネルがあるときは P.129 の『チャンネル設定』をご覧ください。
- オートスキャン中はファンクションをFM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログに切り換えることはできません。

個別チャンネル設定

受信チャンネルとは？

放送局が実際に送信しているチャンネルです。新聞のテレビ欄などで確認することができます。

- 番組表ホスト局の表示チャンネルを変更すると、番組表が受信できなくなります。
- 設定を変更したときはガイドチャンネルも変更してください。P.121

1 [個別チャンネル設定]→[次画面へ]を選んで決定する

2 表示チャンネルを切り換える

NHK教育チャンネルの表示チャンネルを変更したときは、[時計合わせ] P.107 の[ジャストクロックチャンネル]も設定してください。

3 [しない]を選ぶ

[する]を選ぶとチャンネルを切り換えたときにチャンネルがとばされます。

4 [受信チャンネル]にカーソルを移動して、割り当てたいチャンネルを選ぶ

表示チャンネルをC13～C63(CATV)に設定したときは受信チャンネルを変更できません。

5 [自動微調整]にカーソルを移動して[オン]を選んで決定する

[オン]を選んだときはチャンネルの切り換えに少し時間がかかることがあります。

映像の映りが悪いとき

1 [自動微調整]で[オフ]を選ぶ

2 で映りが良くなるレベルに調整して 決定 を押す

表示チャンネルを変更するには

表示チャンネルとは？

本体表示窓またはテレビ画面に表示されるチャンネルです。チャンネルを切り換えるときまたは録画を予約するときは表示チャンネルを使います。

表示チャンネルを変更したときはガイドチャンネルも変更してください。P.121

[一括チャンネル設定]で設定された受信チャンネル38chの表示チャンネルを11chから38chに変更する

1 [個別チャンネル設定]→[次画面へ]を選んで決定する

覚えておく

2 11ch(変更したいチャンネル)を選ぶ

3 [する]を選ぶ

11chが表示されなくなります。

4 38ch(表示させたいチャンネル)を選ぶ

5 [しない]を選ぶ

6 覚えておいた受信チャンネル(38ch)を選んで決定する

表示チャンネルが11chから38chに切り換わります。

不要なチャンネルを削除するには

1 で削除したいチャンネルを選ぶ

2 [スキップ]→[する]を選んで決定する

ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネルとは？

Gコードシステムでの予約録画に使うチャンネルです。放送局ごとに指定されています。また、番組表を取得するときも使います。

番組表に表示されない放送局があるとき

番組表に表示される放送局は地域ごとに決められています。設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できても番組表には表示されません。
表示される放送局とそのガイドチャンネルは『番組表対応放送局一覧』で確認してください。P.146

CATV(ケーブルテレビ)または外部機器などからBSアナログ放送を録画するときのWOWOW放送および衛星放送のガイドチャンネルについては下記の表をご覧ください。

ガイドチャンネル

衛星放送	WOWOW	73
	NHK衛星第一	74
	NHK衛星第二	76

[下関]のNHK教育のガイドチャンネルを設定する

1 設定したい放送局のガイドチャンネルを確認する

『地域別地域コード・放送局一覧』P.148で確認してください。

表のみかた

地域	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8
山口 下関	106	NHK教育 41 / 90	山口朝日 21 / 28		山口放送 4 / 11	TVQ 23 / 19		テレビ山口 33 / 38	

[下関]のNHK教育のガイドチャンネルは[90]です。

2 設定したい放送局(例では[NHK教育])が映っているチャンネルに切り換える

本体表示窓に表示されるチャンネルを確認してください。

たとえば、NHK教育が25chに映っているとき(このチャンネルを覚えておいてください)。

3 ホームメニューから[本体設定]→[チューナー]→[ガイドチャンネル設定]→[次画面へ]を選んで決定する

4 [ガイド]欄に 1 で確認したガイドチャンネルが表示されているページに切り換える

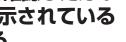
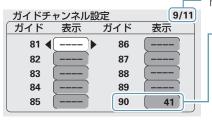
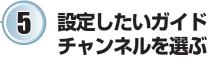
例では、9ページ目を選びます。

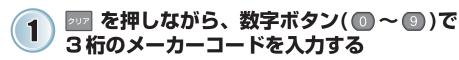
5 設定したいガイドチャンネルを選ぶ

例では、[90]を選びます。

6 2 で確認したチャンネルを選んで決定する

例では、[表示]欄を[25]にします。

各部の名前とはたらき / 接続 / ホームシアター入門 / 録画 / 再生 / 消去と編集 / ダビング / サラウンド / ラジオ / 外部機器との接続 / 応用設定 / 故障かな？と思ったら / その他

テレビコントロール

お使いのテレビのメーカーを本機のリモコンに設定して、お使いのテレビを操作することができます。

1 クリア を押しながら、数字ボタン(0 ～ 9)で3桁のメーカーコードを入力する

2 テレビが操作できるか確認する

1つのメーカーに複数のコードがあるときは、操作できるまで順にコードを設定してください。

メーカーコード表　メーカー名 , メーカーコード

メーカー名	メーカーコード
パイオニア	600(お買い上げ時の設定), 631, 632, 607, 636, 642, 651
アイワ	660
NEC	659
サンヨー	635, 645, 648, 621, 614
シャープ	602, 619, 627
ソニー	604
東芝	605, 602, 626, 621, 653
日立	631, 633, 634, 636, 642, 643, 654, 606, 610, 624, 625, 618
ビクター	613
富士通	648, 649
FUNAI	640, 646, 658
松下	631, 607, 608, 642, 622
三菱	609, 610, 602, 621, 631

ACURA, 644
ADMIRAL, 631
AKAI, 632, 635, 642
AKURA, 641
ALBA, 607, 639, 641, 644
AMSTRAD, 642, 644, 647
ANITECH, 644
ASA, 645
ASUKA, 641
AUDIOGONIC, 607, 636
BASIC LINE, 641, 644
BAUR, 631, 607, 642
BEKO, 638
BEON, 607
BLAUPUNKT, 631
BLUE SKY, 641
BLUE STAR, 618
BPL, 618
BRANDT, 636
BTC, 641
BUSH, 607, 641, 642, 644, 647, 656
CASCADE, 644
CATHAY, 607
CENTURION, 607
CGB, 642
CIMLINE, 644
CLARIVOX, 607
CLATRONIC, 638
CONDOR, 638
CONTEC, 644
CROSLEY, 632
CROWN, 638, 644
CRYSTAL, 642
CYBERTRON, 641
DAEWOO, 607, 644, 656
DAINICHI, 641
DANSAI, 607
DAYTON, 644
DECCA, 607, 648
DIXI, 607, 644
DUMONT, 653
ELIN, 607
ELITE, 641
ELTA, 644
EMERSON, 642
ERRES, 607
FERGUSON, 607, 636, 651
FINLANDIA, 635, 643, 655
FINLUX, 632, 607, 645, 648, 653, 654, 655
FIRSTLINE, 640, 644
FISHER, 632, 635, 638, 645
FORMENTI, 632, 607, 642
FRONTECH, 631, 642, 646
FRONTECH/PROTECH, 632
GBC, 632, 642
GE, 601, 608, 607, 610, 617, 602, 628, 618
GEC, 607, 634, 648
GELOSO, 632, 644
GENEXXA, 631, 641
GOLDSTAR, 610, 623, 621, 602, 607, 650
GOODMANS, 607, 639, 647, 648, 656
GORENJE, 638
GPM, 641
GRAETZ, 631, 642
GRANADA, 607, 635, 642, 643, 648
GRADIENTE, 630, 657
GRANDIN, 618
GRUNDIG, 631, 653
HANSEATIC, 607, 642
HCM, 618, 644
HINARI, 607, 641, 644
HISAWA, 618
HUANYU, 656
HYPSON, 607, 618, 646
ICE, 646, 647
IMPERIAL, 638, 642
INDIANA, 607
INGELEN, 631
INTERFUNK, 631, 632, 607, 642
INTERVISION, 646, 649
ISUKAI, 641
ITC, 642
ITT, 631, 632, 642
JEC, 605
JVC, 613, 623
KAISUI, 618, 641, 644
KAPSCH, 631
KENDO, 642
KENNEDY, 632, 642
KORPEL, 607
KOYODA, 644
LEYCO, 607, 640, 646, 648
LIESENK&TTER, 607
LOEWE, 607
LUXOR, 632, 642, 643
M-ELECTRONIC, 631, 644, 645, 646, 655, 656, 607, 636, 651
MAGNADYNE, 632, 649
MAGNAFON, 649
MAGNAVOX, 607, 610, 603, 612, 629
MANESTH, 639, 646
MARANTZ, 607
MARK, 607
MATSUI, 607, 639, 640, 642, 644, 647, 648
MCMICHAEL, 634
MEDIATOR, 607
MEMOREX, 644
METZ, 631
MINERVA, 631, 653
MULTITECH, 644, 649
NECKERMANN, 631, 607
NEI, 607, 642
NIKKAI, 605, 607, 641, 646, 648
NOBLIKO, 649
NOKIA, 632, 642, 652
NORDMENDE, 632, 636, 651, 652
OCEANIC, 631, 632, 642
ORION, 632, 607, 639, 640
OSAKI, 641, 646, 648
OSO, 641
OSUME, 648
OTTO VERSAND, 631, 632, 607, 642
PALLADIUM, 638
PANAMA, 646
PATHO CINEMA, 642
PAUSA, 644
PHILCO, 632, 642
PHILIPS, 631, 607, 634, 656
PHOENIX, 632
PHONOLA, 607
PROFEX, 642, 644
PROTECH, 607, 642, 644, 646, 649
QUELLE, 631, 632, 607, 642, 645, 653
R-LINE, 607
RADIOLA, 607
RADIOSHACK, 610, 623, 621, 602
RBM, 653
RCA, 601, 610, 615, 616, 617, 618, 661, 662, 609
REDIFFUSION, 632, 642
REX, 631, 646
ROADSTAR, 641, 644, 646
SABA, 631, 636, 642, 651
SAISHO, 639, 644, 646
SALORA, 631, 632, 642, 643
SAMBERS, 649
SAMSUNG, 607, 638, 644, 646
SBR, 607, 634
SCHAUB LORENZ, 642
SCHNEIDER, 607, 641, 647
SEG, 642, 646
SEI, 632, 640, 649
SELECO, 631, 642
SIAREM, 632, 649
SIEMENS, 631
SINUDYNE, 632, 639, 640, 649
SKANTIC, 643
SOLAVOX, 631
SONOKO, 607, 644
SONOLOR, 631, 635
SONTEC, 607
SOUNDWAVE, 607
STANDARD, 641, 644
STERN, 631
SUSUMU, 641
SYSLINE, 607
TANDY, 631, 641, 648
TASHIKO, 634
TATUNG, 607, 648
TEC, 642
TELEAVIA, 636
TELEFUNKEN, 636, 637, 652
TELETECH, 644
TENSAI, 640, 641
THOMSON, 636, 651, 652, 663
THORN, 631, 607, 642, 645, 648
TOMASHI, 618
TOWADA, 642
ULTRAVOX, 632, 642, 649
UNIVERSUM, 631, 607, 638, 642, 645, 646, 654, 655
VESTEL, 607
VOXSON, 631
WALTHAM, 643
WATSON, 607
WATT RADIO, 632, 642, 649
WHITE
WESTINGHOUSE, 607
YOKO, 607, 642, 646
ZENITH, 603, 620

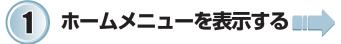
画質設定

録画する映像の画質を調整する

受信しているテレビ番組の映像や接続しているビデオ機器などから入力される映像の画質をお好みに調整できます。

入力ごとに個別に設定することができます

チャンネル(＋/－)ボタンまたは**ビデオ入力ボタン**で入力を切り換えることができます。テレビ番組(本機内蔵チューナー)とLINE1～3入力端子に接続している機器を個別に記憶できます。この設定は一部の項目を除き録画した映像にも反映されます。
LINE1～3入力のお買い上げ時の設定は[レーザーディスク]です。

1 ホームメニューを表示する

2 [画質設定]を選んで決定する

3 画質を選ぶ

[チューナー]、[ビデオ]、または[レーザーディスク]を表示中に 画面表示 を押すと設定値を確認できます。再度押すと画質選択画面に戻ります。

画質選択画面

■**チューナー**
テレビ番組を録画するときに選びます。

□**ビデオ**
ビデオ機器などからの映像を録画するときに選びます。

□**レーザーディスク**
映像信号処理を抑えた設定です。レーザーディスクなどの映像を録画するときに選びます。

□**メモリー 1/2/3**
項目ごとに調整した画質を記憶できます。設定項目の内容については P.125 をご覧ください。

メモリー 1/2/3 を選んだとき

1 で[詳細設定]を選んで 決定 を押す

詳細設定画面(2ページあります。)

2 で項目を選んで で項目を調整する

決定 を押すと、画質を確認しながら調整できます。再度押すと詳細設定画面に戻ります。

4 [画質設定]を終了する

再生する映像の画質を調整する

お使いのテレビに合わせて、再生する映像の画質をお好みに調整できます。

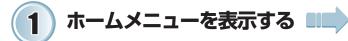
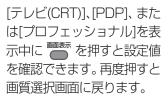
ピュアシネマモードについて

- DVD-Video の映像信号には次の２種類があります。
  →「ビデオ素材」：映像情報を30コマ/秒で記録した信号
  →「フィルム素材」：映像情報を24コマ/秒で記録した信号
- 「ピュアシネマ」モードは、「フィルム素材」の映像信号を異なるコマが混じりあうことなく60コマ/秒のプログレッシブ映像信号に変換して、鮮明な映像を楽しむことができます。
- 「フィルム素材」の映像が再生されているときは、ディスクの情報画面に[#]が表示されます。P.126

1 ホームメニューを表示する

2 [画質設定]を選んで決定する

3 画質を選ぶ

[テレビ(CRT)]、[PDP]、または[プロフェッショナル]を表示中に 画面表示 を押すと設定値を確認できます。再度押すと画質選択画面に戻ります。

画質選択画面

■テレビ(CRT)
普通のテレビと接続しているときに選びます。

□PDP
プラズマディスプレイと接続しているときに選びます。

□プロフェッショナル
映像信号処理を抑えた設定です。プロ用モニターと接続しているときに選びます。

□メモリー 1/2/3
項目ごとに調整した画質を記憶できます。設定項目の内容については P.125 をご覧ください。

メモリー 1/2/3 を選んだとき

1 で[詳細設定]を選んで 決定 を押す

詳細設定画面(2 ページあります。)

2 で項目を選んで で項目を調整する

決定 を押すと、画質を確認しながら調整できます。再度押すと詳細設定画面に戻ります。

4 [画質設定]を終了する

録画する映像の画質を調整する P.123 **で**
メモリー1/2/3を選んだときの設定項目について

3次元YC分離
入力信号の3次元YC分離の設定を動画向き、または静止画向きに調整します。

VNR
入力信号の輝度信号と色信号のノイズを軽減します。

ディテール
入力信号の画像の輪郭を強調します。

白AGC
[オン]に設定すると、入力信号の輝度レベルが高すぎるときに自動で最適なレベルに補正します。

白レベル
白AGCが[オフ]のときに有効です。入力輝度信号の白色のレベルを調整します。

黒レベル
入力輝度信号の黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ
入力輝度信号の黒浮きを補正します。通常は[0 IRE]を選びます。入力信号の黒色が浮いているようなときは[7.5 IRE]を選びます。

色あい
入力色信号の緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ
入力色信号の色の濃さを調整します。

再生する映像の画質を調整する P.124 **で**
メモリー1/2/3を選んだときの設定項目について

ピュアシネマ※1
プログレッシブスキャン回路の動作をフィルム素材のDVD再生に最適な設定にします。通常は[自動]に設定しますが、映像が不自然なときは[オン]または[オフ]に設定します。

YNR※2
輝度(Y)信号のノイズを軽減します。

CNR※2
色(C)信号のノイズを軽減します。

QNR
ブロックノイズを軽減します。

ディテール
画像の輪郭を強調します。

白レベル
白色のレベルを調整します。

黒レベル
黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ
出力輝度信号の黒浮き、黒沈みを補正します。通常は[0 IRE]を選びます。接続するテレビモニターとの組み合わせによって黒色が沈みすぎているときは[7.5 IRE]を選びます。

色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ
色の濃さを調整します。

※1 ピュアシネマは[コンポーネント出力] P.108 を[プログレッシブ]に設定しているときのみ調整することができます。
※2 YNRおよびCNRはプログレッシブ出力には効果がありません。

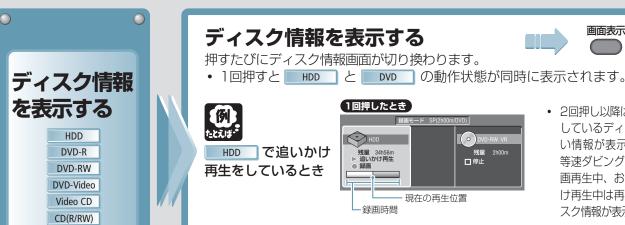
ディスク情報を見る

表示される情報やディスク情報画面の数はディスクの種類や動作状態によって異なります。

ディスク情報を表示する

押すたびにディスク情報画面が切り換わります。

- 1回押すと HDD と DVD の動作状態が同時に表示されます。

例 たとえば HDD で追いかけ再生をしているとき

- 2回押し以降は、現在操作しているディスクの詳しい情報が表示されます。等速ダビング中、同時録画再生中、および追いかけ再生中は再生中のディスク情報が表示されます。

例 たとえば DVD-RW(VR) の停止中

① コピー情報
「1回だけ録画可能」または「録画禁止」の番組を受信中に表示されます。

② 音楽トラック以外の再生できるファイルが混在しているCDの停止中は[混在ファイル：WMA/MP3]のようにファイルの種類が表示されます。

例 たとえば DVD-Video の再生中

① 24コマ/秒で記録されたフィルム素材の映像を再生中に[#]が表示されます。「1回だけ録画可能」な映像を録画して再生すると[!]が表示されます。

② 転送レート
DVDに記録されている映像/音声などの情報量(合計)を表示します。

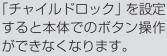
ディスク情報画面を消すには

ディスク情報画面が消えるまで数回 画面表示 を押す

本体のボタン操作を禁止する

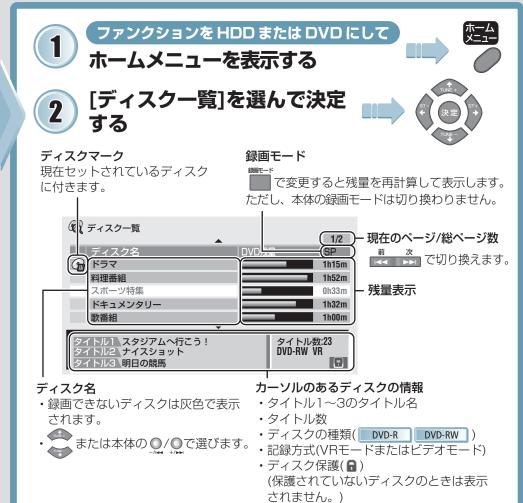
「チャイルドロック」を設定すると本体でのボタン操作ができなくなります。

電源オフ中に

1. シフト ＋ システム設定 を押す
2. [Child Lock?]を選んで決定する
3. [Lock On]を選んで決定する
   解除するときは[Lock Off]を選びます。

ディスク内容と残量を確認する

ディスクをセットしなくても過去に読み込んだディスクの内容と残量を確認できます。読み込んだディスクが一覧で表示されるので、空いているディスクを探すのに便利です。最大30枚まで記憶できます(30枚を超えると古いディスクから順に消去されます)。

ディスク名について

DVD-RW を初期化したとき、または未使用の DVD-R に録画したときは、自動でディスク名が付きます。ディスク名は[DISC ＊＊]と付けられます。＊＊には1～99の数字が順に入ります。

ディスク情報を消去するには

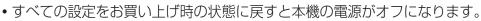
クリア を押す

セットされているディスクの情報は消去できません。

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

ディスクがセットされているときはあらかじめ取り出してください。

電源オン中にファンクションを HDD または DVD にして

STOP REC を押しながら STANDBY/ON を押す

- すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すと本機の電源がオフになります。
- 再度、電源をオンにするとセットアップナビが表示されます。 P.21

メモ：記憶していたメモリー(ディスク一覧など)も同時に消去されます(HDD に録画されているタイトルは残ります)。

各部の名前とはたらき / 接続 / ホームシアター入門 / 録画 / 再生 / 消去と編集 / ダビング / サラウンド / ラジオ / 外部機器との接続 / 応用設定 / 故障かな？と思ったら / その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下の項目を確認してください。また、本機と接続している機器(テレビなど)もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは『保証とアフターサービスについて』P.153 をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

症 状	原 因／対 策
基本動作	
動作しない。	• 電源コードを正しく接続してください。P.19 • 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作することがあります。
リモコンで操作できない。	• リモコンを本体前面部のリモコン受光部に向けて、距離が7m以内、左右30度以内の範囲から操作してください。P.8 • 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、操作できないことがあります。設置場所を変えるか本機を蛍光灯から離してください。 • 新しい乾電池と交換してください。このとき、テレビのメーカーコードが消えてしまうことがあります。再度メーカーコードを設定してください。P.122 • SR+ケーブルを本機のコントロール入力端子に接続すると、本機のリモコン受光部は信号を受け付けません。リモコン操作をするときはリモコンをプラズマディスプレイのリモコン受光部に向けてください。P.102 • SR+ケーブルを本機のコントロール入力端子に接続しているときにプラズマディスプレイの電源コードが抜かれているとリモコンで操作できません。
音が出ない。	• すべてのコードが完全に接続されているか確認してください。P.14 • 消音されていないか(本体表示窓の<MUTE>が点滅表示しているか)確認してください。消音されているときは、リモコンの消音ボタンを押してください。見開き • 音量が最小になっていないか確認してください。見開き P.8 • ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。 • LINE1～3入力端子からの音声のときは[入力音声レベル]の設定を変更してください。P.109 • アナログ音声入力端子からの音声のときは[アッテネーター]の設定を変更してください。P.101 • 電源がオフの状態から録画が始まったときは、音声は消音されています。音声を聞くときはリモコンの**消音ボタン**または本体の **VOLUME ＋ / －ボタン**を押してください。 • 市販のサラウンドスピーカーを接続しているときに、ワイヤレスモードを[W.Surround]に設定するとサラウンドスピーカーから音は出ません。ワイヤレススピーカーの設定を[W.STEREO]に、本体のワイヤレスモードを[W.Stereo]にしてください。P.89
HDD インジケーターが点滅して音が出ない。	• **電源 ⏻ ボタン**を押して本機の電源をオフにして、本体とサブウーファーの電源コードを抜いてください。スピーカーコードがスピーカー端子からはみ出してリアパネルとショートしていないか、サブウーファーのリアにあるファンに異物がはさまっていないか確認してください。再度本体の電源コードを差し込んでから 1 分後に**電源 ⏻ ボタン**を押して本機の電源をオンにしてください。それでも正常に動作しない場合は『保証とアフターサービスについて』P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
センタースピーカーから音が出ない。	• スピーカーが正しく接続されているか確認してください。P.15 • ステレオ再生になっているときは「リスニングモード」を 5.1ch のモードに切り換えてください。P.86 • [Dolby Digital 出力]が[Dolby Digital → PCM]になっているときは[Dolby Digital]に設定してください。P.109
テストトーンがまったく出ない、または出てこないスピーカーがある。	• スピーカーの接続が外れていないか確認してください。P.14 • 音量が<VOLUME 0>になっていないか確認してください。見開き P.8 • 下記のときはテストトーンが出力されません。 ▼ ヘッドホンを接続しているとき ▼「アナログアウトモード」P.101 が[A.Out Fix]に設定されているとき •「リスニングモード」が 2.1ch のモードに設定されているときはフロントL/Rとサブウーファーからのみテストトーンが出力されます。すべてのスピーカーからテストトーンを出力したいときは 5.1ch のモードを選んでから再度やり直してください。P.86 •「ワイヤレスステレオモード」P.89 に設定されているときはワイヤレススピーカーからテストトーンが出力されません。「ワイヤレスサラウンドモード」P.88 に切り換えてください。

症状	原因／対策
基本動作	
ワイヤレススピーカーの電源がオンまたは動作中に、ワイヤレススピーカーのPOWERインジケーターが消灯する。	• 故障の可能性があります。『保証とアフターサービスについて』 P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
ノイズが出る。	• DTS音声で収録されたCDを再生するときは、音声を切り換えないでください(必ずステレオで再生してください)。 P.51
ワイヤレススピーカーから音が出ない、または音が途切れる。	• トランスミッターが正しく接続されているか確認してください。 • ステレオ再生になっているときは「リスニングモード」を 5.1ch のモードに切り換えてください。 P.86 • [Dolby Digital 出力]が[Dolby Digital → PCM]になっているときは[Dolby Digital]に設定してください。 P.109 • ワイヤレススピーカーをステレオスピーカーとしてお使いのときは **STEREO MODE VOLUME**で音量を上げてください。 P.11 • ワイヤレススピーカーのTUNEDインジケーターが点灯していないときは、トランスミッターの**CHANNEL**を押して周波数チャンネルを切り換えるかトランスミッターまたはワイヤレススピーカーの位置や方向を動かしてみてください。 P.11 • 近くに同じ周波数帯（2.4GHz）を利用する無線通信機器である、Bluetooth、無線LAN、コードレスフォン、ゲーム機器のワイヤレスコントローラー、または電子レンジなどの機器が作動しているときはトランスミッターのチャンネルまたは設置場所を変えてみてください。 P.152 • トランスミッターとワイヤレススピーカーの距離は約10mまで使用可能です。この距離は使用環境によって異なりますので、10mを保証するものではありません。 • トランスミッターとワイヤレススピーカーが近すぎると受信状態が不安定になる場合があります。トランスミッターとワイヤレススピーカーを1m以上離してお使いください。 • トランスミッターとワイヤレススピーカーの間に障害物(金属製のドアやコンクリート壁、アルミ箔入りの断熱材など)があると、電波を遮ってしまい音が出なくなるときがあります。トランスミッターとワイヤレススピーカーを互いに見通しのよい場所に設置してください。 • トランスミッターとワイヤレススピーカーは対になっており、お互いに識別しています。別に購入されたトランスミッターとワイヤレススピーカーでは通信できない仕組みになっています。
セットアップナビ	
セットアップナビが表示されない。	• ホームメニューから[本体設定]→[基本]→[セットアップナビ]を選んで**決定ボタン**を押します。
セットアップナビでチャンネルを設定したが映像が映らない、または映りが悪い。	• [本体設定]から再度チャンネルを設定してください。 P.118 • アンテナが正しく接続されているか確認してください。 P.18 P.96
チャンネル設定	
[一括チャンネル設定]で設定したが、ほとんどのチャンネルが映らない、または映りが悪い。	• マンションなどの共同アンテナでチャンネルを受信しているとき、またはCATV(ケーブルテレビ)をアンテナで受信しているときは[オートスキャン]で設定してください。また、[一括チャンネル設定]で隣接した地域コードを入力して再度設定すると改善されることがあります。 P.119
[オートスキャン]で設定したが、ほとんどのチャンネルが映らない。	• アンテナが正しく接続されているか確認してください。 P.18 P.96
• **[一括チャンネル設定]または[オートスキャン]で設定できない。** • **一部のチャンネルが映らない、または映りが悪い。** • **CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルが映らない。**	• [個別チャンネル設定]で設定してください。 P.120 （チャンネルを追加または変更したいときは、ガイドチャンネルも設定してください。 P.121 ）

症状	原因／対策
映像	
映像が映らない。	• ビデオケーブルが正しく接続されているか確認してください。P.18 P.96 • テレビの入力を確認してください。 • D1/D2映像出力端子でプログレッシブ映像信号に対応していないテレビと接続しているときに[プログレッシブ]を[対応している]に設定する P.22 と映像が映らなくなることがあります。もし、映らなくなってしまったときは本体の**VOLUMEーボタン**を押しながら**ー/⏮ボタン**を押してください。 • ファンクションがFM/AM、デジタル1、デジタル2、またはアナログのときは映像は映りません。 • SR＋機能をオンに設定しているときは、入力連動モードの設定を確認してください。P.105
映像が不自然に見える。	• [コンポーネント出力]を[プログレッシブ]に設定していると映像が不自然に見えることがあります。このようなときは、[画質設定]の[ピュアシネマ]を[オン]または[オフ]に設定してください。P.124
映像が横方向に伸びているように見える。	• 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[S映像出力]を[S1]に設定してください。P.108
テレビ画面サイズが切り換わらない。画面が縦、または横に伸びている。	• お使いのテレビに合わせて[テレビ画面サイズ]を設定してください。P.114 • DVD-R DVD-RW(Video) に16：9(ワイド)の映像を録画したときは切り換わりません。 • アスペクト信号(ID-1)が入っていない縦長の映像を外部入力(LINE1～3)から録画したときは切り換わりません。外部入力端子に接続している機器側で4：3の正常な映像を出力させてから録画してください。 • 4：3(パンスキャン)に設定しても DVD-Video のディスクや録画モードによっては4：3(レターボックス)に切り換わることがあります。 • 本機で設定できないときは、テレビ側で設定してください。
再生中に画像が乱れる、または画像が暗い。ビデオデッキで録画すると映像が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクションシステムに対応しています。コピー禁止信号が入っているディスクをビデオデッキなどを経由して再生したりビデオデッキに録画して再生したりすると、コピープロテクションシステムにより正常に再生できません。本機とテレビは直接接続してください。
トランスミッター周辺に設置されたテレビの画像が乱れることがある。	• トランスミッター周辺にアンテナが取り付けられているAV機器があるときは、トランスミッターをAV機器のアンテナ入力端子から遠ざけてください。
録画	
ディスクテーブルが出てきてしまう。	• 本機で録画できないディスク(DVD+RW/DVD+R/DVD-RAMなど)の可能性があります。 • ディスクをクリーニングしてください。P.152 • ディスク不良の可能性があります。新しいディスクと交換してください。
録画できない、またはできなかった。	• 「録画禁止」信号が記録されている映像は録画できません(DVD-Video またはCS放送のペイ・パー・ビューの映像など)。 • 残量が足りているか確認してください。残量がないときは不要なタイトルを消去してください(HDD DVD-RW(VR) のみ)。P.62 • 予約録画待機中または予約録画中に停電がなかったか確認してください。 • 録画した時間(予約録画のとき)が重なっていないか確認してください。P.40 **録画先が HDD のとき** • HDDのタイトル数がすでに999になっているときは録画できません。不要なタイトルを消去してください。P.62 **録画先が DVD のとき** • タイトル数がすでに99になっているディスクがセットされているときは録画できません。不要なタイトルを消去してください。P.62 • DVD-R DVD-RW(Video) に「1回だけ録画可能」な番組は録画できません。 • [ディスク保護]が[オン]に設定されているディスクがセットされているときは録画できません。P.116 • 他機でビデオモード録画したディスクは本機で追加録画することはできません。 • リモコン信号を使って本機に予約録画をさせる機能をもつデジタルチューナーなどがあります。本機の[FL表示]を[オフ]に設定するとその機能が正しく動作しないことがあります。そのときは[FL表示]を[オン]にしてお試しください。
「1回だけ録画可能」な番組を録画できない。	• HDD またはCPRM対応の DVD-RW(VR) にのみ録画できます。P.48

症状	原因／対策
録画	
DVDの記録方式（VRモードとビデオモード）を切り換えられない。	• DVD-RW では、お使いになるディスクを初期化してください。 P.116 ただし、録画されている映像がすべて消去されます。 • Ver.1.0の DVD-RW はビデオモードで録画することはできません。Ver.1.1以降のディスクをお使いください(バージョンはジャケットなどに表示されています)。 P.48 • DVD-R では、記録方式をVRモードに切り換えることができません。
二カ国語の主音声と副音声を同時に記録できない。	• 下記のときは二カ国語の主音声と副音声を同時に記録できません。 → 録画先が HDD になっているとき → DVD-RW(VR) がセットされていて、録画モードを[FINE]または[MN32]に設定しているとき → DVD-R DVD-RW(Video) がセットされているとき [二カ国語時記録音声]で記録する音声をあらかじめ選んでください(選んだ音声のみが記録されるため、再生中に音声を切り換えることはできません)。 P.109
録画したタイトルがなくなっている。	•「自動録画」 P.36 で録画したタイトルは、HDD残量が少なくなる、または HDD のタイトル数が998以上になると自動で消去されます。消去したくないときはタイトルを保護してください。 P.64
番組表	
番組表が表示されない、または更新されない。	• ホストと他のチャンネルのガイドチャンネルが正しく設定されているか確認してください。 P.29 (お住まいの地域のホスト局は P.146 で確認してください)。 • アンテナが正しく接続されているか確認してください。 P.18 P.96 • 取得チャンネルや時刻を手動で設定していないか([番組表設定]が[手動]に設定されていないか)確認してください。[番組表設定]を[自動]に設定してください。 P.107 取得チャンネルや時刻が放送局などの都合で変更になったときのみ[手動]で設定してください。 P.107 • 地域名や受信チャンネルが正しく設定されているか確認してください。 P.118 • 時計が合っているか確認してください。 P.107 番組表データは1日数回送信されます。お買い上げ時は番組表を表示できるまでに1日程度かかることがあります。 • 番組表データの送信時刻に本機をお使いのときは番組表を受信できません。電源をオフにしているときのみ受信できます。 • ホスト局の受信状態が悪いときは表示／更新されません。 • 取得チャンネルや時刻が変更されたときは番組表を受信できません。[番組表設定]を[手動]に設定して取得チャンネルや時刻を選んでください。 P.107 • HDDを初期化したときは受信した番組表が消去されます。
番組表ボタンを押すと、「指定した地域での番組表取得チャンネルが受信できません」と表示される。	• 指定した地域のホスト局が受信できません。近隣の地域のホスト局が受信できるときは、再度地域を指定してチャンネルを設定すると番組表を受信できます。 P.118
番組表に表示されない放送局がある。	• 表示されない放送局のガイドチャンネルが正しく設定されているか確認してください。 P.120 • 地域名や受信チャンネルが正しく設定されているか確認してください。 P.118 • 番組表データに含まれていない放送局は表示されません。 P.146
番組表に表示されない番組がある。	• 表示されない放送局のガイドチャンネルが正しく設定されているか確認してください。 P.121 • 受信状態によっては、すべての番組表データを受信できないことがあります。[番組表受信感度]を[高い]に設定すると改善されることがあります。 P.107 • 時刻別番組表には、30分未満の番組が表示されません。チャンネル別番組表で確認してください。 P.32
間違った放送局が表示される。 予約するとチャンネルが正しく設定されない。 予約して録画すると黒い画面が録画される。	• その放送局のガイドチャンネルが正しく設定されているか確認してください。 P.121 • 地域名や受信チャンネルが正しく設定されているか確認してください。 P.118 •「自動録画」は、番組表に表示されている番組を録画するため、映像が受信されていない放送局の番組を録画することがあります。受信されていない放送局は[個別チャンネル設定] P.120 でスキップ[する]に設定してください。
録画した番組とタイトル名が合っていない。	• 番組を予約したあとに番組内容が変更されたときは予約したときのタイトル名で録画されます。 • DVD に録画したときは、㊁ や ㊦ などの記号がタイトル名から削除されます。

各部の名前とはたらき / 接続 / ホームシアター入門 / 録画 / 再生 / 消去と編集 / ダビング / サラウンド / ラジオ / 外部機器との接続 / 応用設定 / 故障かな？と思ったら / その他

症 状	原 因／対 策
予約録画	
予約(G コード予約含む)できない。 予約の延長ができない。	• 下記のときは予約できません。 → すでに 32 番組予約されているとき → オートスタート録画中またはオートスタート録画が設定されているとき P.45
G コード予約が正しくできない。 本体表示窓に< CODE ERROR >と表示された。	• ガイドチャンネルが設定されているか確認してください。P.121
予約録画が始まらない。	• 下記の動作中は始まりません。動作が終了すると録画が始まります。 → **録画 ● ボタン**を押してすでに録画が始まっているとき → 等速ダビング中 → 初期化中 → ファイナライズ中(DVD-R DVD-RW(Video) をファイナライズすると録画できなくなります) P.47 → ファイナライズ解除中
本体表示窓の < ◴ > が点滅している。	• 予約した番組を正常に録画できないときに点滅します。 **録画先が HDD のとき** → HDD のタイトル数がすでに 999 になっているとき **録画先が DVD のとき** → ディスクがセットされていないとき → 録画できないディスクがセットされているとき → 残量がないとき → タイトル数がすでに 99 になっているディスクがセットされているとき → [ディスク保護]が[オン]に設定されているディスクがセットされているとき P.116
予約録画実行中に予約の追加または延長ができない。	• オートスタート録画が設定されているときの予約録画中は、本体およびリモコンでの操作ができなくなります(ただし、予約録画を解除することはできます P.42)。このときは、オートスタート録画を解除してから操作してください。予約録画中に、オートスタート録画を解除するにはファンクションをHDD または DVD にして本体の**＋ /►►I ボタン**を３秒以上押してください(ただし、予約録画が終了するまでは再度オートスタート録画を設定することはできません)。
予約録画の開始時刻がずれる。	• ジャストクロック機能が働いているか確認してください。下記のようなときはジャストクロック機能が働きません。P.22 P.107 → ジャストクロックチャンネルが正しく設定されていないとき → 時報が放送されないとき(高校野球が放送されているときなど) → 時報が放送されるときに本機の電源がオンのとき → 時報と本機の現在時刻が３分以上ずれているとき → 時報のバックに別の音声が流れているとき → 時報の前後数分間に録画が予約されているとき → オートスタート録画が設定されているとき
オートスタート録画	
「オートスタート録画」が設定できない。	• 下記のときは設定できません。 → 再生中、録画中、または予約録画待機中 → 残量がないとき(残量がないときは不要なタイトルを消去してください(HDD DVD-RW(VR) のみ) P.62)。 **録画先が HDD のとき** → HDD のタイトル数がすでに 999 になっているとき **録画先が DVD のとき** → 録画できないディスクがセットされているとき → タイトル数がすでに 99 になっているディスクがセットされているとき → [ディスク保護]が[オン]に設定されているディスクがセットされているとき
「オートスタート録画」が始まらない。	• 予約録画実行中はオートスタート録画が始まりません。また、オートスタート録画中に他の録画予約の開始時刻になったときは、オートスタート録画は中断され、予約されていた録画が始まります。録画が終わるとオートスタート録画が再開されます。

症状	原因/対策
ファイナライズ	
背景が選べない(作成されたディスクメニューが文字情報のみだった)。	• DVD-RW(VR) では背景を選ぶことができません。 • 下記の機種で録画した DVD-R DVD-RW(Video) をファイナライズすることはできますが、背景を選ぶことはできません(作成されるディスクメニューは文字情報のみとなります)。 DVR-1000アップグレード/DVR-2000/DVR-7000/DVR-3000
ファイナライズが解除できない。	• 下記のディスクのファイナライズは解除できません。 → 本機以外で録画した DVD-RW(Video) → DVD-R → DVD-RW(VR) (録画、編集することはできます。)
ファイナライズできない。	• 他機で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
再生	
再生できない、またはディスクテーブルが出てきてしまう。	• パソコンで記録されたディスクは再生できないことがあります。 • ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • ディスクの表裏を正しくセットしてください。 • ディスクをクリーニングしてください。P.152 • リージョンNo.が一致していることを確認してください(DVD-Video)。P.144 • 本機で再生できるディスクであることを確認してください。P.58
本機で録画したディスクをDVDプレーヤーまたは他のDVDレコーダーで再生できない。	• DVD-R DVD-RW(Video) を再生するときは、ファイナライズしてください(ファイナライズしても再生できないDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブもあります)。P.47 •「1回だけ録画可能」な番組を録画したディスクを、CPRMに対応していないDVDプレーヤーまたはDVDレコーダーで再生することはできません。P.48 • 記録したレコーダーの記録特性、ディスクの特性、ディスクの傷/汚れ、本機のピックアップレンズの汚れ/結露などにより再生できないことがあります。 • 本機で録画した DVD-RW(VR) はRW COMPATIBLEの表記のあるDVD-RW対応プレーヤーやDVDレコーダーで再生することができます。再生できないときは、本機でディスクをファイナライズしてください。P.116 また、再生する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
他のDVDレコーダーで録画したディスクを再生できない。	• 他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを、本機で再生、追加録画及び編集(ファイナライズ含む)することはできません。 • 記録したレコーダーの記録特性やディスクの特性、ディスクの傷/汚れ、本機のピックアップレンズの汚れ/結露などにより再生できないことがあります。
つづき再生機能が解除されてしまう。	• 下記のとき、つづき再生は解除されます。 → 本機をお買い上げ時の設定に戻したとき DVD-R DVD-RW DVD-Video Video CD では、下記のときも解除されます。 → ディスクを取り出したとき → オリジナルとプレイリストを切り換えて再生したとき(DVD-RW(VR) のみ) → 録画、消去、または編集したとき → [本体設定]の[言語] P.110 または[視聴制限] P.115 の設定を変更したとき → DVD-R DVD-RW(Video) をファイナライズしたとき → DVD-RW(Video) のファイナライズを解除したとき
特殊再生(早送り/早戻し/コマ戻し/コマ送り/スロー再生)	
特殊再生ができない、またはスムーズに再生できない。	• DVD-Video では特殊再生できないことがあります。 • 逆再生および逆方向のスロー再生がスムーズにできないディスクがあります。
通常の再生に戻ってしまう。	• チャプターの変わり目などで通常の再生に戻ってしまうことがあります。
特殊再生中の画質が悪い。	• コマ戻し再生中および逆方向のスロー再生中は画質が低下します。
再生一時停止の映像がブレている。	• [ポーズモード]を[フィールド]に切り換えてください。P.114

症 状	原 因／対 策
音声、字幕、アングル切り換え	
音声ボタン / 字幕ボタンを押しても音声 / 字幕が切り換わらない。	• 再生中に音声 / 字幕が切り換えられないディスクがあります。ディスクメニューで音声 / 字幕を切り換えてください。 P.51
再生中に字幕が表示されない。	• 早送り / 早戻し、コマ戻し再生中および逆方向のスロー再生中は字幕が表示されません。
再生中に音声が出力されない。	• 早送り / 早戻し中、コマ送り / コマ戻し中、およびスロー再生中は音声が出力されません。ただし、早送り 1 中のみ音声が出力されることがあります。
二カ国語の音声が切り換えられない。	• HDD では音声を切り換えることはできません。 • DVD-RW(VR) に録画モードを[FINE]または[MN32]に設定して録画されたタイトルでは、選んだ音声のみが記録されるため、再生中に音声を切り換えることはできません。 • DVD-R DVD-RW(Video) がセットされているときは切り換えることができません。 • LINE1 ～ 3 入力を選んでいるときは、[外部音声]を[二カ国語]に設定してください。ただし録画モードが[FINE]または[MN32]に設定されているときは音声を切り換えることはできません。 P.108 • ファンクションがデジタル 1 またはデジタル 2 のときは入力信号がデュアルモノラルフォーマットのときのみ音声を切り換えることができます。それ以外のときは、接続されている機器(BS チューナーなど)で操作を行ってください。 P.99
切り換えた音声 / 字幕が元に戻ってしまった。	• ディスクを取り出したとき、またはつづき再生機能を解除したときは[音声言語] P.110 / [字幕言語] P.110 の設定に戻ります。
音声を切り換えたとき音声がしばらく途切れた。	• 静止画再生中(スライドショー)は音声が途切れることがあります。
外部機器から二重音声(主音声と副音声)の収録されている映像を録画して再生したとき、主音声と副音声が重なって聞こえる。	• 外部機器から二カ国語放送などの二重音声の記録されている映像を録画するときは、必ず[外部音声]を[二カ国語]に設定してください。[ステレオ]に設定していると 2 つの音声(主音声 / 副音声)が重なって聞こえます。 P.108
(アングルマーク) が表示されたがアングルが切り換えられない。	• (アングルマーク) が表示されても切り換えられないディスクがあります。ディスクメニューで切り換えてください。 P.51
外部入力に接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか確認してください。 P.96 • リモコンの**音声入力ボタン**を押して、本機の入力を切り換えてください。 見開き
96kHz のデジタルオーディオが出力されない。	• コピー保護など、いくつかの DVD では 96kHz オーディオは出力しません。この場合 96kHz が選択されていても出力は自動的に 48kHz になります。 • [96kHzPCM 出力]の設定で[96kHz → 48kHz]が選択されていないか確認してください。 P.109 • 著作権保護がされているディスクでは 96kHz 音声のデジタル出力が禁止されています。
プレイモード	
「プレイモード再生」できない。 プレイモード画面が表示できない。	• DVD-Video によってはプレイモード再生ができません。 • DVD-Video のディスクメニュー表示中はプレイモード画面を表示できません。 • Video CD のPBC再生中はプレイモード画面を表示できません。PBC再生を解除してから操作してください。 P.53
サーチモード	
指定した時間にサーチできない。	• タイムサーチでは指定した時間より少しずれた位置から再生を始めることがあります。
A-B リピート再生	
A-B リピート再生ができない。	• HDD DVD-Video DVD-R DVD-RW(Video) では、タイトルをまたいだ A-B リピート再生ができません。 • A-B リピート再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。

症 状	原 因/対 策
消去と編集	
編集したタイトルが残っていない。	• 編集中に停電など電源がオフになったときは残りません。
タイトルを消去したが残量が増えない。	• DVD-R DVD-RW(Video) では、消去されたタイトルが表示されなくなるだけで、残量は増えません。ただし、DVD-RW(Video) の最後に録画したタイトルを消去したときのみ残量が増えます。 • DVD-RW(VR) では、オリジナルの約1分以上連続した映像を消去しないと残量は増えません。残量を増やすにはできる限り長い範囲の映像を消去することをお勧めします(短い範囲の映像をたくさん消去したときは、消去した映像の合計時間と残量が一致しないことがあります)。 • ダビングリストやプレイリストのタイトルを消去しても残量は変わりません。
消去や編集ができない。	• 録画中は消去や編集ができません。 • DVD-RW(VR) では、オリジナルでは5秒未満の映像を消去できないことがあります。 • HDD DVD-RW(VR) のオリジナルでは、消去によって隣り合わせになったチャプターは結合できません。 CHP1 CHP2 CHP3 ➡ CHP1 CHP3 ⇧ 消去 ⇧ 結合できません
編集部分の映像がずれる。	• 本機以外のDVDレコーダーで録画/編集したディスクを再生すると編集部分の映像が多少ずれることがあります。 • [シームレス再生]を[オン]に設定すると編集部分の映像が多少ずれることがあります。P.114
DVDプレーヤーまたは他のDVDレコーダーでタイトル名が正しく表示できない。	• お使いのDVDプレーヤーまたはDVDレコーダーが全角文字表示に対応しているか確認してください。 • タイトル名を全角文字で入力した DVD-R DVD-RW(Video) を全角文字表示に対応していないDVDレコーダーでファイナライズすると正しく表示されません。このディスクは本機でも正しく表示できませんのでご注意ください。
ダビング/ダビングリスト	
ダビングできない。	• DVD-RW(VR) に録画した「1回だけ録画可能」な映像を HDD にダビングすることはできません。
高速でダビングできない、またはダビング実行画面で録画モード[高速]を選べない。	• [フレーム編集]を[オン]に設定すると、DVD-R DVD-RW(Video) に高速でダビングできないことがあります。詳しくは『[フレーム編集]の設定によるダビングするときの制限([HDD→DVD])』をご覧ください。P.84 • DVD-R DVD-RW(Video) から HDD に高速でダビングすることはできません。 • 下記のようなタイトルを DVD から HDD に高速でダビングすることはできません(ダビングリストに追加して、高速ダビングを始めることはできますが、実際は HDD にダビングされていません)。 → [MN12]から[MN20]で直接録画したタイトルおよび等速でダビングしたタイトル → 二カ国語放送が録画されているタイトル → 「1回だけ録画可能」な映像が録画されているタイトル → プレイリストのタイトル 上記以外にも他のDVDレコーダーで録画したタイトルをダビングできないことがあります。
ダビングリストにタイトルを追加できない。	• DVD から HDD にダビングするときは、8時間を超えるタイトルをダビングリストに追加することはできません。 • 下記のときは、HDD に録画した「1回だけ録画可能」な映像を含むタイトルはダビングリストに追加できません。 → [フレーム編集]が[オフ]に設定されているとき → すでに「1回だけ録画可能」な映像を含むタイトルがダビングリストに追加されているとき(すでに追加されている「1回だけ録画可能」なタイトルを消去すると、再度追加することができます)

症 状	原 因／対 策
ダビング / ダビングリスト	
「1 回だけ録画可能」な映像をダビングできない。	• HDD に録画した「1 回だけ録画可能」な映像を DVD にダビングするには、[フレーム編集]を[オン]に設定してダビングリストを作成したあとに、Ver.1.1 CPRM対応の DVD-RW(VR) にダビングしてください。 ただし、ダビングされたタイトルは HDD から消去されます。また、タイトルが保護されているときはダビングが実行されません。
ワンタッチダビング	
ワンタッチダビングできない。	• 下記のときはワンタッチダビングできません。 → ダビング先の残量が足りないとき → ダビング先が録画中のとき **ダビング先が HDD のとき** → タイトル数がすでに 999 になっているとき → 他機で作成したDVDのタイトル(再生中に<PLAY>と本体表示窓に表示されるタイトルなど)をダビングしようとしたとき **ダビング先が DVD のとき** → タイトル数がすでに 99 になっているとき → 録画できないディスク(ファイナライズ済みの DVD-R DVD-RW(Video) など)がセットされているとき → 「1 回だけ録画可能」な映像を DVD-R DVD-RW(Video) にダビングしようとしたとき → [LP]、[EP]、[SLP]、[MN1]～[MN18]で録画した16：9(ワイド)の映像を DVD-R DVD-RW(Video) にダビングしようとしたとき → 16：9(ワイド)と4：3の映像が混在したタイトルを DVD-R DVD-RW(Video) にダビングしようとしたとき
ディスクバックアップ	
HDD にバックアップできない。	• HDD 残量が足りないときはバックアップできません。 • ファイナライズ済の DVD-R DVD-RW(Video) 以外のディスク内容はバックアップできません。
書き込みが始まらない。	• 下記のときは始まりません。 → 書き込み先がファイナライズ済の DVD-RW(Video) のとき → [ディスク保護]が[オン]に設定されているディスクがセットされているとき P.116 → ディスク内容より少ない容量のディスクに書き込みしようとしたとき → 書き込み先が使用済の DVD-R のとき
サラウンド	
ルーム設定が切り換えられない。	•「アナログアウトモード」 P.101 が[A.Out Fix]に設定されているときは「ルーム設定」を切り換えることはできません。
ワイヤレスサラウンドモードが切り換えられない。	•「ワイヤレスモード」 P.88 が[W.Stereo]に設定されているときは、「ワイヤレスサラウンドモード」を切り換えることはできません。
マルチチャンネル再生にならない。	• テストトーンを出力して、すべてのスピーカーからテストトーンが出力されているか確認してください。 P.23
サラウンドモードまたはアドバンスドサラウンドモードが切り換えられない。	• 下記のときは音質を切り換えることはできません。 ▼ 88.2/96kHz リニア PCM 信号を再生しているとき ▼ 「アナログアウトモード」 P.101 が[A.Out Fix]に設定されているとき
スピーカーの出力レベルを調整できない	• ヘッドホンを接続しているときは出力レベルを調整することはできません。 •「リスニングモード」 P.86 が 2.1ch のモードに設定されているときは、センターおよびサラウンドチャンネルの出力レベルを調整することはできません。

症 状	原 因／対 策
サラウンド	
BS デジタルチューナーからの音が、マルチチャンネル再生にならない。	• 正しく接続されているか確認してください。P.97 • BSデジタルチューナー（またはBSデジタルチューナー内蔵テレビ）の音声出力設定で、MPEG-2 AAC 信号を出力するように設定してください。 • 放送がマルチチャンネル放送（5.1ch）か確認してください。ステレオ放送やモノラル放送のときは、「リスニングモード」P.86 を 5.1ch のモードに切り換えてください。
音質を調整できない	•「アナログアウトモード」P.101 が[A.Out Fix]に設定されているときは、下記の音質を調整することはできません。 ▼ ダイアログ効果　▼ バスモード　▼ ダイナミックレンジコントロール • 下記のときは「ダイアログ効果」を切り換えることはできません。 ▼ 88.2/96kHz リニア PCM 信号を再生しているとき ▼ MPEG-2 AAC 信号が入力されているとき • ヘッドホンを接続していて、「アナログアウトモード」P.101 が[A.Out Fix]に設定されているときは、低音 / 高音を調整することはできません。 • ヘッドホンを接続しているときは、「バスモード」を調整することはできません。
ラジオ	
放送が聞こえない、聞き苦しい。	• アンテナが正しく接続されているか確認してください。P.19 • アンテナの向きや位置を調整してください。 •「ノイズカット」の設定を変更してください。P.95 • 雑音を発生させる電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）の使用をやめてください。 • AM放送を聞くときはテレビまたはプラズマディスプレイの電源をオフにしてください。
FM 放送がステレオなのにステレオにならない。	• 本体表示窓に <MONO> が点灯しているときは、「FM モード」の設定を[FM Auto]にしてください。P.94
本体 / ディスク設定	
項目が灰色で表示された。	• 変更できない、または実行できない項目は灰色で表示されます。また、本機の動作状態により選べる項目が異なります。
初期化できない。	• DVD-R は初期化できません。
ディスク一覧	
ディスク一覧からディスクの内容が削除された。	• 30 枚を超えると古いディスクから順に自動で削除されます。 • DVD-R DVD-RW(Video) はファイナライズするとディスク一覧から削除されます。
ディスク情報表示	
[!]が表示された。	•「1 回だけ録画可能」な映像を録画して再生すると表示されます。P.126
[#]が表示された。	• 24コマ/秒で記録されたフィルム素材の映像を再生中に表示されます。P.126
録画または再生時間が実際の時間より短く表示される。	• 本機の録画/再生時間は、実際の録画/再生時間より0.1%程度短く表示されます。放送などの映像では、1秒当たり29.97フレームの映像が送られてきます。本機では、便宜上30フレームを1秒として計算しています。このため、約0.1%時間が短く表示されます。たとえば、1 時間録画をすると実際に 1 時間録画されますが、本機の時間表示は $60(分) \times \frac{29.97}{30} = 59.94(分) = 59(分)56(秒)$ となります。
その他	
画面が止まり、操作を受け付けない。	• 再生中にこの症状が出たときは本体またはリモコンの**停止 ■ ボタン**を押してから再度再生してください。**停止 ■ ボタン**を受け付けないときは、本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**を押して電源をオフにしてから再度電源を入れ直してください。本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**を受け付けないときは、10 秒以上押し続けると電源がオフになります。

各部の名前とはたらき / 接続 / ホームシアター入門 / 録画 / 再生 / 消去と編集 / ダビング / サラウンド / ラジオ / 外部機器との接続 / 応用設定 / 故障かな？と思ったら / その他

症状	原因／対策
その他	
電源コードを抜いたあと、または停電が復帰したあとに時計が表示されない(時計が[−−:−−]と表示される)。	• 工場出荷後約5年間は、内蔵電池によって停電したあとも時計を保持(バックアップ)します。電池が消耗すると停電したときに時計の保持ができません。停電したあとは時計を合わせてください。P.107 内蔵電池の交換についてはお買い求めの販売店または修理受付センターにご相談ください。P.156
DVDとCDで音量差を感じる。	• ディスクの記録方式の違いにより音量差を感じることがあります。
設定した内容が消えてしまった。	• 本体の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**、またはリモコンの**電源 ⏻ ボタン**を押して、本体表示窓の <POWER OFF> 表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットから電源コードを接続しているときはご注意ください。 • 2、3日、電源コードを抜いたままにしておくと、設定項目によっては内容がクリアされてしまいます。再設定してください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むで正常動作になる場合があります。それでも正常に動作しない場合は『保証とアフターサービスについて』P.153 をお読みのうえ、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、『保証とアフターサービスについて』P.153 をお読みのうえ、修理受付センター P.156 に点検をご依頼ください。

注 意

この製品はJIS C 6802規格の基で評価されたクラス1レーザ製品ですが、内部にはクラス1のレベルを超える危険なレーザ放射があります。
分解や改造などは絶対に行わないでください。

クラス1
レーザ製品

危険なレーザ放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

注意　ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。
ARW7316−A

D3-7-12-5-5_Ja

こんな表示が出たら

表示	原因／対処
テレビ画面	
■ ディスクを初期化しています。 約 1 分ほどお待ちください。	未使用の DVD-RW をセットすると自動で初期化を始めます。
■ リージョン No. が合っていません。	DVDプレーヤーと DVD-Video には地域番号(リージョンNo.)が設けられています。左記内容が表示されるディスクは、本機(日本向け)で設定された番号(2 番)を含んでいないため再生できません。
■ これ以上タイトルを録画できません。	• タイトル数が一杯です。不要なタイトルを消去してください。 P.62 • 予約録画中にタイトル数が一杯になり、自動で録画が停止したときに表示されます。
■ 管理情報が一杯です。 ■ これ以上チャプターマークを追加できません。	チャプター数、またはその他の管理情報が一杯です。不要なタイトルの消去 P.62 や前後のチャプターの結合 P.69 などを行ってください。
■ このディスクは録画できません。 ファイナライズ解除してください。	他社DVDレコーダーでファイナライズされたディスクに録画しようとしたときに表示されます。[ディスク設定]の[ファイナライズ解除]を実行してください。P.116
■ 本機で対応していないディスク、または読込みできないディスクです。 ■ このディスクは再生できません。 ■ このディスクは録画できません。 ■ CPRM 情報が正しく読めません。 ■ ディスクに情報を記録できませんでした。 ■ 編集できませんでした。 ■ 初期化できませんでした。 ■ 正しくファイナライズできませんでした。 ■ 正しくファイナライズ解除できませんでした。 ■ 正しくディスク保護解除できませんでした。	• ディスクに傷 / 汚れなどが付いている可能性があります。ディスクをクリーニングしてから、再度ディスクをセットしてください。それでも左記の内容が表示されるときは、新しいディスクと交換してください。ディスクを交換しても表示されるときは『保証とアフターサービスについて』 P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。 • 本機で対応していないディスク(DVD+RW/DVD+R/DVD-RAMなど)の可能性があります。
■ CPRM 非対応ディスクには録画できません。 ■ この映像はビデオモードでは録画できません。	「1 回だけ録画可能」な映像を録画しようとしています。「1 回だけ録画可能」な映像は、 HDD またはCPRM対応の DVD-RW(VR) にのみ録画することができます。詳しくは『本機で録画できるディスクの種類』 P.48 をご覧ください。
■ 録画禁止の映像がありました。 [画面表示]を押すと、この表示は消えます。	「録画禁止」の映像を録画しようとしたときに表示されます(このとき、録画禁止の部分は録画されません)。
■ CPRM 情報が正しくありません。	CPRM情報を正しく読み取れないときに表示されます。故障の可能性もありますので『保証とアフターサービスについて』 P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
■ 音声は「二カ国語時記録音声」の設定にしたがいます。	録画モードを[FINE]または[MN32]に設定しているときは、音声がリニアPCM で記録されます。このとき二カ国語の音声は、[二カ国語時記録音声] P.109 で設定したどちらか一方の音声しか記録されません。
■ ディスクを修復しています。	録画中に停電などで電源が切れ、次回電源が入ったときに表示されます。
■ ディスクを修復できませんでした。	録画中に電源が切れたあとで行われるディスク修復に失敗したときに表示されます。この場合、そのときに録画していたタイトルは失われることがあります。
■ DVD の管理情報が一杯になりました。 ■ HDD の管理情報が一杯になりました。	録画中に管理情報が一杯になり、自動で録画が停止したときに表示されます。

表示	原因／対処
テレビ画面	
■ チャンネルが設定されていません。本体設定から自動チャンネル設定を行ってください。	[自動チャンネル設定]でチャンネルを設定してください。P.119
■ 指定した地域での番組表取得チャンネルが受信できません。	指定した地域のホスト局が受信できていません。他の地域のホスト局を受信できるときは、その地域を指定してチャンネルを設定すると番組表を受信できます。
■ HDD 情報が正しくありません。	HDD情報を正しく読み取れないときに表示されます。HDDが故障している可能性があります。『保証とアフターサービスについて』P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
■ 辞書情報が正しくありません。	番組表のキーワード検索に使う辞書情報が正しくないときに表示されます。『保証とアフターサービスについて』P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
■ １つのタイトルとして録画できる時間を超えたので録画を停止しました。	HDD では、１タイトルとして記録できる時間が約８時間に制限されています。約８時間を超えると自動で録画を停止します。
■ HDD 情報が正しくありません。ディスク設定から HDD 初期化を行ってください。	HDD 情報を正常に読み取れないため、録画などができない状態になっています。 HDD を初期化すると再度録画などができる可能性があります([HDD 初期化] P.116)。ただし、HDD を初期化すると、保護されているタイトルを含めすべての録画内容が消去されます。
■ 温度上昇により、動作を停止しました。[画面表示]を押すと、この表示は消えます。	本体内部の温度が制限値を越えた場合に表示されます。繰り返し表示される場合は『保証とアフターサービスについて』 P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
■ HDD の最適化を行うことをお奨めします。ディスク設定で設定することができます。	HDD の最適化をお奨めします。[ディスク設定] P.117 で設定してください。
■ HDD の最適化を行ってください。ディスク設定で設定することができます。	このまま使い続けるとHDD情報を正しく読み出せなくなります。HDDを最適化してください。[ディスク設定] P.117 で設定してください。
■ HDDの最適化が不十分です。もう一度実行してください。	HDDの最適化を実行しているのに何度も表示されるときは、HDDの最適化を実行するためのHDD 領域が不足しています。タイトルを消去してください。P.62
本体表示窓	
■ TIMER RDY	録画開始時刻の約２分前になると表示されます。本機は予約待機状態になり、操作が制限されます。再生、編集、または各種設定を行っているときは、強制的に操作を終了して予約待機状態になります。
■ CODE ERROR	• 入力した G コード番号が間違っていないか確認してください。 • ガイドチャンネルが設定されているか確認してください。P.121
■ CAN' T SET	入力した G コード番号の番組がすでに終了してないか確認してください。
■ LSI NG	故障している可能性があります。『保証とアフターサービスについて』P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
■ EPG	番組表(EPG)データを受信中に表示されます。
■ A.Out Fix	「アナログアウトモード」が[A.Out Fix]に設定されているときに、下記の操作をすると表示されます。「アナログアウトモード」を[A.Out Norm]に設定してから操作してください。P.101 ▼ サラウンドモード　▼ アドバンスドサラウンドモード ▼ ダイアログ効果　▼ テストトーン　▼ システム設定

表 示	原 因／対 処
本体表示窓	
■ Child Lock	「チャイルドロック」が設定されています。解除してから操作してください。 P.126
■ Phones In	ヘッドホンを接続しているときに、下記の操作をすると表示されます。 ▼ テストトーン　▼ CH レベル
■ 96k Stereo	88.2/96kHzリニアPCM信号を入力しているときに、下記の操作をすると表示されます。 ▼サラウンドモード　▼アドバンスドサラウンドモード ▼ダイアログ効果
■ MPEG-2 AAC	MPEG-2 AAC信号を入力しているときに、「ダイアログ効果」を操作すると表示されます。
■ Muting	消音中にテストトーンボタンを押すと表示されます。
■ Exit	各種メニューを表示中に、そのメニューを表示することが禁止されている信号が入力されたときに表示され、通常表示に戻ります。
■ Sound Demo	本体の■**ボタン**を５秒間押し続けてください。ディスクトレイが自動で開いて通常の表示に戻ります。
■ Can' t Use	HDDまたはDVD以外のファンクションを選んでいるときに**録画●ボタン**、**録画停止□ボタン**、**Gコードボタン**を押すと表示されます。ファンクションを HDD または DVD に切り換えて操作してください。
■ Recording	録画中にHDDまたはDVD以外のファンクションを選んでいると電源をオフにできません。ファンクションをHDDまたはDVDに切り換えて録画を停止してください。
■ Cable Check	システムケーブルやサブウーファーの電源コードが抜けているときに表示されます。再度接続を確認してください。
■ S.W Error	スピーカー部の異常または故障の可能性があります。本体の ⏻ **STANDBY/ONボタン**、またはリモコンの**電源** ⏻ **ボタン**を押して本機の電源をオフにして、本体とサブウーファーの電源コードを抜いてください。スピーカーコードがスピーカー端子からはみ出してリアパネルとショートしていないか、サブウーファーのリアにあるファンに異物がはさまっていないか確認してください。再度本体とサブウーファーの電源コードを差し込んでから１分後に本体の ⏻ **STANDBY/ONボタン**、またはリモコンの**電源** ⏻ **ボタン**を押して本機の電源をオンにしてください。それでも正常に動作しない場合は『保証とアフターサービスについて』 P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
■ DIC ERR	番組表のキーワード検索に使う辞書情報が正しくないときに表示されます。『保証とアフターサービスについて』 P.153 をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
■ HDD ERR	HDD に異常があるときに表示されます。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率です。従来サイズのテレビは画面の比率が４：３です。ハイビジョンテレビやワイドテレビは画面の比率が16:9となっているので臨場感あふれる映像を楽しむことができます。

アッテネーター
「減衰器」とも呼ばれ、外部機器から入力した信号を正確に減衰させるための回路です。出力音声が歪んでいる場合、改善することができます。

インターレース(飛び越し走査)
映像の１画面を半分ずつ２回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常は、解像度の数字の後ろに“ｉ”を付けて(525i など)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

オリジナル
たとえば、ある１つのテレビ番組を録画するとディスクにその番組の映像が記録されます。この実際に録画された映像のことをオリジナルと呼びます。また、１回の録画をタイトルと呼びます。

音声言語
DVD ビデオには１枚の中に複数の音声が記録されているディスクがあります(最大8言語(8ストリーム)の音声を記録することができます)。記録されている音声を切り換えて再生することができます。

拡張子
OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ファイル名のピリオドより後ろの部分です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限のレベル(大小)が設けられたディスクがあります。本機の視聴制限のレベルをディスクのレベルよりも小さく設定すると再生するときに暗証番号の入力が必要になります。

字幕言語
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVD ビデオには1枚の中に複数の字幕が記録されているディスクがあります(最大32カ国語まで記録することができます)。記録されている字幕を切り換えて再生することができます。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジはデシベル(dB)単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮すると最小の信号レベルが上がり最大の信号レベルが下がります。これにより、高いレベル音声信号（破裂音など）が低減され、低いレベルの音声信号（人の声など）がはっきりと聞こえるようになります。

■プロロジックとプロロジックIIの違い

	プロロジック	プロロジックII
効果的なソース	ドルビーサラウンドエンコード処理されたステレオ音声	すべてのステレオ音声
デコードチャンネル数	4.1ch (サラウンドモノラル)	5.1ch (サラウンドステレオ)
周波数特性	サラウンド 7kHz帯制限	全チャンネル フルバンド

デコード
ドルビーデジタル、DTS、MPEG-2 AACなどの圧縮されたデジタル信号を解凍して再生することです。

ドルビー※1デジタル
DOLBY DIGITAL PRO LOGIC II

DVD の標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトや現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトがあります。ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトには、５つのチャンネルにそれぞれのシーンに合った音声が個別で記録されています。また、サブウーファーから出力される低音も記録されています。

ドルビープロロジックサラウンド再生
2ch サラウンド信号や 2ch ステレオ信号をドルビープロロジック回路を通し、マルチチャンネルサラウンドで再生することです。2chサラウンド信号については圧縮された信号を忠実にデコード（再生）し、2ch ステレオ信号については2チャンネル分の信号からセンター、サラウンドチャンネルの信号を作り出します。ただし、この再生方式ではサラウンドチャンネルはモノラルであるため、左右のサラウンドスピーカーからは同じ音声が出力されます。

ドルビープロロジック II サラウンド再生
ドルビープロロジックIIは、ドルビープロロジックをさらに改良し、ステレオ音声を5.1chに拡張して再生するためのマトリックスデコード技術です。ステアリングロジック回路により、全可聴帯域のメイン5chを作り出します。CD のような通常のステレオ音楽素材に対してもより優れた立体音場効果、包囲感、より明確な定位をもたらし、ドルビーサラウンドエンコードされた素材はディスクリート5.1chに匹敵する移動感をも実現できるものです。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

ビデオモード
市販のDVDビデオと同じ記録方式です。本機で録画した映像を他の DVD プレーヤー、DVD レコーダー、または DVD ビデオ対応パソコンで再生することができます。他のDVDプレーヤーなどで再生するにはファイナライズという処理が必要です。

プレイリスト
オリジナルの映像をもとに作成した編集用の映像のことをプレイリストと呼びます。オリジナルの映像をお好みの順番に並び換えて再生することができます。
プレイリストのタイトルを編集してもオリジナルの映像には影響がありません。また、プレイリストの中にいくつタイトルやチャプターを作成してもディスク残量は減りません。DVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することができません。

プログレッシブ(順次走査)
映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、または横線などの多い画像でチラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。通常、解像度の数字の後ろに“ p ”を付けて(525p など)表記します。

マルチアングル
舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大９つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。アングルマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルで楽しむことができます。

マルチ音声言語
DVDビデオの中には、1 枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大８言語（8 ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語（サブタイトル）
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVD ビデオでは字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

マルチチャンネルサラウンド再生
3本以上のスピーカーでサラウンド再生することです。音声信号が3チャンネル以上の録音方式で記録されているソフトについてはソフトに忠実に再生します。なかでも5.1chサラウンド信号の再生については、左右のサラウンドスピーカーからもそれぞれ異なる音声が出力されるので、ドルビープロロジックサラウンド再生に比べ、より立体感のある音場で迫力のある臨場感がお楽しみいただけます。

リージョン No.

ディスクの地域番号です。DVDレコーダーまたはDVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がお使いのDVDレコーダーまたはDVDプレーヤーに設定されている番号に含まれていないときは、そのディスクを再生することができません。本機(日本向け)で再生できるディスクの地域番号は2番ですので、地域番号が"2"を含むか"ALL"となっているディスクのみ再生することができます。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオによく使用されます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

D 映像端子

デジタル放送に対応したテレビなどに装備されている映像信号(Y、CB/PB、CR/PR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DTS※2

DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

Exif(エグジフ)

Exchangeable Image File Formatの略です。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

GUI

Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

JPEG

ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには".jpg"".JPG"".jif"".JIF"".jfif"".JFIF"".JPEG"または".jpeg"という拡張子が付きます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3

MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。".mp3"".MP3"という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

MPEG(エムペグ)

Moving Picture Experts Groupの略です。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDビデオの映像やビデオCDの映像/音声はこの方式で記録されています。DVDビデオには、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているディスクもあります。

MPEG-2 AAC(Advanced Audio Coding)

MPEG-2オーディオの標準方式の一つで、地上デジタルまたはBSデジタル放送で採用されている音声符号化規格です。低ビットレートでかつ高音質を確保できる点が特長で、番組内容によりマルチチャンネル設定が可能なフォーマットです。以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

PBC(プレイバックコントロール)
再生をコントロールするための信号です(ビデオCD(バージョン2.0)に記録されています)。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクを再生することができます。また、高/標準解像度の静止画を楽しむこともできます。

S1/S2 映像出力
S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったS映像信号です。
S2とはS1に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

VRモード
VRはVideo Recording(ビデオレコーディング)の略です。DVD-RWの基本記録方式で、録画または消去を繰り返し行うことができます。また、部分消去などの編集も行うことができます。

WMA
Windows Media™Audioの略です。これは米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.9またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると正常に動作しないことがあります。

3/2.1CH
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。
例）5.1CHの場合
- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE※3チャンネル[1CH × 0.1※4 = 0.1CH]

GUI画面には下記のように表示されます。

※1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、ダブルD記号及びAACロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。

※2 "DTS" および "DTS Digital Surround" は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。

※3 重低音強調効果の意

※4 音声全体に対して低音が占める割合

番組表対応放送局一覧

(2004年6月現在)

地域名	札幌、小樽、旭川、名寄、稚内、室蘭、苫小牧、函館、釧路		帯広、網走、北見		青森、八戸、むつ		盛岡、釜石、二戸		仙台、石巻、気仙沼		秋田、大館、大曲		山形、鶴岡、米沢	
対応放送局	HBC	1	NHK教育	90	青森放送	1	NHK総合	80	TBC	1	NHK教育	90	NHK教育	90
	NHK総合	80	UHB	27	NHK総合	80	IBC	6	NHK総合	80	秋田朝日	31	TUY	36
	STV	5	HTB	35	青森朝日	34	NHK教育	90	NHK教育	90	NHK総合	80	NHK総合	80
	UHB	27	STV	5	NHK教育	90	テレビ岩手	35	東日本放送	32	秋田放送	11	山形放送	10
	HTB	35	NHK総合	80	青森テレビ	38	IAT	20	宮城テレビ	34	秋田テレビ	37	SAY	30
	TVh	17	HBC	1			めんこい	33	仙台放送	12			山形テレビ	38
	NHK教育	90	TVh	17										

地域名	福島、いわき、会津若松		水戸、日立		宇都宮、矢板		前橋、桐生		さいたま		熊谷、秩父		千葉	
対応放送局	NHK教育	90	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80
	TUF	31	NHK教育	90	NHK教育	90	NHK教育	90	MXTV	14	NHK教育	90	MXTV	14
	福島中央TV	33	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	NHK教育	90	日本テレビ	4	NHK教育	90
	NHK総合	80	TBS	6	TBS	6	TBS	6	日本テレビ	4	TBS	6	日本テレビ	4
	福島放送	35	フジテレビ	8	フジテレビ	8	フジテレビ	8	TBS	6	フジテレビ	8	TBS	6
	福島テレビ	11	テレビ朝日	10	テレビ朝日	10	テレビ朝日	10	フジテレビ	8	テレビ朝日	10	フジテレビ	8
			テレビ東京	12	テレビ東京	12	群馬テレビ	48	テレビ朝日	10	テレビ埼玉	38	テレビ朝日	10
			MXTV	14	とちぎTV	23	テレビ東京	12	テレビ埼玉	38	テレビ東京	12	ちばテレビ	46
			ちばテレビ	46	MXTV	14	MXTV	14	テレビ東京	12			テレビ東京	12
							テレビ埼玉	38					TVK	42

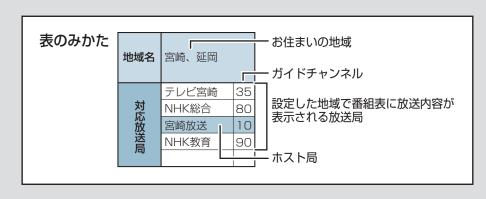
地域名	銚子		東京(23区)、八王子、多摩		横浜1、横浜2、平塚、秦野、小田原		甲府		長野1、長野2、松本、飯田、岡谷・諏訪		新潟、上越		富山、高岡	
対応放送局	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	テレビ21	21	北日本放送	1
	NHK教育	90	MXTV	14	NHK教育	90	NHK教育	90	長野朝日	20	テレビ新潟	29	NHK総合	80
	日本テレビ	4	NHK教育	90	日本テレビ	4	山梨放送	5	テレビ信州	30	BSN	5	富山テレビ	34
	TBS	6	日本テレビ	4	TBS	6	UTY	37	長野放送	38	NHK総合	80	NHK教育	90
	フジテレビ	8	TBS	6	フジテレビ	8			NHK教育	90	新潟総合TV	35	チュリップ	32
	テレビ朝日	10	テレビ埼玉	38	テレビ朝日	10			SBC	11	NHK教育	90		
	ちばテレビ	46	フジテレビ	8	TVK	42								
	テレビ東京	12	TVK	42	テレビ東京	12								
	TVK	42	テレビ朝日	10	MXTV	14								
			ちばテレビ	46										
			テレビ東京	12										

地域名	金沢、七尾		福井、敦賀		岐阜、高山、豊橋、豊田、中津川、名古屋		静岡、浜松、富士、三島・沼津、島田、藤枝		津、伊勢、名張		大津、彦根		京都、舞鶴、福知山、大阪	
対応放送局	石川テレビ	37	NHK教育	90	東海テレビ	1	NHK教育	90	東海テレビ	1	NHK総合	80	NHK総合	80
	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	静岡第一	31	NHK総合	80	毎日放送	4	サンテレビ	36
	北陸放送	6	福井放送	11	CBC	5	朝日テレビ	33	CBC	5	朝日放送	6	毎日放送	4
	NHK教育	90	福井テレビ	39	中京テレビ	35	テレビ静岡	35	中京テレビ	35	京都テレビ	34	朝日放送	6
	テレビ金沢	33			NHK教育	90	NHK総合	80	NHK教育	90	関西テレビ	8	関西テレビ	8
	北陸朝日	25			岐阜放送	37	静岡放送	11	三重テレビ	33	読売テレビ	10	テレビ大阪	19
					メ～テレ	11			メ～テレ	11	びわ湖放送	30	読売テレビ	10
					テレビ愛知	25			テレビ愛知	25	NHK教育	90	NHK教育	90
					三重テレビ	33							京都テレビ	34

地域名	神戸、神戸灘、川西、三木、姫路、明石		奈良、五條		和歌山、海南・田辺		鳥取		松江、浜田		岡山、津山、笠岡		広島、福山、尾道、呉	
対応放送局	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK総合	80	日本海TV	1	日本海TV	1	TVせとうち	23	TSS	31
	サンテレビ	36	奈良テレビ	55	TV和歌山	30	NHK総合	80	NHK総合	80	NHK教育	90	NHK総合	80
	毎日放送	4	毎日放送	4	毎日放送	4	NHK教育	90	山陰中央	34	NHK総合	80	RCC	4
	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送	6	山陰中央	34	BSS	10	KSB	33	NHK教育	90
	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	BSS	10	NHK教育	90	OHK	35	広島ホーム	35
	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10					西日本放送	9	広島テレビ	12
	テレビ大阪	19	NHK教育	90	NHK教育	90					RSK	11		
	NHK教育	90	テレビ大阪	19										
			サンテレビ	36										
			京都テレビ	34										

地域名	山口、下関、宇部、岩国		徳島		高松、丸亀		松山、新居浜、今治、宇和島		高知		福岡、久留米、大牟田、北九州、行橋		佐賀1（ホスト局が「RKB毎日」の場合）	
対応放送局	NHK教育	90	四国放送	1	TVせとうち	23	NHK教育	90	NHK総合	80	KBC	1	NHK教育	90
	山口朝日	28	NHK総合	80	NHK教育	90	あいテレビ	29	NHK教育	90	NHK総合	80	KBC	1
	テレビ山口	38	毎日放送	4	NHK総合	80	NHK総合	80	高知放送	8	RKB毎日	4	RKB毎日	4
	NHK総合	80	朝日放送	6	KSB	33	テレビ愛媛	37	KUTV	38	NHK教育	90	TVQ	19
	山口放送	11	関西テレビ	8	OHK	35	愛媛朝日	25	KSS	40	TNC	9	STS	36
			NHK教育	90	西日本放送	9	南海放送	10			TVQ	19	NHK総合	80
					RSK	11					FBS	37	FBS	37

地域名	佐賀1、佐賀2（ホスト局が「熊本放送」の場合）		長崎、佐世保、諫早		熊本		大分、中津		宮崎、延岡		鹿児島、阿久根、鹿屋		沖縄	
対応放送局	NHK教育	90	NHK教育	90	NHK教育	90	NHK総合	80	テレビ宮崎	35	MBC	1	NHK総合	80
	KBC	1	NHK総合	80	熊本朝日	16	OBS	5	NHK総合	80	NHK総合	80	QAB	28
	熊本放送	11	NBC	5	KKT	22	TOS	36	宮崎放送	10	NHK教育	90	OTV	8
	TVQ	19	長崎国際	25	TKU	34	OAB	24	NHK教育	90	鹿児島放送	32	RBC	10
	STS	36	長崎文化	27	NHK総合	80	NHK教育	90			KTS	38	NHK教育	90
	NHK総合	80	テレビ長崎	37	熊本放送	11					鹿児島読売	30		
	FBS	37												

地域名	全国	
対応放送局	WOWOW	73
	NHK衛星1	74
	NHK衛星2	76

- 放送局名は番組表に表示される全角５文字以内で記載しています。
- Ｇコード予約するときの各地域の放送局は、『地域別地域コード・放送局一覧』 P.148 で確認してください。

地域別地域コード・放送局一覧

地上デジタル放送の開始によって、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更されたときは、[個別チャンネル設定] P.120 で該当する放送局の受信チャンネルを変更してください。

	地域	地域コード	表示チャンネルと放送局名 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	HBC 1/1		NHK総合 3/80	TVh 17/17	STV 5/5			UHB 27/27		HTB 35/35		NHK教育 12/90
北海道	小樽	002		NHK教育 2/90		HTB 4/35		TVh 24/17	STV 7/5	UHB 26/27	HBC 9/1		NHK総合 11/80	
北海道	旭川	003		NHK教育 2/90		TVh 33/17			STV 7/5	UHB 37/27	NHK総合 9/80	HTB 39/35	HBC 11/1	
北海道	名寄	004				NHK総合 4/80		STV 6/5	HTB 24/35	UHB 26/27		HBC 10/1		NHK教育 12/90
北海道	稚内	005		NHK教育 30/90		HTB 24/35			STV 22/5	UHB 26/27	NHK総合 28/80	HBC 10/1		
北海道	室蘭	006		NHK教育 2/90				TVh 29/17	STV 7/5	UHB 37/27	NHK総合 9/80	HTB 39/35	HBC 11/1	
北海道	苫小牧	007		NHK教育 49/90				TVh 47/17	STV 57/5	UHB 53/27	NHK総合 51/80	HTB 61/35	HBC 55/1	
北海道	函館	008				NHK総合 4/80	TVh 21/17	HBC 6/1	HTB 35/35	UHB 27/27		NHK教育 10/90		STV 12/5
北海道	帯広	009				NHK総合 4/80		HBC 6/1	HTB 34/35	UHB 32/27		STV 10/5		NHK教育 12/90
北海道	釧路	010		NHK教育 2/90				HTB 39/35	STV 7/5	UHB 41/27	NHK総合 9/80		HBC 11/1	
北海道	網走	011	HBC 1/1		NHK総合 3/80		STV 5/5		HTB 35/35	UHB 27/27				NHK教育 12/90
北海道	北見	012		NHK教育 2/90				HTB 61/35	STV 7/5	UHB 59/27	NHK総合 9/80		HBC 53/1	
青森	青森	013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90			UHB 27/27			HTB 35/35	青森テレビ 38/38
青森	八戸	014		IBC 2/6	テレビ岩手 37/35	青森朝日 31/34	STV 12/5		NHK教育 7/90	UHB 27/27	NHK総合 9/80	めんこい 29/33	青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
青森	むつ	015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34				青森放送 10/1	青森テレビ 58/38	NHK教育 12/90
岩手	盛岡	016	TBC 1/1	めんこい 33/33	テレビ岩手 35/35	NHK総合 4/80		IBC 6/6	東日本放送 32/32	NHK教育 8/90	宮城テレビ 34/34	青森テレビ 38/38	IAT 31/20	仙台放送 12/12
岩手	釜石	017		NHK総合 2/80	テレビ岩手 58/35						めんこい 60/33	IBC 10/6	IAT 62/20	NHK教育 12/90
岩手	二戸	018		IBC 2/6	テレビ岩手 37/35		NHK総合 5/80				めんこい 29/33		IAT 61/20	NHK教育 12/90
宮城	仙台	019	TBC 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
宮城	石巻	020	TBC 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
宮城	気仙沼	021		NHK総合 2/80		TBC 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田	022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
秋田	大館	023	青森放送 1/1			NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
秋田	大曲	024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37
山形	山形	025				NHK教育 4/90		TUY 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10	SAY 30/30	山形テレビ 38/38
山形	鶴岡	026	山形放送 1/10		NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		TUY 22/36			SAY 24/30	山形テレビ 39/38
山形	米沢	027				NHK教育 50/90		TUY 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10	SAY 60/30	山形テレビ 58/38
福島	福島	028	TBC 1/1	NHK教育 2/90		TUF 31/31		福島中央TV 33/33	東日本放送 32/32	宮城テレビ 34/34	NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	仙台放送 12/12
福島	いわき	029	TBC 1/1	TUF 62/31		NHK総合 4/80		福島中央TV 34/33	東日本放送 32/32	福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90	仙台放送 12/12	福島放送 60/35
福島	会津若松	030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	TUF 47/31		福島テレビ 6/11	東日本放送 32/32	福島中央TV 37/33	宮城テレビ 34/34	福島放送 41/35		仙台放送 12/12
茨城	水戸	031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4	放送大学 16/16	TBS 40/6		フジテレビ 38/8	ちばテレビ 39/46	テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
茨城	日立	032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮	033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4	放送大学 16/16	TBS 23/6		フジテレビ 21/8	とちぎTV 31/23	テレビ朝日 19/10	群馬テレビ 48/48	テレビ東京 17/12
栃木	矢板	034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8	とちぎTV 33/23	テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12

表のみかた

放送局名←NHK総合　52→受信チャンネル　80→ガイドチャンネル

表示チャンネル　番組表のホスト局

メモ　番組表のホスト局が受信できないときは、番組表の取得ができません。

	地域	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
群馬	前橋	035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	**TBS 56/6**	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8	テレビ埼玉 38/38	テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
群馬	桐生	036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	**TBS 37/6**	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
埼玉	さいたま	037	NHK総合 1/80	MXTV 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	**TBS 6/6**	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	ちばテレビ 46/46	テレビ朝日 10/10	群馬テレビ 48/48	テレビ東京 12/12
埼玉	熊谷	038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		**TBS 23/6**	テレビ埼玉 28/38	フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10		テレビ東京 17/12
埼玉	秩父	039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		**TBS 55/6**	テレビ埼玉 47/38	フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
千葉	千葉	040	NHK総合 1/80	MXTV 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	**TBS 6/6**	TVK 42/42	フジテレビ 8/8	ちばテレビ 46/46	テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
千葉	銚子	041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		**TBS 55/6**		フジテレビ 57/8	ちばテレビ 39/46	テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
東京	東京(23区)	042	NHK総合 1/80	MXTV 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	**TBS 6/6**	TVK 42/42	フジテレビ 8/8	ちばテレビ 46/46	テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
東京	八王子※	043	NHK総合 51/80	MXTV 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		**TBS 55/6**		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
東京	多摩※	044	NHK総合 30/80	MXTV 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		**TBS 24/6**		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
神奈川	横浜1	045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		**TBS 56/6**	TVK 48/42	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
神奈川	横浜2	046	NHK総合 1/80	MXTV 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	**TBS 6/6**	TVK 42/42	フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10		テレビ東京 12/12
神奈川	平塚	047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		**TBS 37/6**	TVK 31/42	フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10		テレビ東京 43/12
神奈川	秦野	048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		**TBS 53/6**	TVK 61/42	フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10		テレビ東京 59/12
神奈川	小田原	049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		**TBS 56/6**	TVK 46/42	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
山梨	甲府	050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	山梨放送 5/5	**UTY 37/37**	TBS 6/6	フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10		テレビ東京 12/12
長野	長野1	051		NHK総合 44/80		長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30			NHK教育 46/90	長野放送 42/38	**SBC 48/11**	
長野	長野2	052		NHK総合 2/80		長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30			NHK教育 9/90	長野放送 38/38	**SBC 11/11**	
長野	松本	053		NHK総合 44/80		長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30			NHK教育 46/90	長野放送 42/38	**SBC 40/11**	
長野	飯田	054	長野朝日 44/20		NHK教育 3/90	NHK総合 4/80		**SBC 6/11**		テレビ信州 42/30		長野放送 40/38		
長野	岡谷・諏訪	055	長野朝日 61/20			NHK総合 4/80		**SBC 6/11**		NHK教育 8/90	テレビ信州 59/30	長野放送 47/38		
新潟	新潟	056			テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	**BSN 5/5**			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
新潟	上越	057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29	テレビ21 37/21					**BSN 10/5**	新潟総合TV 33/35	
富山	富山	058	北日本放送 1/1	北陸放送 6/6	NHK総合 3/80	石川テレビ 37/37		**チューリップ 32/32**				NHK教育 10/90		富山テレビ 34/34
富山	高岡	059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80			**チューリップ 42/32**				NHK教育 46/90		富山テレビ 44/34
石川	金沢	060	北日本放送 1/1	北陸朝日 25/25	富山テレビ 34/34	NHK総合 4/80		**北陸放送 6/6**		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		石川テレビ 37/37
石川	七尾	061		北陸朝日 59/25			NHK教育 5/90				NHK総合 9/80	テレビ金沢 57/33	**北陸放送 11/6**	石川テレビ 55/37
福井	福井	062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	**福井テレビ 39/39**
福井	敦賀	063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		**福井テレビ 38/39**		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜	064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		**CBC 5/5**	テレビ愛知 25/25	岐阜放送 37/37	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		メ～テレ 11/11	中京テレビ 35/35
岐阜	高山	065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		**CBC 6/5**	岐阜放送 38/37	東海テレビ 8/1			中京テレビ 26/35	メ～テレ 12/11
岐阜	中津川	066				NHK総合 4/80		メ～テレ 6/11	岐阜放送 28/37	**CBC 8/5**		東海テレビ 10/1	中京テレビ 26/35	NHK教育 12/90

※ 地域によっては東京(23区)の地域コードを入力してください。

表のみかた

放送局名← NHK総合 52→受信チャンネル 80→ガイドチャンネル

表示チャンネル　番組表のホスト局

地上デジタル放送の開始によって、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更されたときは、[個別チャンネル設定] P.120 で該当する放送局の受信チャンネルを変更してください。

（各セル：放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル）

地域		地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
静岡	静岡	067	東海テレビ 1/1	NHK教育 2/90		静岡第一 31/31	CBC 5/5	朝日テレビ 33/33	テレビ愛知 25/25		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	テレビ静岡 35/35
	浜松	068	東海テレビ 1/1	静岡第一 30/31		NHK総合 4/80	CBC 5/5	静岡放送 6/11	テレビ愛知 25/25	NHK教育 8/90		朝日テレビ 28/33		テレビ静岡 34/35
	富士	069		NHK教育 54/90		静岡第一 27/31		朝日テレビ 29/33			NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	テレビ静岡 39/35
	三島・沼津	070		NHK教育 51/90		静岡第一 61/31		朝日テレビ 57/33			NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	テレビ静岡 59/35
	島田	071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	静岡第一 48/31	静岡放送 5/11	朝日テレビ 50/33						テレビ静岡 58/35
	藤枝	072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90	静岡第一 24/31	静岡放送 40/11	朝日テレビ 26/33						テレビ静岡 38/35
愛知	名古屋	073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		CBC 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		メ~テレ 11/11	テレビ愛知 25/25
	豊橋	074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		CBC 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		メ~テレ 60/11	テレビ愛知 52/25
	豊田	075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		CBC 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		メ~テレ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重	津	076	東海テレビ 1/1	テレビ愛知 25/25	NHK総合 31/80	毎日放送 4/4	CBC 5/5	朝日放送 6/6	三重テレビ 33/33	関西テレビ 8/8	NHK教育 9/90	読売テレビ 10/10	メ~テレ 11/11	中京テレビ 35/35
	伊勢	077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		CBC 55/5		三重テレビ 59/33		NHK教育 49/90		メ~テレ 61/11	中京テレビ 47/35
	名張	078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		CBC 60/5		三重テレビ 58/33		NHK教育 50/90		メ~テレ 56/11	中京テレビ 54/35
滋賀	大津	079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8	びわ湖放送 30/30	読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
	彦根	080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8	びわ湖放送 56/30	読売テレビ 62/10		NHK教育 50/90
京都	京都	081		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
	舞鶴	082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4		朝日放送 55/6	京都テレビ 57/34	関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
	福知山	083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6	京都テレビ 56/34	関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪	大阪	084		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸	085		NHK総合 28/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 24/10		NHK教育 26/90
	神戸灘	086		NHK総合 52/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8	サンテレビ 62/36	読売テレビ 60/10		NHK教育 50/90
	川西	087		NHK総合 29/80		毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8	サンテレビ 33/36	読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
	三木	088		NHK総合 44/80		毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
	姫路	089		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8	サンテレビ 56/36	読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
	明石	090		NHK総合 51/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8	サンテレビ 55/36	読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
奈良	奈良	091		NHK総合 51/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
	五條	092		NHK総合 43/80		毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10	奈良テレビ 41/55	NHK教育 45/90
和歌山	和歌山	093		NHK総合 32/80		毎日放送 42/4	TV和歌山 30/30	朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 26/90
	海南・田辺	094		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	TV和歌山 56/30	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取	095	日本海TV 1/1		NHK総合 3/80	NHK教育 4/90						BSS 22/10		山陰中央 24/34
島根	松江	096	日本海TV 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		BSS 10/10		NHK教育 12/90
	浜田	097		NHK総合 2/80	日本海TV 54/1		BSS 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			
岡山	岡山	098	OHK 35/35	TVせとうち 23/23	NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		KSB 25/33		西日本放送 9/9		RSK 11/11	
	津山	099	OHK 60/35	NHK総合 2/80	TVせとうち 56/23					KSB 62/33	西日本放送 58/9		RSK 7/11	NHK教育 12/90
	笠岡	100	OHK 60/35	NHK総合 2/80	TVせとうち 19/23	NHK教育 4/90		RSK 6/11	KSB 21/33		西日本放送 17/9			

表のみかた

放送局名← NHK総合 52→受信チャンネル / 80→ガイドチャンネル

表示チャンネル　番組表のホスト局

番組表のホスト局が受信できないときは、番組表の取得ができません。

地域	地域	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			表示チャンネルと放送局名											
広島	広島	101	TSS 31/31		NHK総合 3/80	**RCC 4/4**			NHK教育 7/90		広島ホーム 35/35			広島テレビ 12/12
広島	福山	102	TSS 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		**RCC 7/4**		広島ホーム 57/35		広島テレビ 11/12	
広島	尾道	103	NHK総合 1/80	TSS 26/31					NHK教育 7/90		広島ホーム 24/35	**RCC 10/4**		広島テレビ 12/12
広島	呉	104	NHK教育 1/90	TSS 26/31			広島テレビ 5/12				**RCC 9/4**	広島ホーム 24/35	NHK総合 11/80	
山口	山口	105	NHK教育 1/90	山口朝日 28/28	広島ホーム 35/35	RKB毎日 4/4	TVQ 19/19		**テレビ山口 38/38**	TSS 31/31	NHK総合 9/80	TNC 10/9	山口放送 11/11	FBS 37/37
山口	下関	106	NHK教育 41/90	山口朝日 21/28		山口放送 4/11	TVQ 23/19		**テレビ山口 33/38**		NHK総合 39/80	TNC 10/9		
山口	宇部	107	NHK教育 14/90	山口朝日 31/28					**テレビ山口 20/38**		NHK総合 16/80	TNC 10/9	山口放送 18/11	
山口	岩国	108	NHK教育 1/90	山口朝日 28/28					**テレビ山口 22/38**		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島	109	四国放送 1/1	テレビ大阪 19/19	NHK総合 3/80	**毎日放送 4/4**	TV和歌山 30/30	朝日放送 6/6	サンテレビ 36/36	関西テレビ 8/8	西日本放送 9/9	読売テレビ 10/10	RSK 11/11	NHK教育 38/90
香川	高松	110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90	毎日放送 4/4	NHK総合 37/80	朝日放送 6/6	KSB 33/33	関西テレビ 8/8	西日本放送 41/9	読売テレビ 10/10	**RSK 29/11**	OHK 31/35
香川	丸亀	111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80		KSB 42/33		西日本放送 20/9		**RSK 18/11**	OHK 22/35
愛媛	松山	112	TVせとうち 23/23	NHK教育 2/90	広島テレビ 12/12	広島ホーム 35/35	TSS 31/31	NHK総合 6/80	愛媛朝日 25/25	**あいテレビ 29/29**	西日本放送 9/9	南海放送 10/10	RSK 11/11	テレビ愛媛 37/37
愛媛	新居浜	113	TVせとうち 23/23	NHK総合 2/80	広島テレビ 12/12	NHK教育 4/90	TSS 31/31	南海放送 6/10	愛媛朝日 14/25	**あいテレビ 27/29**	西日本放送 9/9	広島ホーム 35/35	RSK 11/11	テレビ愛媛 36/37
愛媛	今治	114		NHK総合 32/80		NHK教育 30/90		南海放送 34/10	愛媛朝日 17/25	**あいテレビ 27/29**				テレビ愛媛 36/37
愛媛	宇和島	115	NHK教育 1/90					NHK総合 6/80	愛媛朝日 16/25	**あいテレビ 34/29**		南海放送 10/10		テレビ愛媛 32/37
高知	高知	116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		**KUTV 38/38**	KSS 40/40	
福岡	福岡	117	KBC 1/1	STS 36/36	NHK総合 3/80	**RKB毎日 4/4**	TVQ 19/19	NHK教育 6/90			TNC 9/9		熊本放送 11/11	FBS 37/37
福岡	久留米	118	KBC 57/1		NHK総合 46/80	**RKB毎日 48/4**	TVQ 14/19	NHK教育 54/90			TNC 60/9			FBS 52/37
福岡	大牟田	119	KBC 58/1		NHK総合 53/80	**RKB毎日 61/4**	TVQ 19/19	NHK教育 50/90			TNC 55/9			FBS 43/37
福岡	北九州	120		KBC 2/1	FBS 35/37	STS 36/36	TVQ 23/19	NHK総合 6/80		**RKB毎日 8/4**		TNC 10/9	熊本放送 11/11	NHK教育 12/90
福岡	行橋	121		KBC 57/1	FBS 43/37		TVQ 19/19	NHK総合 49/80		**RKB毎日 60/4**		TNC 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀	122	KBC 57/1	NHK教育 40/90	FBS 52/37	STS 36/36	TVQ 14/19	TKU 34/34	NBC 5/5	**RKB毎日 48/4**	NHK総合 38/80	TNC 60/9	**熊本放送 11/11**	
長崎	長崎	123	NHK教育 1/90	KBC 57/1	NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4	**NBC 5/5**	TKU 34/34	長崎国際 25/25	TNC 9/9	長崎文化 27/27	熊本放送 11/11	テレビ長崎 37/37	KKT 22/22
長崎	佐世保	124		NHK教育 2/90					長崎国際 17/25	NHK総合 8/80	長崎文化 31/27	**NBC 10/5**	テレビ長崎 35/37	
長崎	諫早	125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		**NBC 49/5**		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本	126	KBC 1/1	NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16	KKT 22/22	NBC 5/5	TKU 34/34	テレビ長崎 37/37	STS 36/36	NHK総合 9/80	TVQ 19/19	**熊本放送 11/11**	RKB毎日 4/4
大分	大分	127	OAB 24/24	テレビ山口 38/38	NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4	**OBS 5/5**	南海放送 10/10	TOS 36/36	FBS 37/37	TNC 9/9	TVQ 19/19	山口放送 11/11	NHK教育 12/90
大分	中津	128	OAB 17/24		NHK総合 48/80		**OBS 51/5**		TOS 37/36					NHK教育 45/90
宮崎	宮崎	129	MBC 1/1		テレビ宮崎 35/35				鹿児島放送 32/32	NHK総合 8/80	KTS 38/38	**宮崎放送 10/10**		NHK教育 12/90
宮崎	延岡	130	MBC 1/1	NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		**宮崎放送 6/10**	鹿児島放送 32/32	テレビ宮崎 39/35	KTS 38/38			
鹿児島	鹿児島	131	**MBC 1/1**	TKU 34/34	NHK総合 3/80	テレビ宮崎 35/35	NHK教育 5/90	宮崎放送 10/10	鹿児島放送 32/32	KKT 22/22	KTS 38/38	熊本朝日 16/16	熊本放送 11/11	鹿児島読売 30/30
鹿児島	阿久根	132		TKU 34/34		鹿児島放送 23/32	鹿児島読売 17/30	KTS 35/38	KKT 22/22	NHK総合 8/80	熊本朝日 16/16	**MBC 10/1**	熊本放送 11/11	NHK教育 12/90
鹿児島	鹿屋	133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		**MBC 6/1**	鹿児島放送 31/32		KTS 33/38			鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇	134		NHK総合 2/80						OTV 8/8		**RBC 10/10**	QAB 28/28	NHK教育 12/90

末永くお使いいただくために

▼ **電源オン中に衝撃や振動を与えない**
電源オン中はHDDが動作していますので、本機を持ち上げたり、動かしたり、たたいたりしないでください。HDDが故障する恐れがあります。ディスク再生中および録画中はディスクが高速回転しているためディスクを傷付ける恐れがありますので特にご注意ください。

▼ **電源オン中に電源コードを絶対に抜かない**
電源オン中に電源コードを抜いてしまうと、本機が故障したりHDDやディスクを破損したりする恐れがあります。本機の動作中には電源コードを抜かないでください。電源コードを抜く前は必ず電源を切って<POWER OFF>表示が消えたことを確認してください。

▼ **本機を移動する場合のご注意**
本機を移動したり引っ越しなどで梱包したりする場合は、必ずディスクを取り出し、ディスクテーブルを閉じてください。ディスクを内部に入れたまま移動しますと故障の原因となります。また、電源コードを抜く前には、必ず電源を切って<POWER OFF>表示が消えたことを確認し、その後2分以上経過してから移動してください。

ディスクの取り扱いについて

▼ **ディスクのお手入れ**
- ディスクに指紋やホコリが付いたときは、録画や再生ができなくなることがあります。このようなときは、市販のクリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、録画や再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

▼ **特殊な形のディスクについて**
本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

▼ **レンズのクリーニングについて**
レンズにゴミやホコリがたまると、音とびしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合、『保証とアフターサービスについて』P.153をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

設置する場所について

▼ 組み合わせて使用するテレビや他の機器の近くの安定した場所を選んでください。

▼ テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

▼ 次のような場所は避けてください。
- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱などがあたる所(台所など)

▼ **上に物をのせない。**
本機の上に物をのせないでください。

▼ **通気孔をふさがない。**
毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

▼ 通常は柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったもので汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

▼ アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。

▼ ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。

▼ 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

▼ お手入れの際は電源コードをコンセントから抜いてください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、本機の電源コードを抜いた状態でしばらく放置し、完全に本機が乾燥するまで待ってから電源を入れてください。また夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

電波に関するご注意(ワイヤレススピーカー/トランスミッター)

▼ 本機は盗聴防止機能を搭載しておりますが、傍受(無線通信内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信すること)にご注意ください。本機は電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通信や人命に関わる通信には使用しないでください。

▼ 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。

本機は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、下記①に示すようにいろいろな機器が使用しています。また、存在がお客様にわかりにくい機器として下記②に示すような機器もあります。

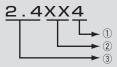
① 2.4 GHzを使用する主な機器の例
- コードレスフォン
- 電子レンジ
- 無線ルーター
- ワイヤレスAV機器
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- マイクロ波治療機器類
- Bluetooth対応機器

② 存在がわかりにくい2.4 GHzを使用する主な機器の例
- 万引き防止システム
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム

これらの機器と本機を同時に使用すると、電波の干渉により、音が途切れて雑音のように聞こえたり、音が出なくなることがあります。このようなときは、ワイヤレススピーカーのTUNEDインジケーターが点滅または消灯しますが、電波干渉によるもので本機の故障ではありません。
受信状況の改善方法としては以下の方法があります。
- 電波を発生している相手機器の電源を切る
- 干渉している機器の距離を離して設置する
- トランスミッターのチャンネル選択ボタンで干渉されない他のチャンネルを選択する

次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送信/受信ができなくなる場合があります
- 同じ周波数帯(2.4 GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります)

- ラジオから離してお使いください(ノイズが出る場合があります)。
- テレビ、ビデオ、地上・BS・110度CSデジタルチューナーなどアンテナ入力端子を持つAV機器の近くでトランスミッターを使用した場合、ワイヤレススピーカーの近くのテレビにノイズが出ることがあります。トランスミッターをアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

▼ 本機は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解/改造すること。
- 本機にはってある証明ラベルをはがすこと。

①「4」 想定される与干渉距離(約40m)を表します
②「XX」 変調方式を表します
③「2.4」 GHz帯を使用する無線設備を表します

▼ 本機の使用する周波数帯域(2.4GHz)では、無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の他、工場、製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する)及び、特定小電力無線局が同じように利用して運用されています。本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波障害の事例が発生した場合、すみやかにその場での本機の使用を中断してください。

使用範囲について

▼ ご家庭内での使用に限ります。
(通信の環境により伝送距離が短くなることがあります)

次のような場合、電波状態が悪くなったり電波が届かなくなることが原因で、音声が途切れたり停止したりします
- 鉄筋コンクリートや金属の使われている壁や床を通して使用する場合。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物障害物の近くなど。
- 同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。
- 集合住宅(アパート・マンションなど)にお住まいで、お隣で使用している電子レンジ設置場所が本機に近い場合。尚、電子レンジは、使用していなければ電波干渉はしません。

電波の反射について

▼ ワイヤレススピーカーに届く電波には、トランスミッターから直接届く電波(直接波)と、壁や家具、建物などに反射してさまざまな方向から届く電波(反射波)があります。これにより、障害物と反射物とのさまざまな反射波が発生し、電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、音声がうまく受信できなくなることがあります。このようなときは、ワイヤレススピーカーの場所を少し動かしてみてください。トランスミッターとワイヤレススピーカーの間を人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で音声が途切れたりすることがあります。

使用上の注意について

▼ **お客さま、または第三者使用によるこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**

安全にお使いいただくために

▼ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。
電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

▼ 航空機器や病院など、使用を禁止された場所では使用しない。
電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関の指示に従ってください。

保証とアフターサービスについて

▼ **保証書(別添)**
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

保証期間中および保証期間後を問わず何らかの原因によりHDDやディスクの録画内容が損なわれた場合、その録画内容の保証およびそれに附随する損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。

▼ **補修用性能部品の最低保有期間**
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

▼ **修理に関するご質問、ご相談**
お買い求めの販売店へご依頼ください。ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センター P.156 にご相談ください。

▼ **修理を依頼されるとき**
『故障かな?と思ったら』P.128 に従って調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源コードを抜いてから、販売店に修理をご依頼ください。

ワイヤレススピーカーとトランスミッターは必ず2つ一緒に販売店に修理をご依頼ください。

▼ **ご連絡していただきたい内容**
- ご住所:「付近の目印もあわせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名:DVD-RW/HDD 5.1chサラウンドシステム
- 型番:HTZ-929DVR
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容:
「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

▼ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

▼ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

▼ **お願い**
修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

仕様

DVD-RW/HDD チューナー部（XV-DVR9H）

■ 記録

記録フォーマット	DVD Video Recording(VR モード) DVD Video(ビデオモード)
記録可能ディスク	DVD-RW(DVD Re-recordable disc) DVD-R(DVD Recordable disc)
映像記録方式	サンプリング周波数：13.5 MHz 圧縮方式：MPEG
音声記録方式	サンプリング周波数：48 kHz 圧縮方式：Dolby Digital およびリニア PCM (非圧縮)
記録時間	**HDD(160GB)** FINE：約 34 時間　SP：約 69 時間 LP：約 138 時間　EP：約 207 時間 SLP：約 277 時間 **DVD-R/RW** (12cm(片面 4.7GB)のディスクを使用したときの目安です) FINE：約 1 時間　SP：約 2 時間 LP：約 4 時間　EP：約 6 時間 SLP：約 8 時間

■ 再生

再生可能ディスク	**DVD ビデオ** **DVD-RW(DVD Re-recordable disc)** • DVD Video Recording フォーマット • DVD Video フォーマット **DVD-R(DVD Recordable disc)** • DVD Video フォーマット **音楽用 CD** **ビデオ CD** **以下が記録されている CD-R/RW** • 音楽トラック • ビデオ CD フォーマット • WMA/MP3/JPEG ファイル

■ DVD 部（音声）

周波数特性	48kHz サンプリング：4Hz ～ 22kHz 96kHz サンプリング：4Hz ～ 44kHz

■チューナー部

FM チューナー部	受信周波数：76.0 ～ 90.0MHz アンテナ：75 Ω不平衡型
AM チューナー部	受信周波数：522kHz ～ 1,629MHz アンテナ：ループアンテナ(付属)
TV 受信チャンネル	VHF：1 ～ 12 ch UHF：13 ～ 62 ch CATV：C13 ～ C63 ch

■ 入出力端子

映像出力	モニター出力、LINE出力の 2 系統 ピンジャック：1 V p-p(75 Ω不平衡)
S1/S2 映像出力	モニター出力、LINE出力の 2 系統 4 ピンミニ D I N： Y = 1 V p-p(75 Ω不平衡) C = 0.286 V p-p(75 Ω不平衡)
D1/D2 出力	モニター出力 1 系統 Y = 1.0Vp-p(75 Ω不平衡) CB/PB、CR/PR = 0.7Vp-p(75 Ω 不平衡)
VHF/UHF アンテナ入出力	VHF/UHF 1 軸 75 Ω F 型コネクター
映像入力	LINE1、3(リア)、2(フロント)の 3 系統 ピンジャック：1 V p-p(75 Ω不平衡)
S 映像入力	LINE 1、3(リア)、2(フロント)の 3 系統 4 ピンミニ D I N： Y = 1 V p-p(75 Ω不平衡) C = 0.286 V p-p(75 Ω不平衡)
音声入力	ANALOG、LINE 1、3(リア)、2(フロント) の 4 系統 (L/R) ピンジャック：2 V rms(入力インピーダンス 22 k Ω以上)
音声出力	ANALOG、LINE出力の 2 系統(L/R) ピンジャック：1 kHz 0dB、出力インピーダ ンス 1.5 k Ω以下
コントロール入力	ミニジャック 1 系統
デジタル音声出力	光コネクタ：角型光ジャック 1 系統
デジタル音声入力	光コネクタ：角型光ジャック 2 系統
G リンク端子	ミニジャック

■ タイマー

プログラム数	1 カ月 32 プログラム
時計	クオーツロック、12 時間デジタル表示
停電補償期間	工場出荷後約 5 年間

■ 一般

電源定格	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 待機時消費電力	77W 0.43W(本体表示窓消灯時)
外形寸法	420 × 77.5 × 398mm(突起含む) (幅)×(高さ)×(奥行)
本体質量	5.6kg
使用温度範囲	＋ 5℃～＋ 35℃
使用湿度範囲	5%～ 85%(結露のないこと)
テレビジョン方式	NTSC 方式準拠：525 本 60 フィールド

スピーカーシステム部 (S-DVR9ST)

■ フロントスピーカー

型式	密閉式ブックシェルフ型 防磁設計(JEITA)
使用スピーカー	ミッドレンジ：10 X 7 cm (コーン) ツイータ：2.6 cm（セミドーム型）
公称インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	90～20,000 Hz
最大入力	100W(JEITA)
外形寸法	240 × 962 × 240mm (幅)×(高さ)×(奥行)
質量	3.9kg

■ センタースピーカー

型式	密閉式ブックシェルフ型 防磁設計(JEITA)
使用スピーカー	フルレンジ：10 × 7 cm（コーン型）
公称インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	78～20,000 Hz
最大入力	100W(JEITA)
外形寸法	240 X 86 X 79 mm (幅)×(高さ)×(奥行)
質量	0.9kg

ワイヤレススピーカーシステム部 (XW-S2)

■ 一般

型式	デジタルワイヤレススピーカーシステム （トランスミッター / ワイヤレススピーカー）

■ ワイヤレススピーカー

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	40W
アンプ実用最大出力 (JEITA)	25W/ch（1 kHz, THD 10 %, 4 Ω)
使用スピーカー	フルレンジ：7cm（コーン型）X 2
質量	4.0 kg
外形寸法	430 X 180 X 138 mm (幅)×(高さ)×(奥行)

●高さと奥行きにアンテナは含まれておりません。

■ トランスミッター(送信部)

AC アダプター	
電源	AC 100 V、50/60 Hz
定格	9 VA
定格出力	DC12 V/300 mA
消費電力（本体のみ）	2W
入力	ピンジャック
質量	0.3 kg
外形寸法	166 X 56 X 112 mm (幅)×(高さ)×(奥行)

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば飲食店などでの営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

アンプ内蔵サブウーファー部 (S-DVR9SW)

■ サブウーファー

型式	バスレフ式 フロア型　防磁設計(JEITA)
使用スピーカー	ウーファー：18cm(コーン型)
公称インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	25～2,300Hz
最大入力	100W(JEITA)
外形寸法	192 × 395 × 436mm (幅)×(高さ)×(奥行)
質量	12.5kg

■ 電源部

電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	144W

■ アンプ部

実用最大出力(JEITA)	フロント(1kHz、10%、6 Ω): 100W × 2 リア(1kHz、10%、6 Ω): 100W × 2 センター(1kHz、10%、6 Ω): 100W サブウーファー(100Hz、10%、6 Ω): 100W

付属品

■ DVD-RW/HDD チューナー部

リモコン ---------- 1
AM ループアンテナ ---------- 1
FM 簡易アンテナ ---------- 1
RF アンテナケーブル(1.5m) ---------- 1
ビデオコード(1.5m) ---------- 1
単３形乾電池(AA/R6P) ---------- 2
電源コード ---------- 2
システムケーブル A ---------- 1
システムケーブル B ---------- 1
アンケート用紙 ---------- 1
取扱説明書（本書）
保証書

■ スピーカー部

スピーカースタンド ---------- 2
スピーカーベース ---------- 2
スピーカーコード（5m/ フロントスピーカー用）---------- 2
（5m/ センタースピーカー用）---------- 1
滑り止めパッド（大）---------- 4
滑り止めパッド（小）---------- 4
ネジ（長）---------- 4
ネジ（短）---------- 8
スピーカーセットアップガイド

■ ワイヤレススピーカー部

トランスミッター(送信部) ---------- 1
オーディオコード ---------- 1
AC アダプター ---------- 1
電源コード ---------- 1
コーションラベル ---------- 1

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

音のエチケット

ご相談窓口・修理窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』P.128を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

●パイオニアホームページ：お客様サポート　http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index/html
（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>　市外局番「0070」で始まる フリーフォンおよび「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター(全国共通フリーフォン)

受付　月曜～金曜　9:30～17:00、土曜・日曜・祝日　9:30～12:00、13:00～17:00(弊社休業日は除く)

□ 家庭用オーディオ/ビジュアル商品(PDP・DVDなど)のご相談窓口/カタログのご請求窓口　0070-800-8181-22
一般電話　【一般電話】03-5496-2986
□ ファックス受付　03-3490-5718

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付　月曜～金曜　9:30～18:00、土曜・日曜・祝日　9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

□電話（フリーダイヤル）: 0120-5-81095　□一般電話：0538-43-1161　□ファックス（フリーダイヤル）: 0120-5-81096

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター(沖縄県を除く全国)

受付　月曜～金曜　9:30～20:00、土曜・日曜・祝日　9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

□電話（フリーダイヤル）: 0120-5-81028（ゴーパイオニア）　□一般電話：03-5496-2023　□ファックス（フリーダイヤル）: 0120-5-81029

沖縄サービスステーション(沖縄県のみ)

受付　月曜～金曜　9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

□一般電話：098-879-1910　□ファックス：098-879-1352

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、上記の修理受付センターでお受けします。(沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします。)
サービスステーションの記載内容は、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は、修理受付センターにご確認ください。

北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00 (土・日・祝・弊社休業日は除く) 青字の拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)

拠点	FAX	〒	住所
札幌サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3 クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

東北地区

受付　月～金　9:30～18:00 (土・日・祝・弊社休業日は除く)　青字の拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)

拠点	FAX	〒	住所
仙台サービスステーション	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田20
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX 019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1
郡山サービスステーション	FAX 024-934-6566	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25クレールアヴェニュー伊藤第2ビル

関東・甲信越地区 (1)

受付　月～土　9:30～18:00 (日・祝・弊社休業日は除く)

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
墨田サービスステーション	FAX 03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原4-27-9 中島ICハイツ1F
城北サービスステーション	FAX 03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸4-11-4
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1 エクセル立川1F

関東・甲信越地区 (2)

受付　月～金　9:30～18:00 (土・日・祝・弊社休業日は除く) 青字の拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)

拠点	FAX	〒	住所
新潟サービスステーション	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
千葉サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1 椎の実ハイツ1F
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4

拠点	電話/FAX	〒	住所
埼玉サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷 1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町 3373-1
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町 1191-17 パサージュ 808 伊勢崎 101 号
神奈川サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-18-1 ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南 1-19-17
厚木サービス認定店	FAX 046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田 339-1 金田コーポフロンテア 201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX 0263-48-2768	〒390-0852	松本市大字島立 180-5
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所 1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田 4-9-14
中部地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）青字の拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)			
名古屋サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切 2-8-18
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水 522-5
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田 36-1 大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東 1-1-3
静岡サービスステーション	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松 1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢 12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町 415 ビラモデルナ 5 号
金沢サービスステーション	FAX 076-269-4758	〒920-0362	金沢市古府 1 丁目 178
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町 1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺 3-5-9
関西地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）青字の拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)			
大阪サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町 5-8
大阪南サービス認定店	FAX 0722-75-2625	〒593-8322	堺市津久野町 1-8-15 ローズマンション 1F
大阪北サービス認定店	FAX 06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中 3-9-4
奈良サービス認定店	FAX 0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町 21-26
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東 3-1-25
京都サービスステーション	FAX 075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条下ル小柳町 513-2 五条久保田ビル 1F
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町 2-74 カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX 078-251-7173	〒651-0086	神戸市中央区磯上通り 5-1-13
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土 4-2
中国地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）青字の拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)			
広島サービスステーション	FAX 082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町 2-30 第二有楽ビル 1F
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	徳山市花畠町 3-11 森広事務所 1F
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町 3-12-9
岡山サービスステーション	FAX 086-244-8748	〒700-0975	岡山市今 8-15-21
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田 4-5-40（有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX 0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町 5-240-1
四国地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）			
高松サービスステーション	FAX 087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町 1-16-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須 92-1 大松ジョリカ地下 1 階 103 号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町 3-12-13 晃栄ビル 1 F
松山サービス認定店	FAX 089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津 5-10-35 商船ビル 1 F
九州地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）青字の拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)			
福岡サービスステーション	FAX 092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南 2-12-3
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 2-6-7
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和 1 丁目 12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立 5 丁目 14-17
大分サービス認定店	FAX 097-549-2420	〒870-0851	大分市大石町 5 丁目 1-1
北九州サービスステーション	FAX 093-951-1748	〒802-0011	北九州市小倉北区重住 3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX 099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町 3-21　第二大見ビル 2 F
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町 98-1
沖縄地区（沖縄県のみ）　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）			
沖縄サービスステーション	TEL 098-879-1910 FAX 098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客 4-18-1 トヨタマイカーセンター 3F

平成 16 年 8 月現在

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要さない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(たとえば、パーティーションの設置など)についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先）カスタマーサポートセンター：フリーフォン 0070-800-8181-22　http://www.pioneer.co.jp/support/

JIS C 61000-3-2適合品 D50-5-10-1_A_Ja

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<04I00001>　<ARA7204-A>